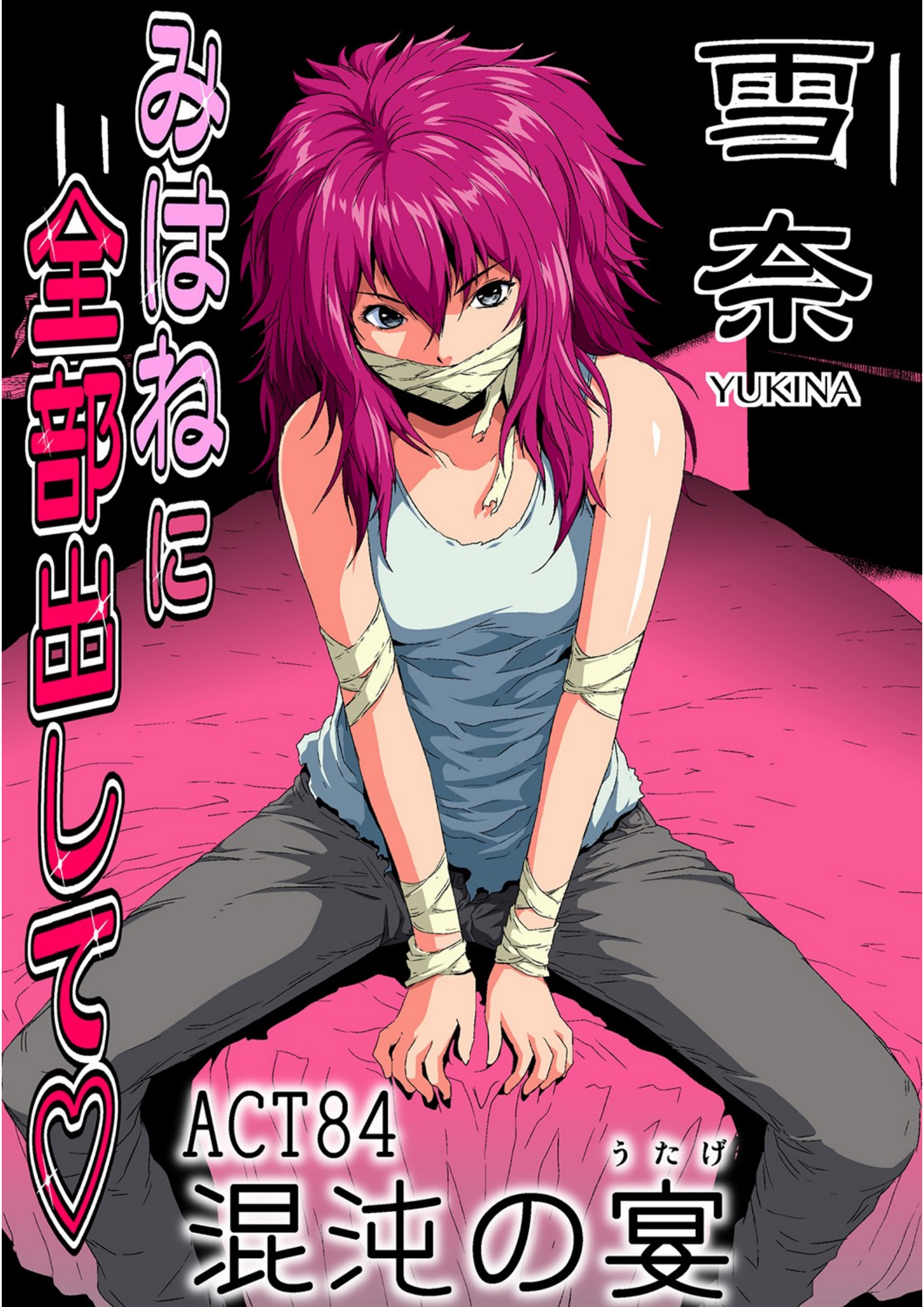
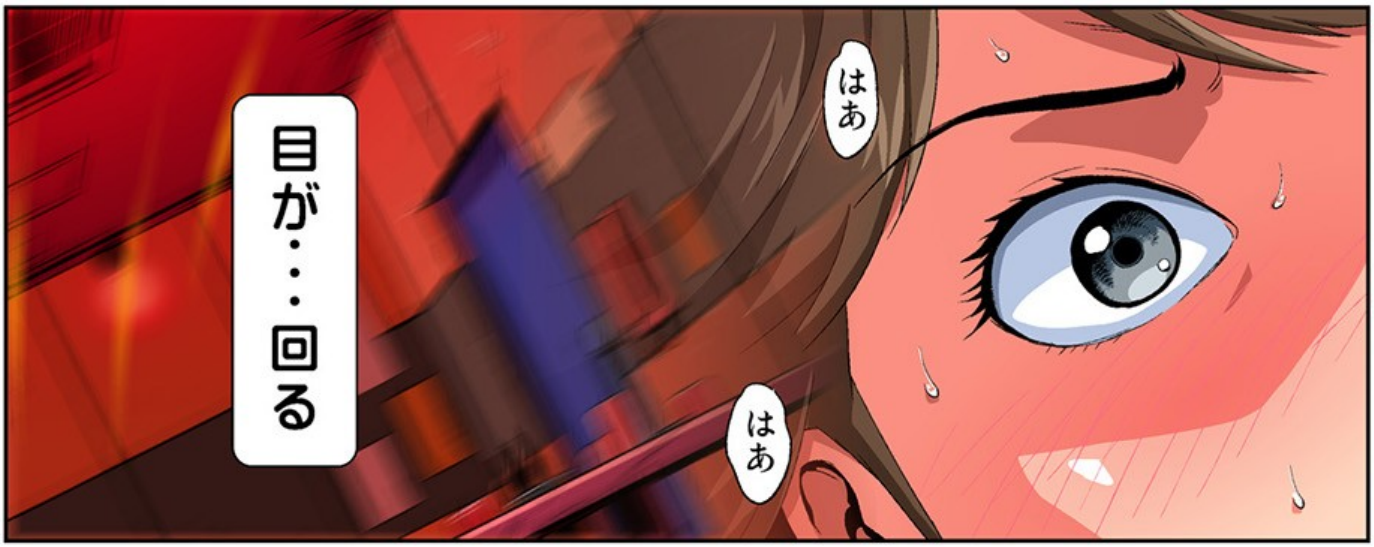
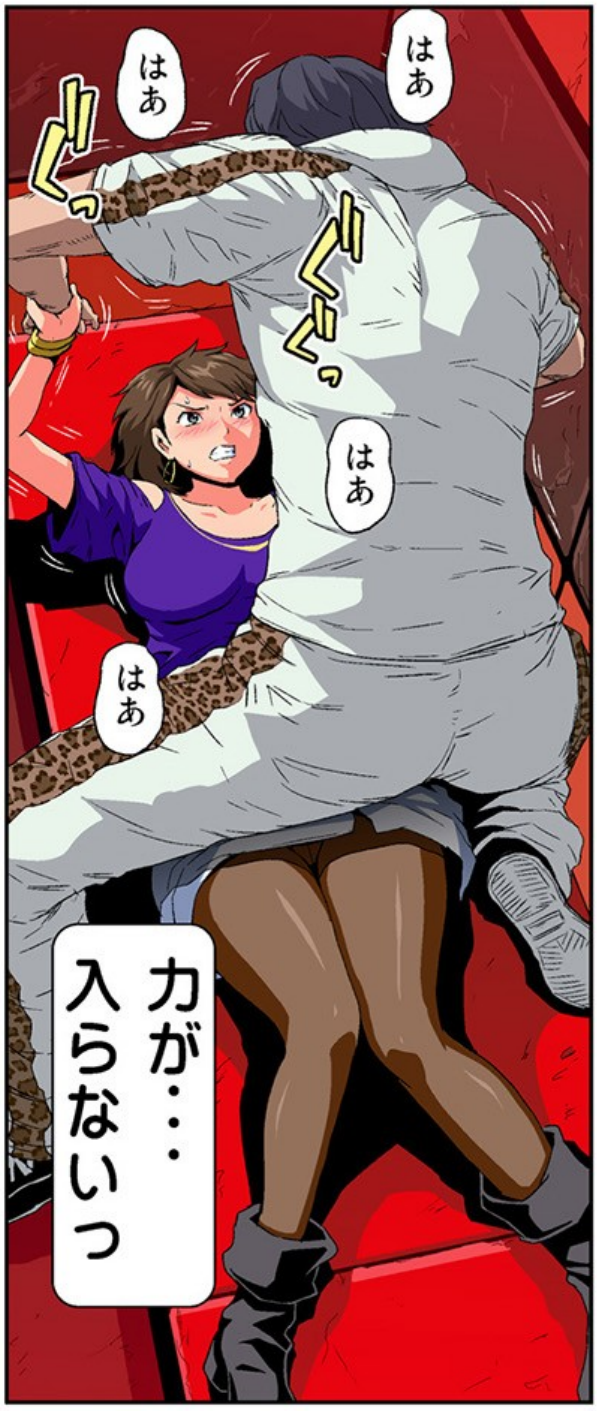

HiME-Mania
姫マニア
画・尾山泰永
vol.45
リアル女体vsアキバ君
紫色雁行
女子校に男一人!?
さかぐちしずか
お嬢様のHな御奉仕
桂木たくみ
ヴァージンあげちゃう
栗本重治
イケない初体験
尾山泰永
みはねに全部出して♡
カマキリ

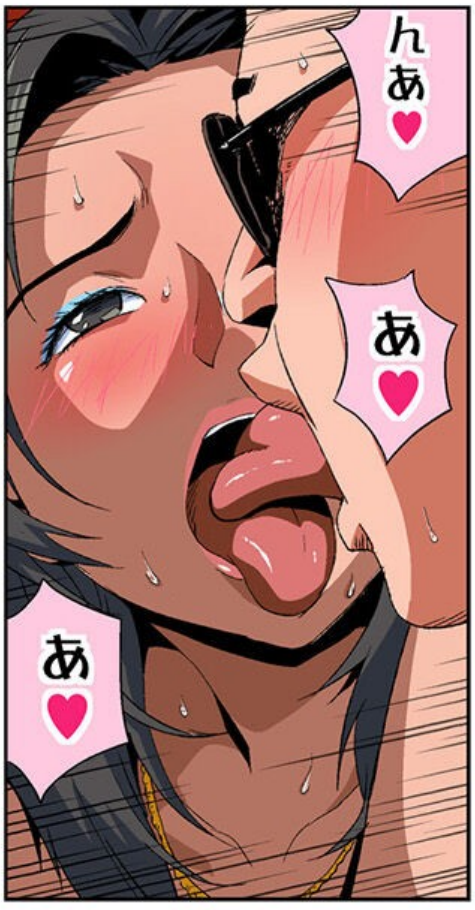

雪奈
YUKINA
おねがい
全部出して♡
ACT84
混沌の宴
うたげ


はあ
はあ
目が・・・回る


はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
力が・・・
入らないっ

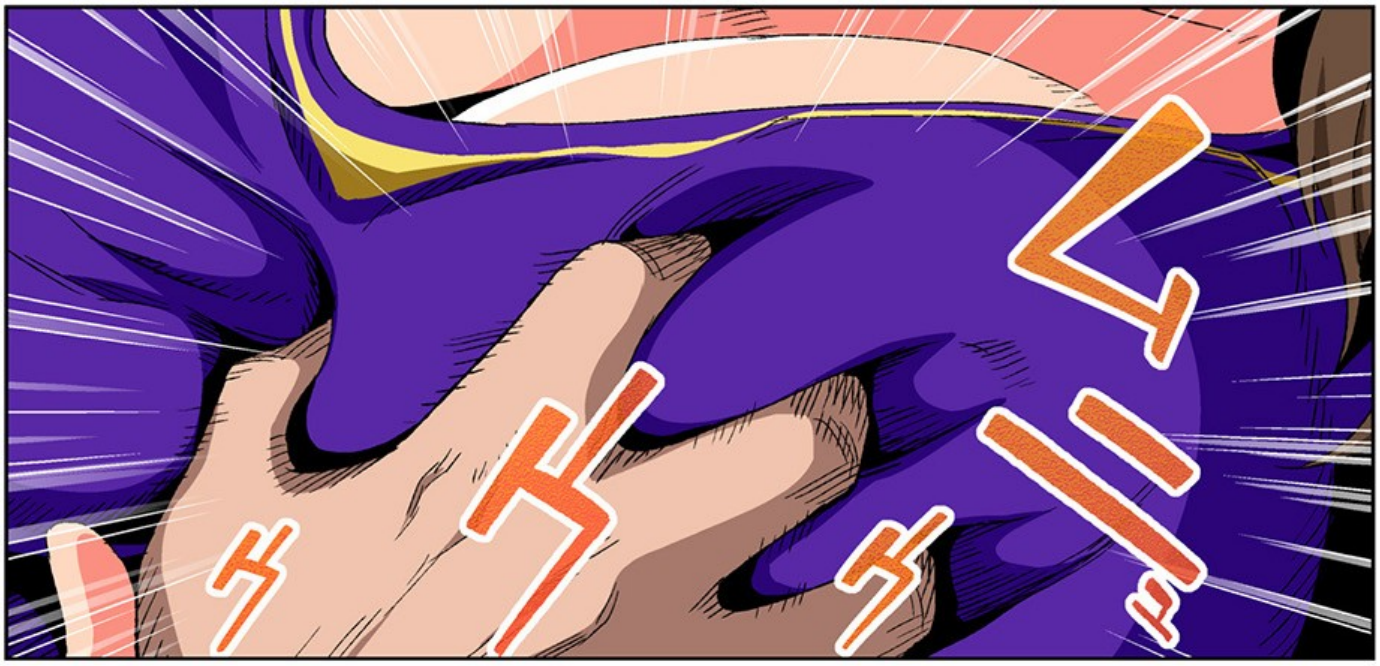

はあ
はあ
はあ
はあ
・・・体が熱い
あ♥
あ♥
ああ♥


あ♥
ああ♥
あ♥
あ♥
あ♥
ズッズッ
ズルズッ
ズッ


んあ♥
あ♥
あ♥


正気じゃない・・・


このままじゃ私・・・も・・・
くそっ
あの酒さえ飲まなければ・・・っ


ムニュ


!?
ぴくっ


やばい…
効いて…
もにゅっ
もにゅう
きてる…
もにゅ

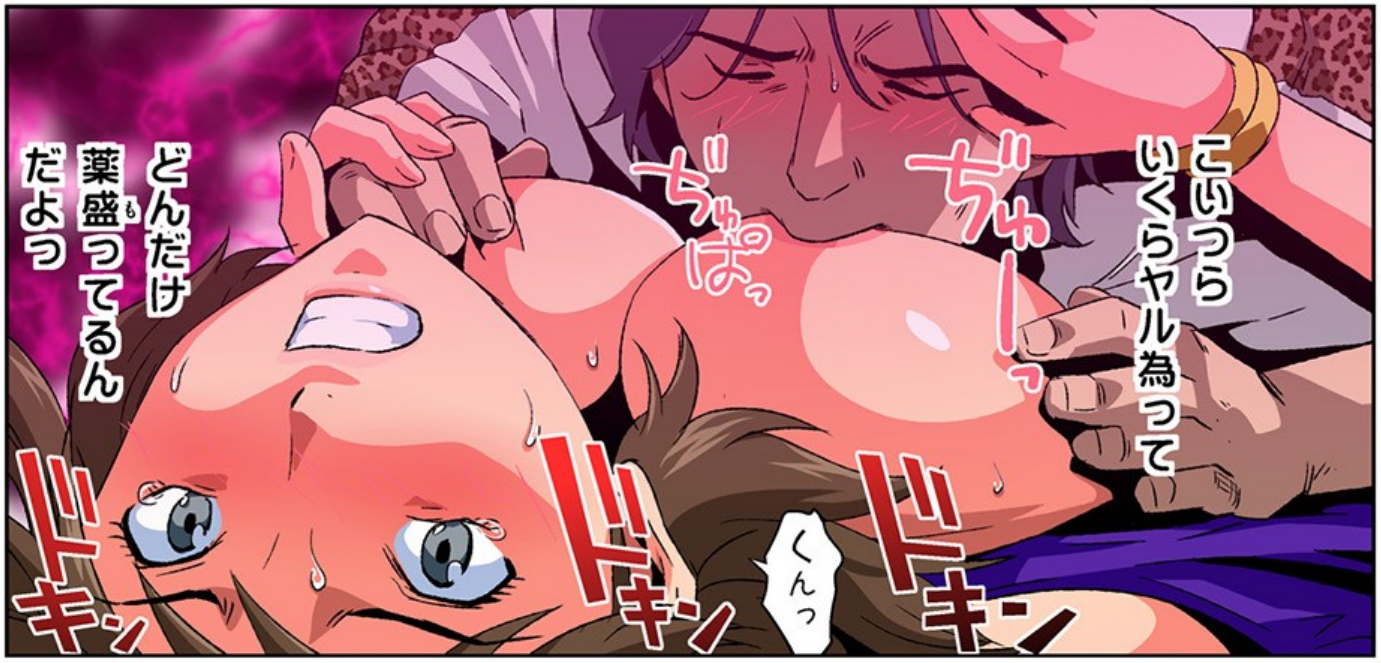

!?
スルッ

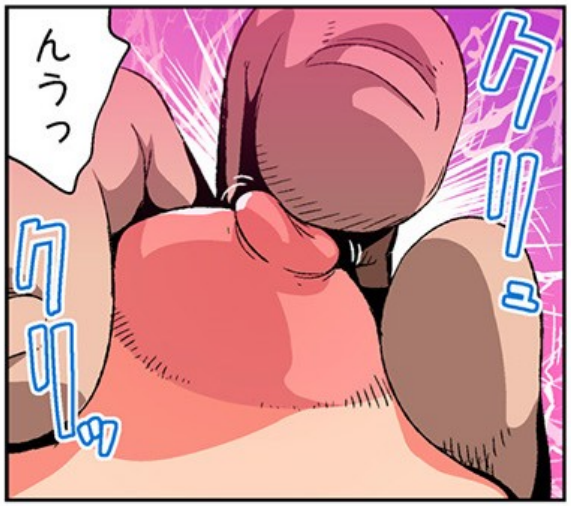

くうっ
駄目だっ
すげぇ
はあはあ
くっ…
力が…
入らないっ


はあ
はあ
めっちゃ
やわらけっ
ぐっ
やめ…ろ

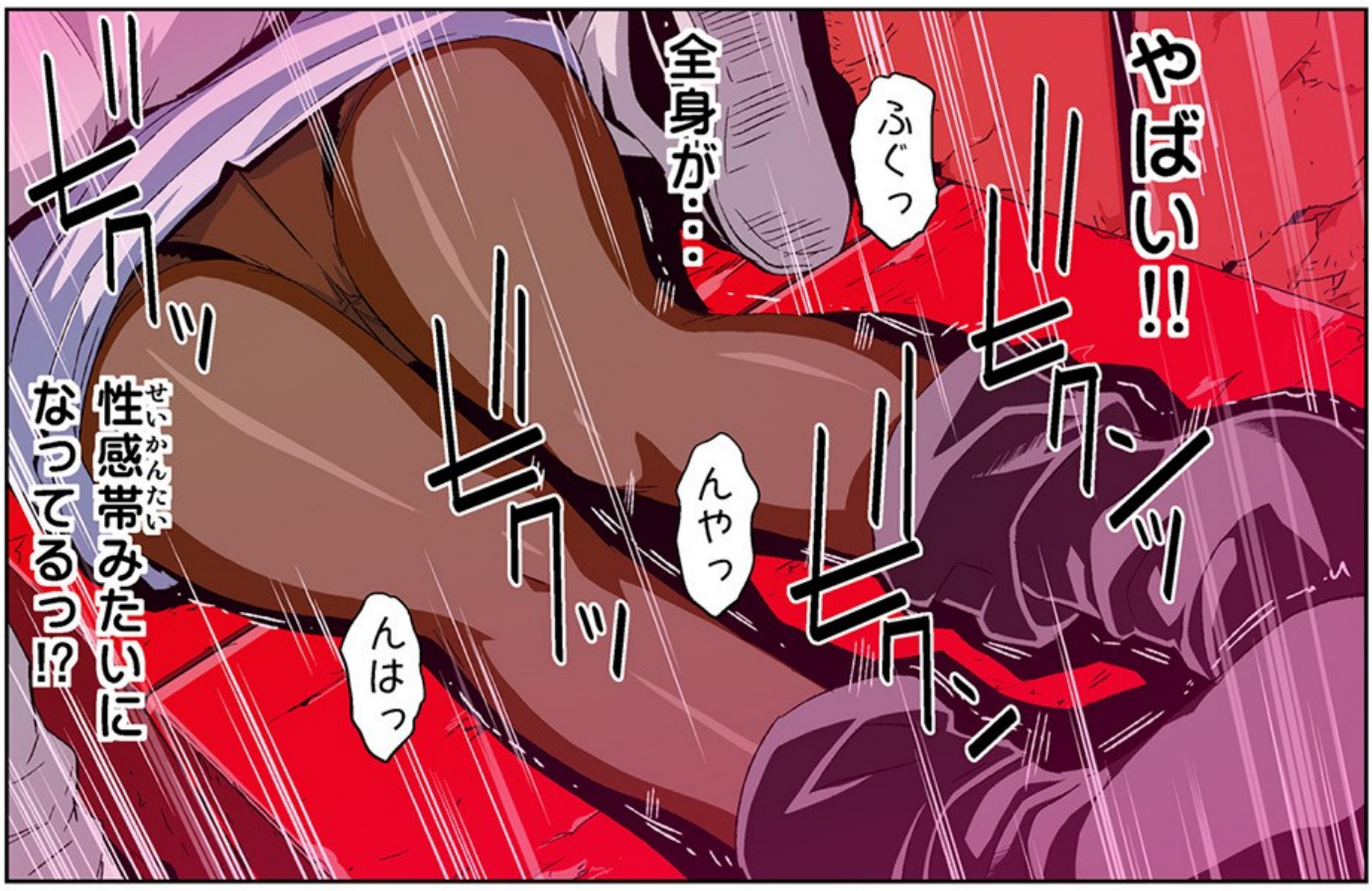

ぐっ
ろっ
んっ


ぐっ
うっ
何これっ!?

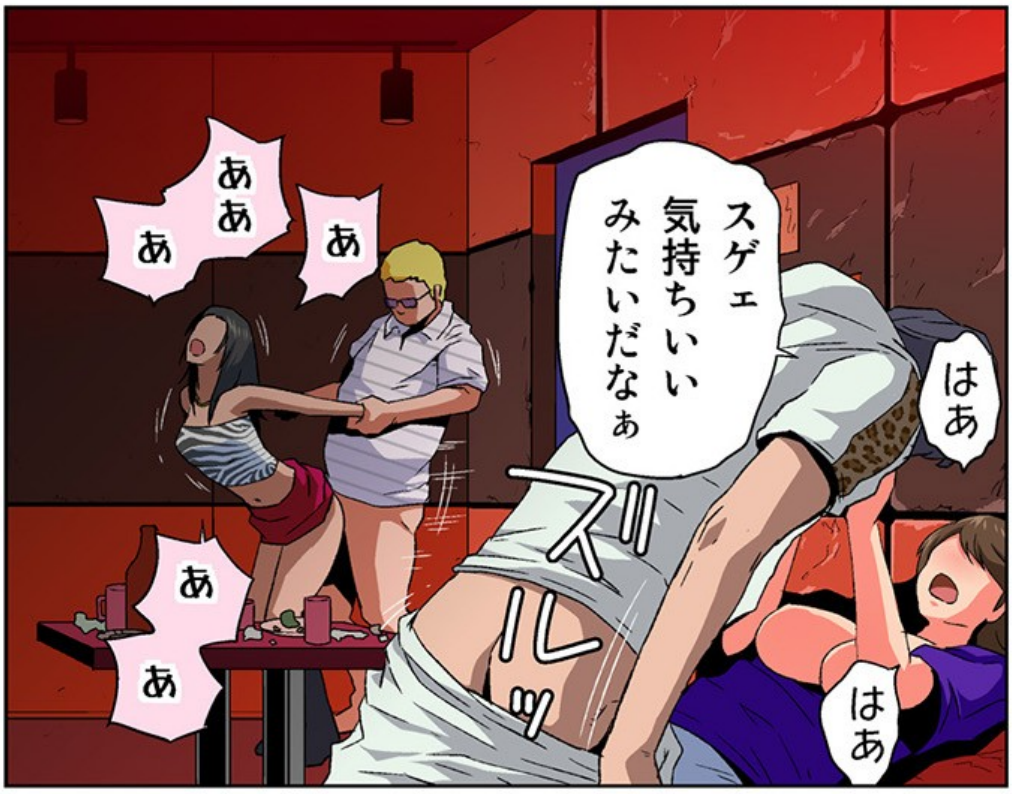

こいつらいくらヤル為ってどんだけ薬盛ってるんだよっ
ぢゅーっ
ぢゅぱっ
ドキン
ドキン
ドキン
くんっ


クリュ
クリッ
んうっ

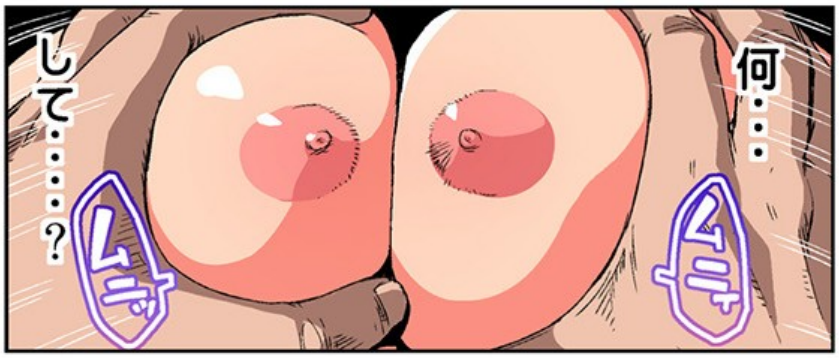

ヲルウゥ
!?

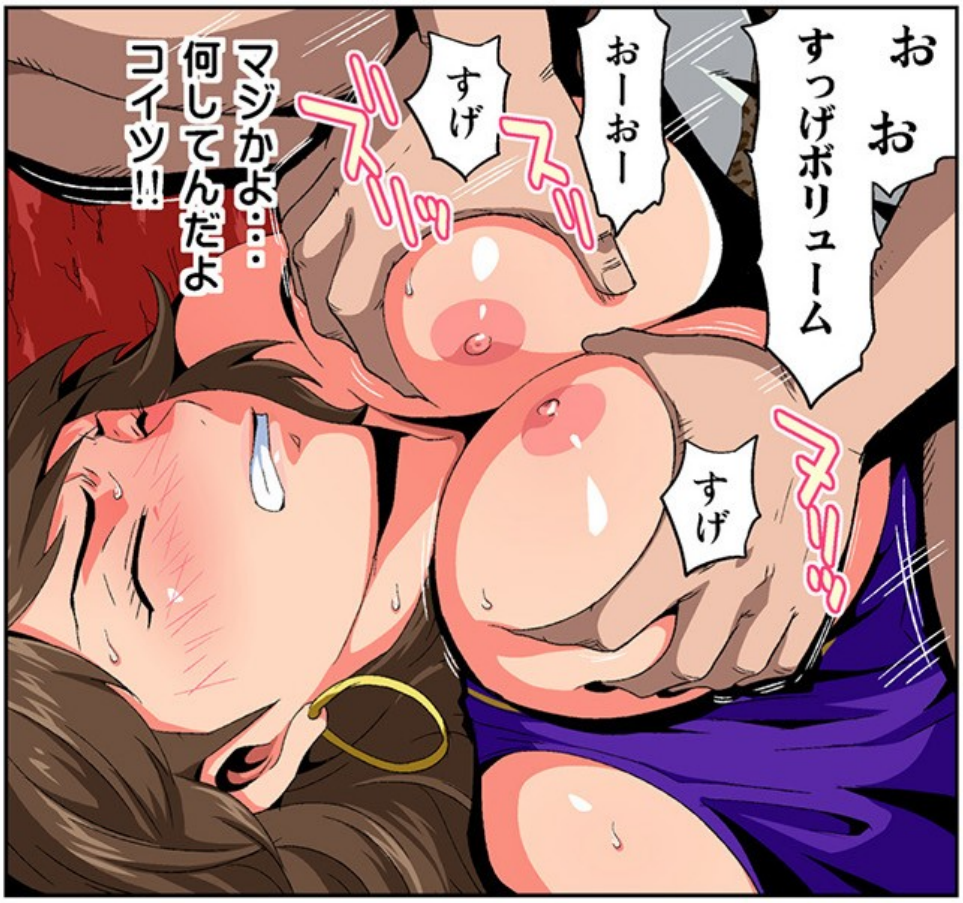

やばい!!
全身が…
ふぐっ
んやっ
んはっ
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
性感帯みたいになってるっ!?

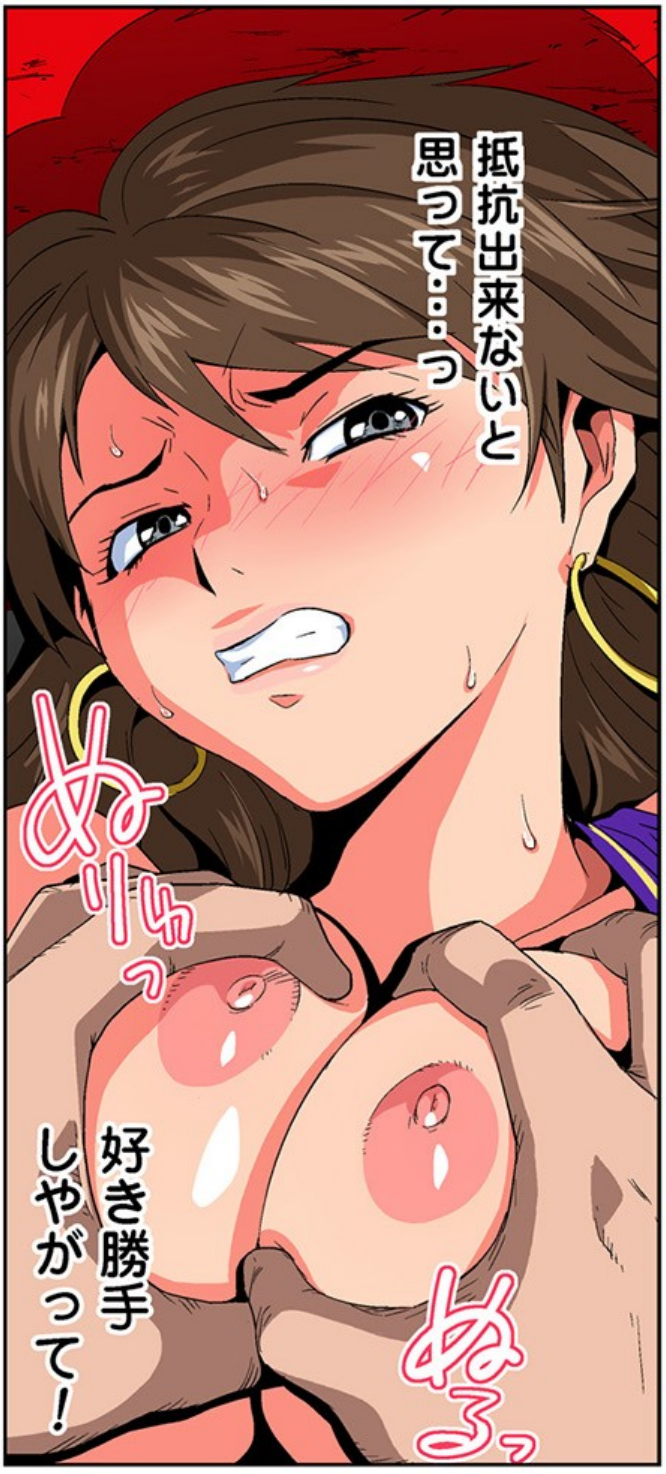

何で
やだっ
こんな男にっ
ピク♥
キスとか
気持ち悪い
のにっつ
ビク♥


スゲェ
気持ちいい
みたいだなぁ
はあ
はあ
スルッ
あ
あぁ
あ
あ
あ


俺も
気持ちよく
させてもらうぜ
？
ビクッ


何…
して……？
ムニッ
ムニッ


お
お
すっげボリューム
おーおー
すげ
すげ
マジかよ…
何してんだよ
コイツ!!
スニッ
スニッ

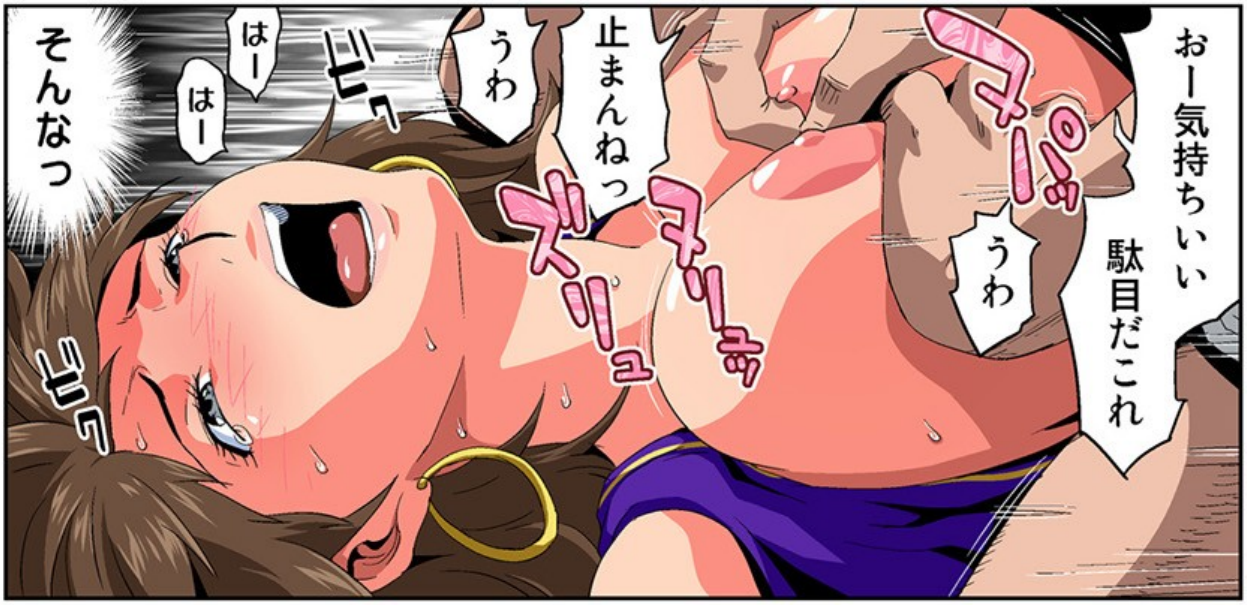

抵抗出来ないと
思って…っ
ぬりゅっ
好き勝手
しやがって！
ぬるっ

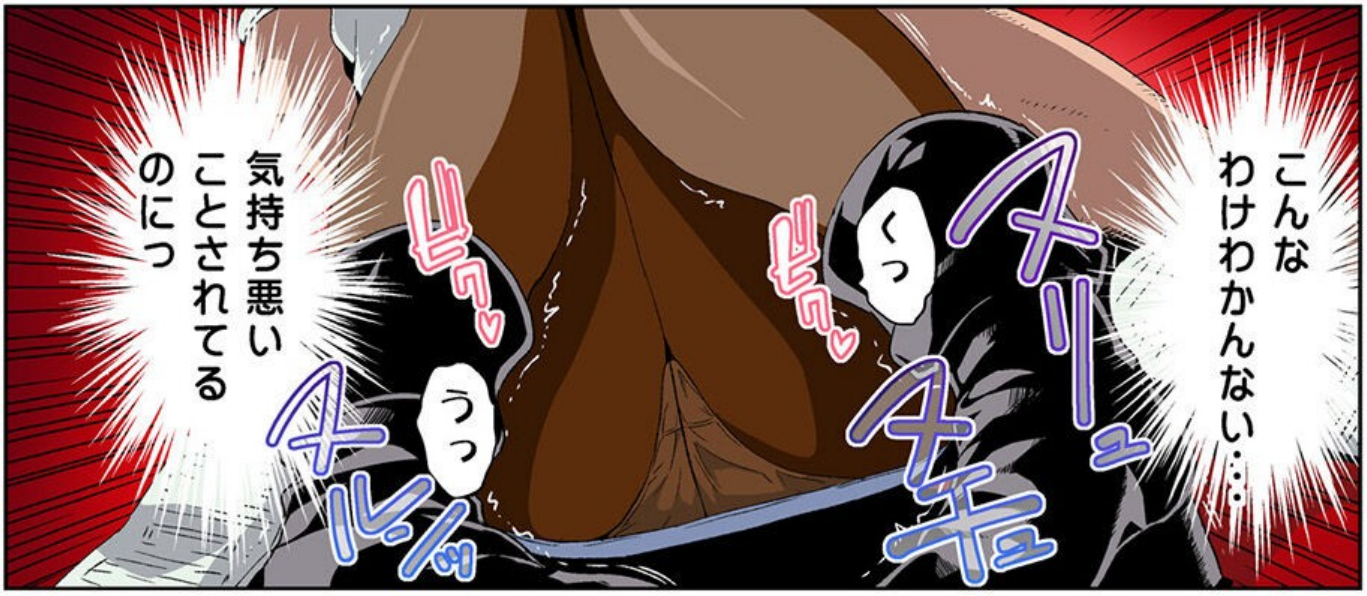

はぁ
ピク
ズリ
ズリ
ズリ
はぁ
はぁ

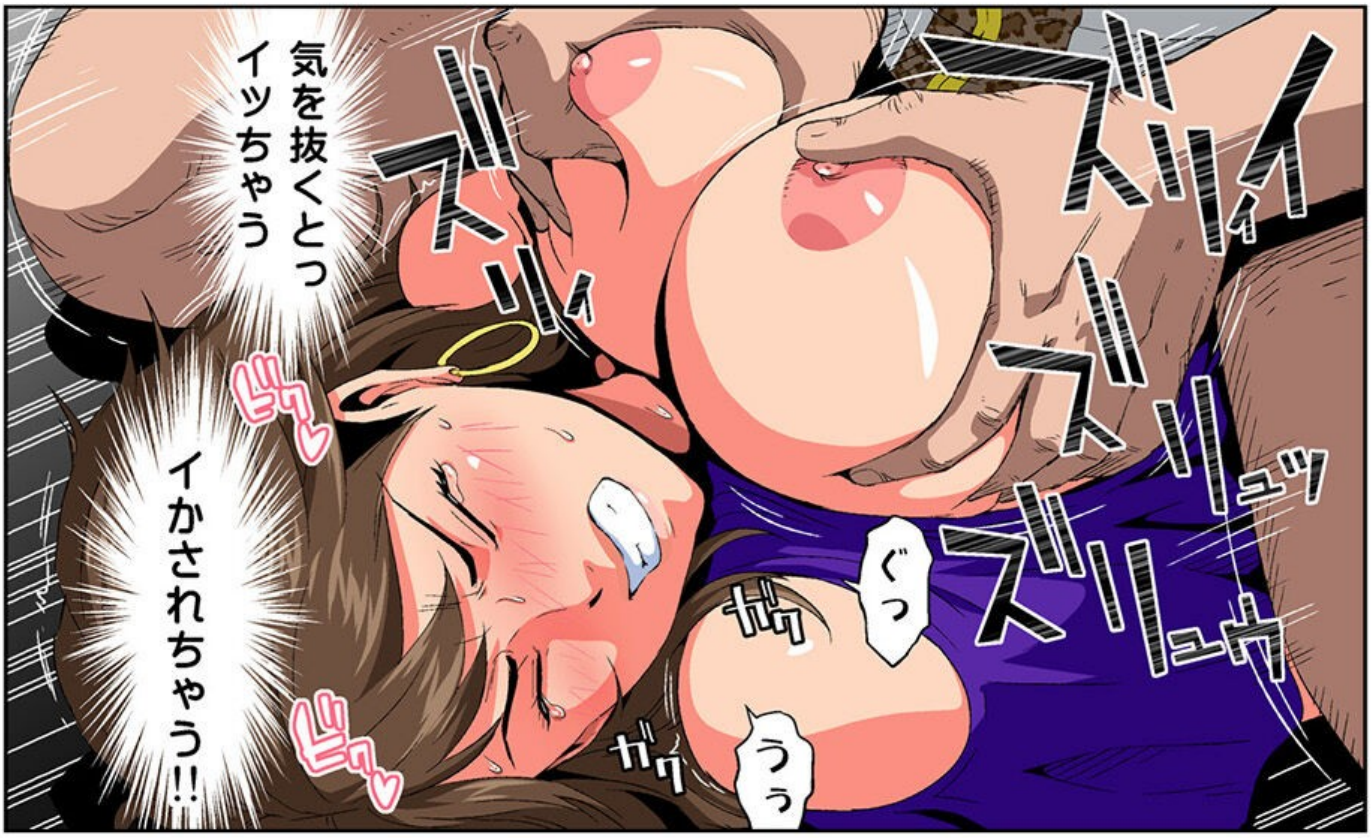

くっ…
そんなに…
擦り付けるな
うっ
ピク
んっ

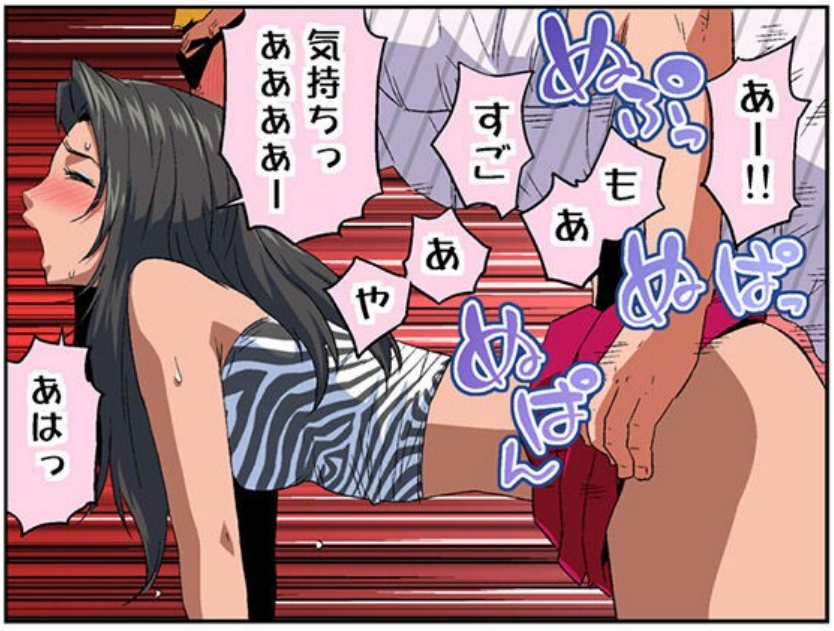

さわ
しこ♡


やめ…ろ
はぁ
ビクッ
ビクッ
はぁ


おー気持ちいい
駄目だこれ
フーッ
うわ
止まんねっ
うわ
ズリュ
フリュ
はー
はー
ビク
そんなっ
ビク


こんな
わけわかんない…
くっ
うっ
気持ち悪い
ことされてる
のにっ


気を抜くとっ
イッちゃう
イかされちゃう!!
ぐっ
うぅ


あー!!
気持ちっ
あああああー
すご
あ
あはっ


おおっ
めっちゃ
いいっあ
すげっ
や…めろ…
どけ…くっ
はあ
はあ


あんっ♥
あっ♥
あっ♥
ズッ
ズン
はっ
イクぞ
ふっ
ズン
中に出すぞ！


うん！
いいよ
パちっ
あっ♥
あっ♥
パちっ
パちっ
あー♥
もう欲しいっ
パちっ
あーそのまま
中に
きてーえええ!!!


やっ
くっ
ぬるっ
ぬっちゃ
ぬる
早くイケよ!!!
やべ やべ
気持ちいいっ

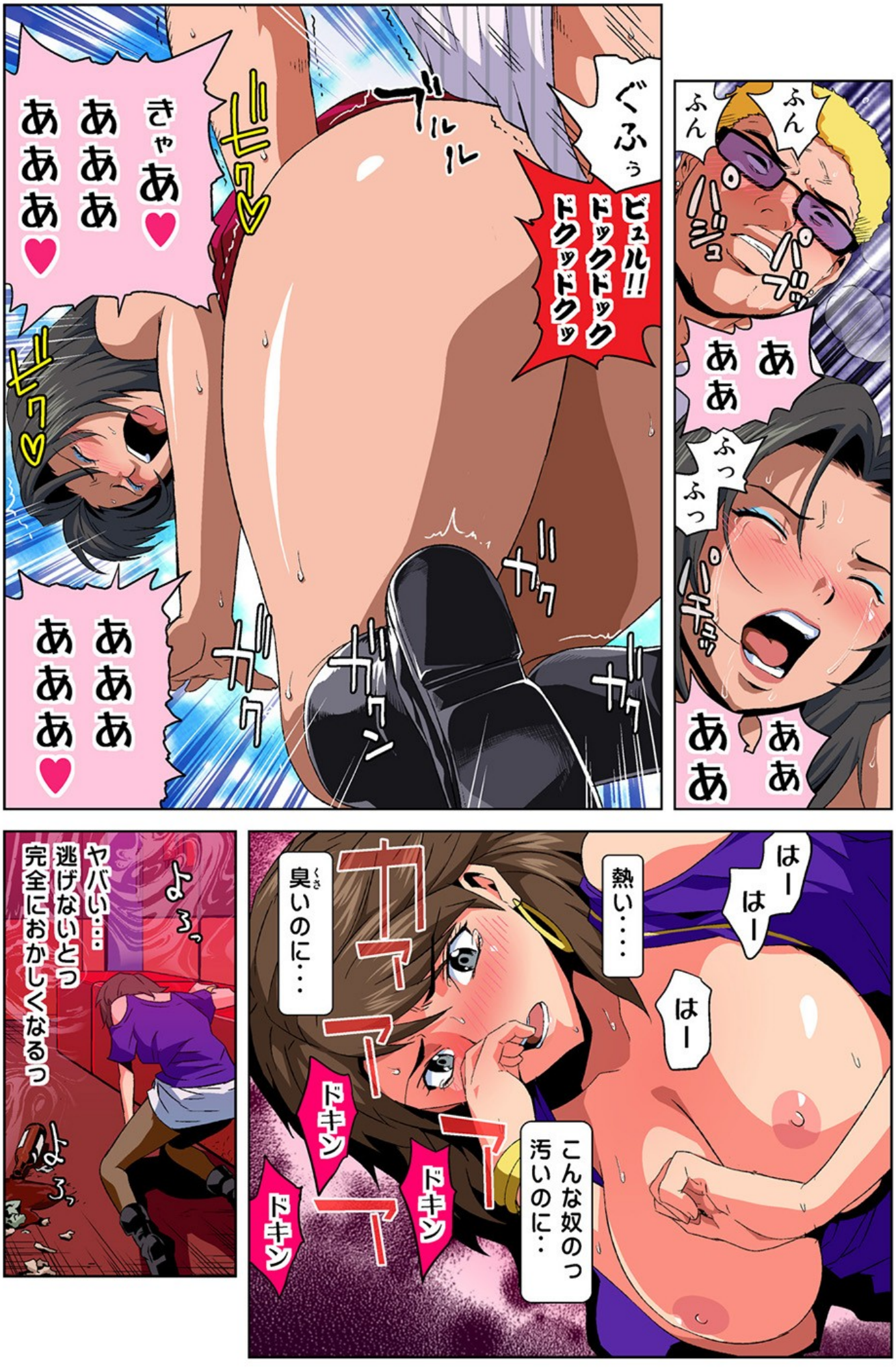

うっ
ズリズリ
じゅく♥
ぴく♥
ぴく♥
んっ
あっ
じゃないとっ
もう私が…
耐えられない!!


やだ!!!
はっ
はっ
ブルル…
ガク
ガク
ガク
はっ
はっ
こんな男に
イカされるなんて
…っ
うおっ！


ん！
あっ♥
んっ♥
んっ♥
ビクッ
……っ……っ
ぎゅうう

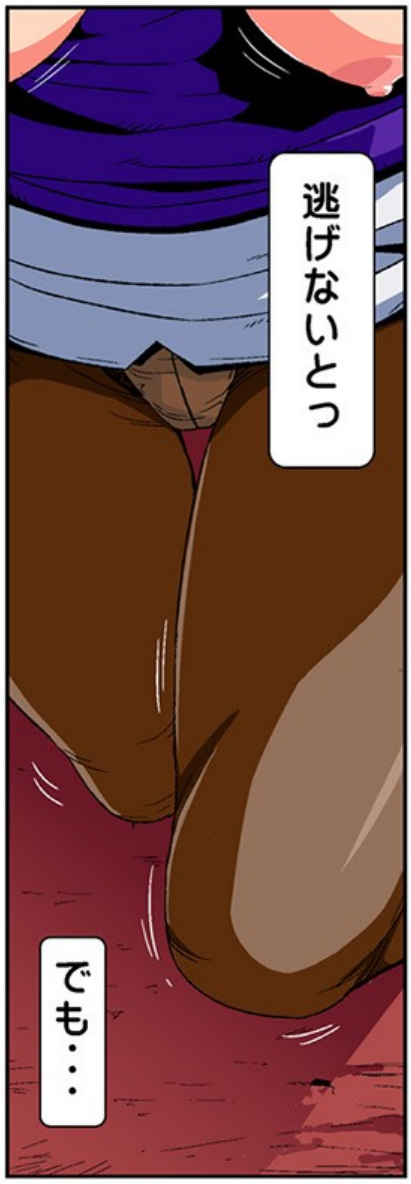

ふーあー
きっ持ちぇー
あ♥
あ♥
あ♥
あ♥


やっ
くっ


ふん
ふん
ハジュ
パブッ
あぁ
あぁ
ふっ
ふっ
ハヂ
あぁ
あぁ
ぐふぅ
ビュル!!
ドックドック
ドクッドクッ
ブルル
ビクン
ビクン
きゃあ♥
あぁぁ
あぁぁ♥
あぁぁ
あぁぁ♥
ガク
ガクン
ガク
はー
はー
はー
熱い…
臭(くさ)いのに…
こんな奴のっ
汚いのに…
ドキン
ドキン
ドキン
よろ
よろっ
ヤバい…
逃げないとっ
完全におかしくなるっ


おねがい全部出して♡
居場楓
かえで
KAEDE IBA
ACT85
密室の争い


はあ
はあ
よろ、
逃げないと…
よろ、
はあ
よろ、


逃げないとっ
でも…

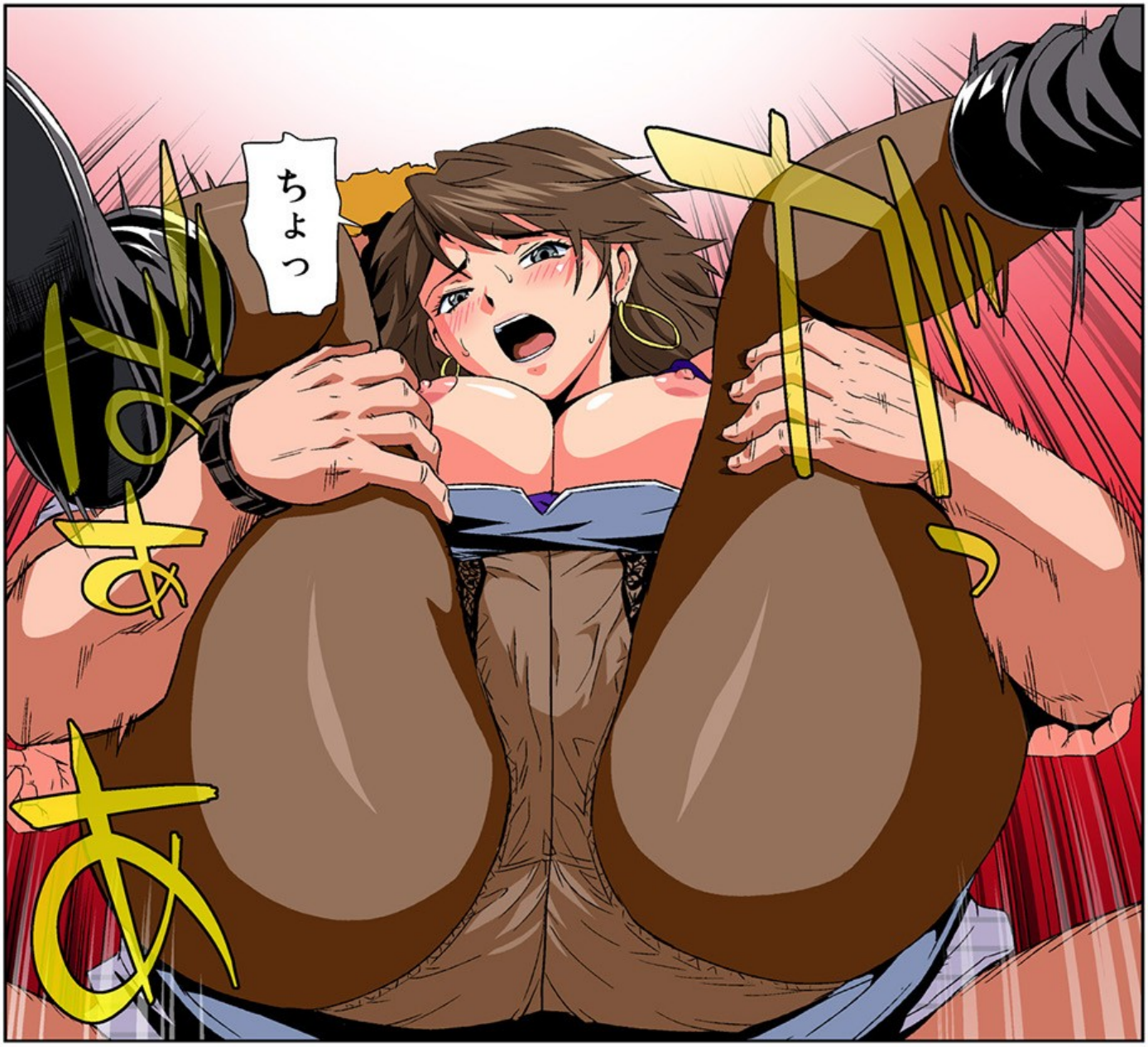

体が言うことをきいてくれない!!
ぐら。
ぐらっ
はあ
はあ

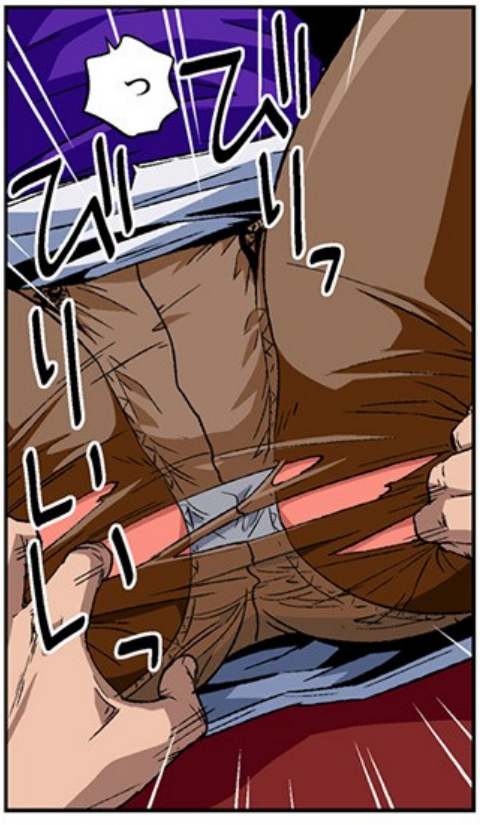

何処行くんですか？お姉さん？
!?


もう少し
遊ぼうぜぇ
トトヒッ
ブルンブルン


はっ
離せ・・・
ドサッ


!?
前から憧れの
涼花さんを抱いて
みたいって
思ってたんすよ


ちょっ
あぁ


っ
ぃぃぃぃぃぃっ


なんだよこれ
ぐっちょぐちょ
じゃねぇか
ぬにゅっ
ん
くっ
さ
触るなぁっ

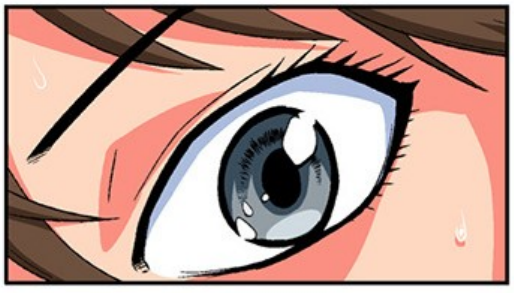

ぅぅぅ
にちゃぁあ

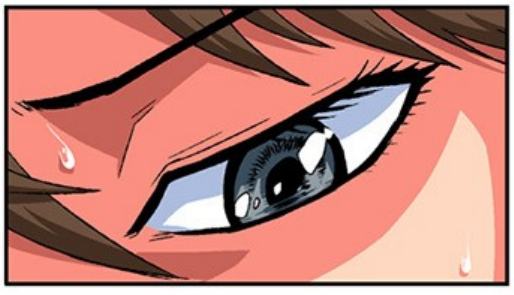

すっげたまんね
はー
はー
いや・・・
ガキがいるってのに綺麗じゃねえかよ
次俺にも入れさせて下さいね涼花さん


ああ…もうダメだ…


こんな奴らとつるむんじゃなかった
嫌なことを忘れるために酔って
ただ気持ちいいからって…


満たされるわけないのに
誰かもわかんない奴ら同士で抱き合って…

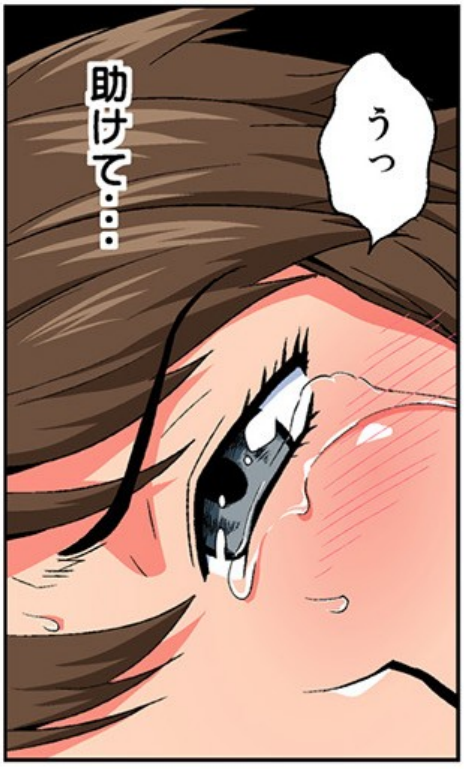





でも…私もこいつらと同じだ…
お手軽にちやほやされたかったんだ


必要とされない
現実から
逃げ出したかったんだっ――


おしいくぞ!!
ぐぐっ
んっうっ
ああ
こんなんじゃない
メル
ヨッシー…
やっぱり
ヨッシーに
抱かれたいよ…


うっ
助けて…


助けて
ヨッシーっ!!!


ずんっ



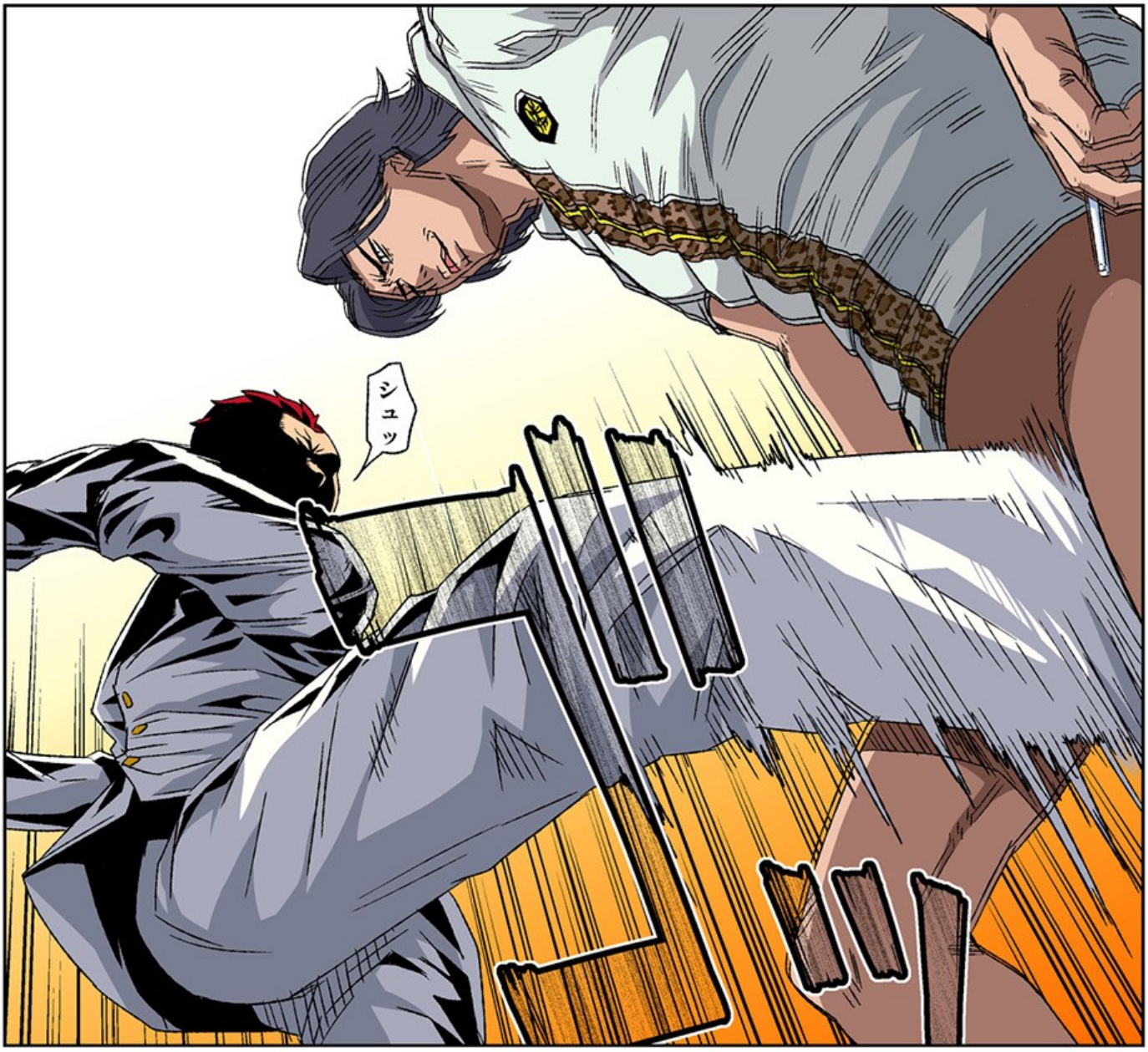

ふー
ふー

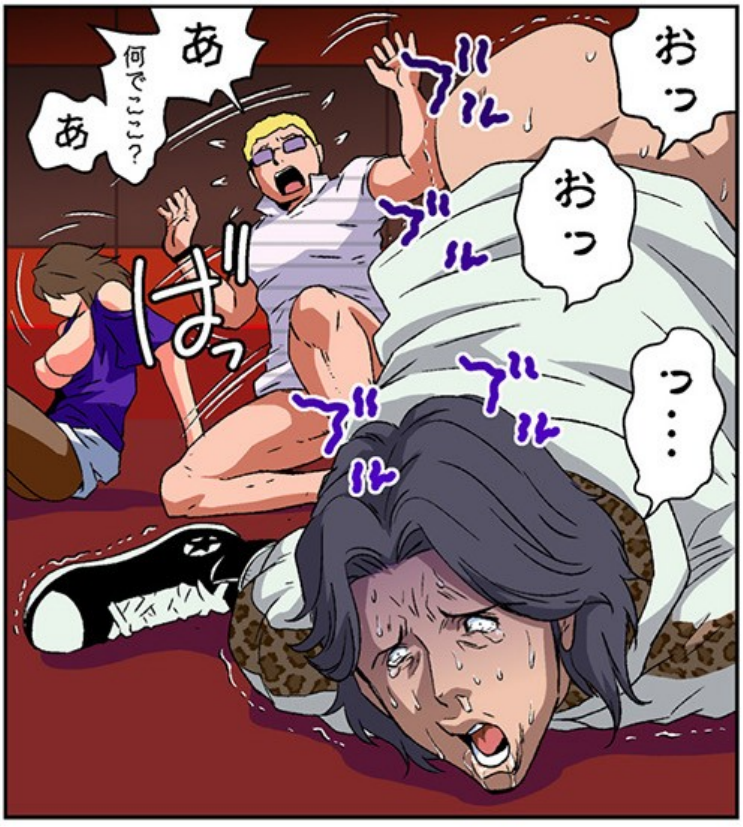



？・・・
ああ？
何だてめぇ


あれ？


邪魔すんじゃねえよ!!
チビがっ
オイ!!


シュッ


おっ
おっ
っ…
ブルル
ブルル
ブルル
ブルル
あ
何でここ？
あ
ばっ


俺はそのっ
別に涼花さんに
あの
やってなくて
や
あのっ
あのっ


何いってるか
聞き取れねえよ


すみませんでした!!
俺も酔ってて!
酔っちゃっててっ
あのっ
あのっ…
すみっ…あの…


俺の女に手ぇ
出して
すみませんで
済むと思う?

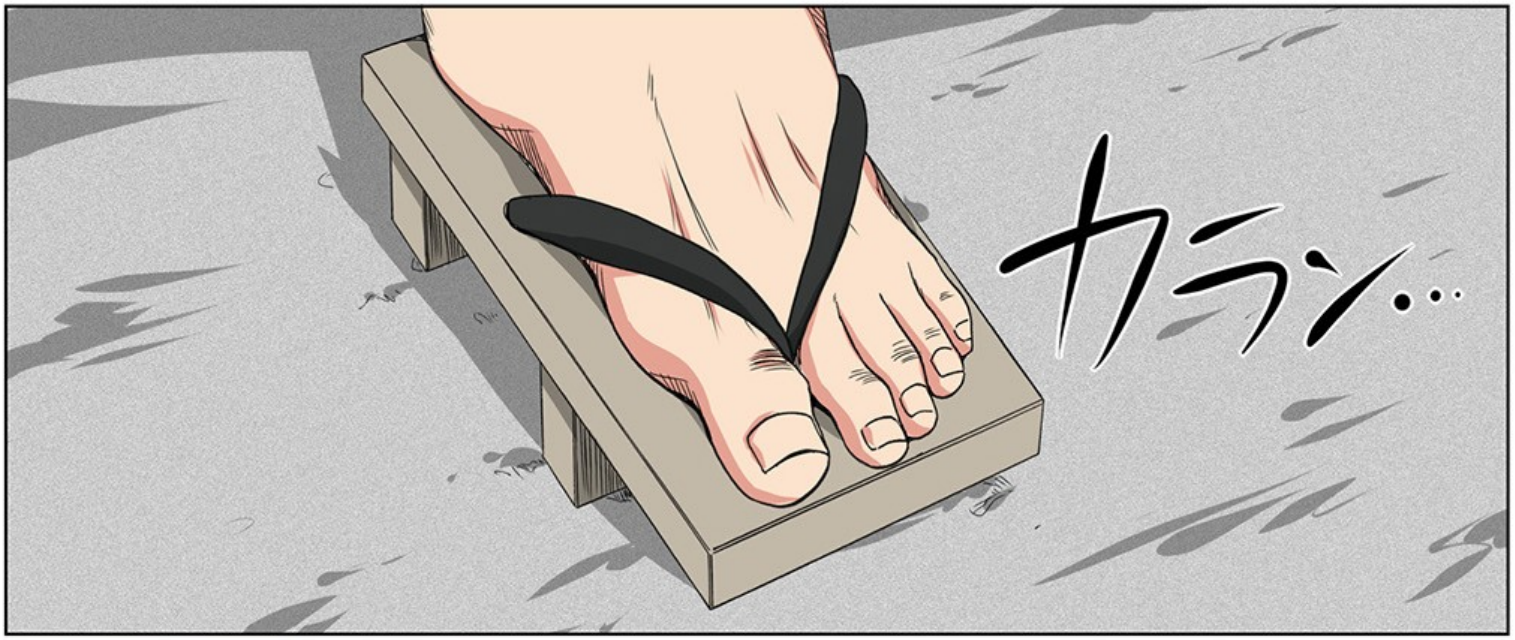

……
いいえ

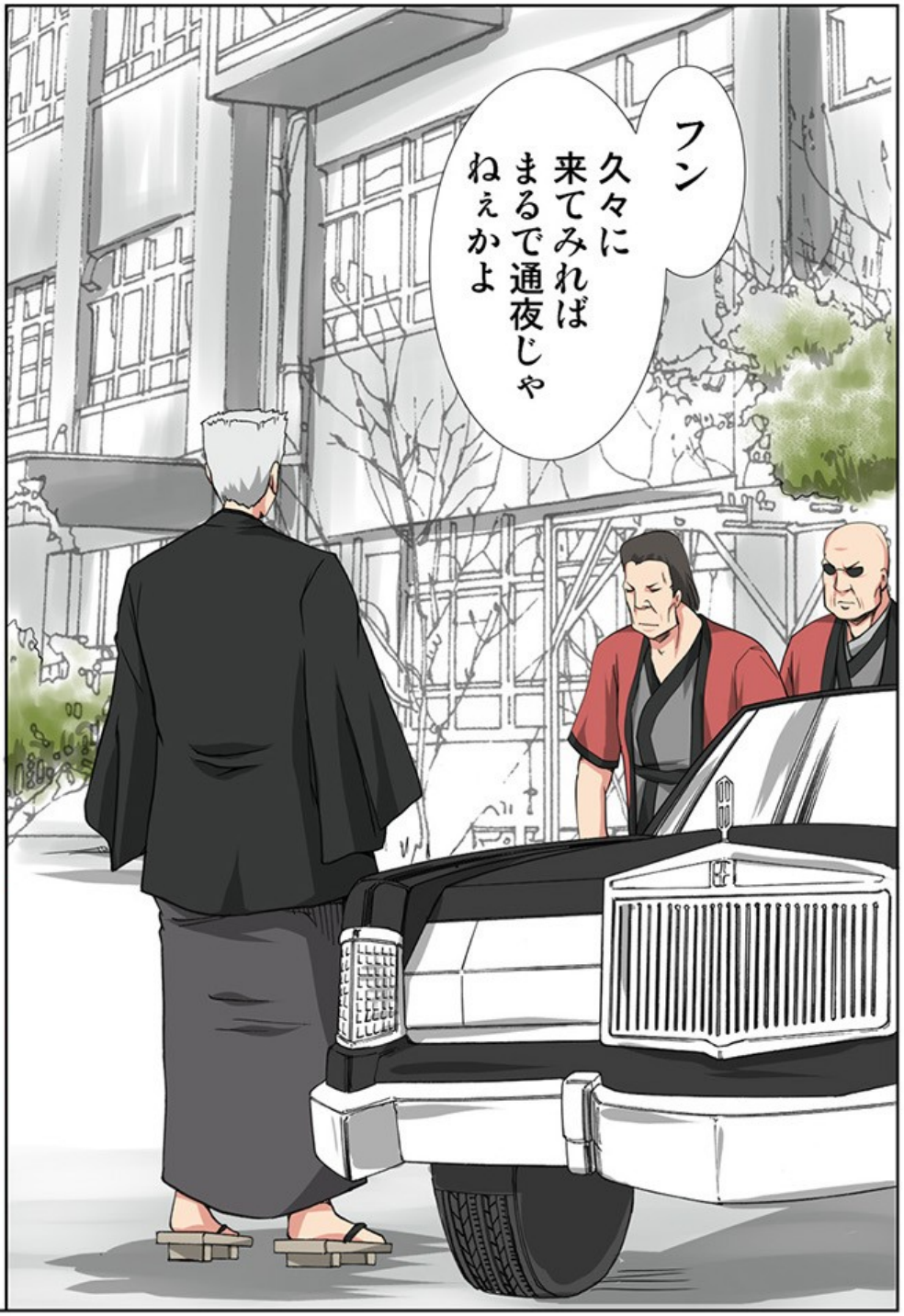

首折れない
ように
力入れとけ
え?
え?


ぐわ〜っ
トサッ


分かってんなら
すんなよなぁ
!?
・・・・武(たけし)?


リアル女体
VS
アキバ君
紫色雁行
ししょくがんこう
第19話


カラン…


フン
久々に
来てみれば
まるで通夜じゃ
ねぇかよ

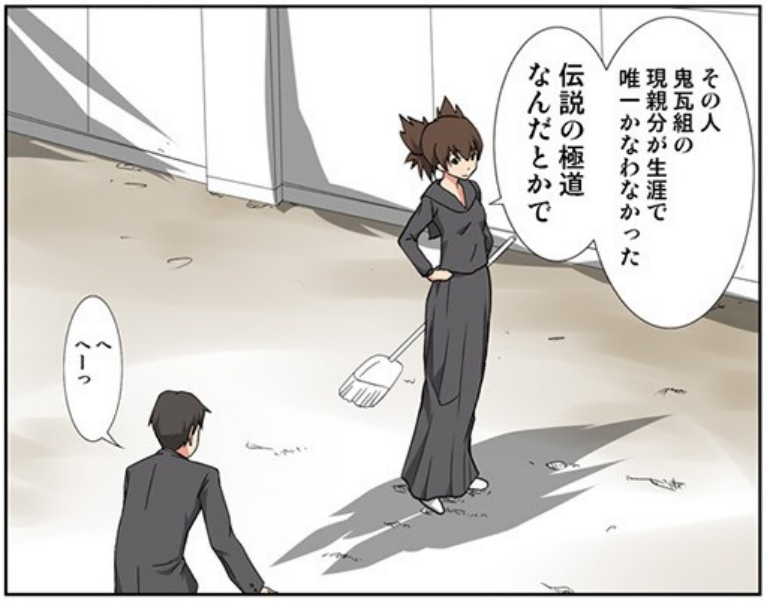

百合子め
何かあったら
すぐに呼べと
言っておいたろうに


まったく


そういや
アンタ
鬼瓦組って
知ってる？
えっ!?
あ…
ううん
ヘー
アキバって
オタのくせに
裏社会のことも
知ってんだね？
はは
はは
そりゃあ
なんたって
……
僕の実家の
ことですから
……
で その東日本
全域の極道に
強い影響力を持つ
鬼瓦組だけど
現在
次期総長の座を
めぐって抗争状態
なんだって
抗争？


ほら
ウチの学園って
創設者が実は
極道って話でしょ？


鬼瓦清虎が
この学校に転校までして
暴れまくってんのも
跡目争いに
ハクをつけるのが
目的じゃないかってさ


その人
鬼瓦組の
現親分が生涯で
唯一かなわなかった
伝説の極道
なんだとかで
へーっ


細かい所は
ちょこちょこ
違うけど
やっぱり
噂になって
るんだな…

清虎はホント
頭がいいから
ボクと無闇に
跡目争いなんかして
組の大勢を
揺るがすような
バカな真似はしない

どっちかっていうと
この学園に来た
目的は
学園の創設者
黒神鉄五郎に
興味があったから…？

若い頃から
オヤジのライバルで
古い伝統を重んじる
仁義に厚い極道
極
ウチの組にすら
隠れた信奉者がいるって
話も聞くくらいだし

清虎のことだから
その人心掌握術に
関心を持ったのかも…
ブッ
ブッ

？


!?
ペロッ
うわわっ!?
な
何するんだよ
今泉さんっ!?
アンタって
ウチの不良が
皆びびってる
現状なのに
一人だけ
平然としてるよね?
それがすごく
ミステリアス
すするどいぞ
この人…
その余裕が
どこから来てるのか
知りたいのよねぇ
ガタッ


へへっ♡
ペろんっ
どう？
オッパイ見るの
初めて？
ばっ
いいい
今泉さんっ!?
カン違い
しないでよね？
アタシまだ
処女なん
だから
グレてた
けどさ
ウリとかして
なかったし
ただ
アキバさえ
よければ
アタシの
ダーリンに
してあげても
いいかな…って♡
ダーリン
!?


苦労して
アタシを育てて
くれた母さんが
できなかった
あったかい
家庭を築く
こと
それが
アタシの夢
なんだ


アンタとなら
上手くできる
かも！
ね あたし
アンタのことが
好き！
理由は
わかんないけど
すごく
惹かれるの!!
それはたぶん
きっと——
アキバって
M男っぽくて
簡単に主導権
握れそうだから？
な 何だよ
その不純な
動機は
——!?


たとえばさ…
ただいま
お帰りなさい♡
アナタ♡
おフロ沸いてるわよ？
先にゴハンにする？
それともアタシに調教さ・れ・る？
ペシペシ
アタシ結婚するのなら
扱いやすそうなM男の旦那サマが理想だなぁ♡
そして毎晩縛ったりして思いっきり調教するの♡
なんなんだその設定は？
ゾクッ…
？
？


ほらぁ…♡
ホラホラぁ♡
気持ちいい？
龍人サン♡
あっ♡
責められて
感じちゃう
イケない
旦那サマなんか
アタシがたっぷり
お仕置き
しちゃうん
だから♡
はあっ♡
はっ♡
ぐぢぢ
ぢづぐぐ
はっ♡
あっ…あっ
アタシも♡
い
一緒に…♡
はっ♡


ブルルッ…
ビクッ!
ビクッ!
ビクッ!
ビクッ!
ビクッ!
ねぇってば?
ねぇアンタ縛られたりするプレイに興味ない?
はっ!?
逃げた!?
こっぜん
はっ
はっ
ガザ
ガザ
はっ
まいったな今泉さんすごくいい子だと思うけど
全速力で走ってまで
何故か逃げてしまった…
こらぁーアキバーっ待ちなさい
ビクッ!
見つかった!?
なぜだろう絶対…
絶対つかまりたくない!!!


ピクッ
……
お頭
何か
騒がしいですぜ
……
ふむ
はっ
タッ
タッ
はっ
タッ
……しまった…
こんな所に――
人が――!?
……って
えっ…!?
ちょっ……


うおぉっ!?
おおおっ!?
おっ!?
お!?
ほう…こいつは驚いた
ゴッ
ゴロ
ゴロ
ゴロゴロ
殺るつもりで放ったワシの鉄拳をかわすなんざ
お前さん顔に似合わずやるじゃあねぇの
ううううっ…
はっ
お頭っ
お頭っ御無事で!?
あれ…この老人…間違いない…
フン
あたぼうよ
黒神鉄五郎――
うん?


リアル女体
VS
アキバ君
第20話
紫色雁行


若ぇの
オメェどっかで
見たツラだな
しかも
俺が誰だか
知ってるふうな
その表情
!!
……フン
なるほど
そういうコトか
?


ちょっと!?
黒神組
一体
どういうこと!?
仁義
かっ観念して
下さいっ
お嬢の身柄を
しばらく軟禁させて
いただきます!
これは
学園運営に
失策を続ける
お嬢に対して
組長からの
お達しなんです
からっ!
黒神組 若頭補佐
清水 キヨ
……
お爺様は
どこ…?
もしや
学園に…!?
ちょっとキヨ
そこを
どきなさい!
どどき
ませんっ


フン
私よりも…
お爺様に従うって
言うのね？
クイッ
ち
違います
ただ…
お嬢の身を
案じて…
仁義
違う？
ウソおっしゃい
ぐいっ…
あっ…
お嬢っ!?
きゃううっ!?
クルン♡
クルン♡


お お嬢っ
…何を!?
ぺたん
キヨ
あなたの家系は
代々ウチに仕えて
きてくれた
でもまさか
あなたみたいな
弱気な小娘まで
極道の盃を受ける
だなんて
当時は誰も
思っては
いなかったわよね
私以外は…
キヨ…
あなた
ホントはずっと
私のことが
好きだったん
でしょう?
学生の頃から
ずっと……


学生の頃から
幹部候補として
期待されていた私を
憧れの眼差しで
とりまく女学生は
大勢いたけど
引っ込み思案の
あなたは
その輪の中にすら
入れてなかった
わよね
でも私
あなたの視線には
気づいていたのよ？
あなたの瞳は
他の誰よりも
艶っぽく
潤んでいたん
ですもの
この世界に入ったのも
私の傍に
いたかったから…
そうなんでしょ？
くいっ

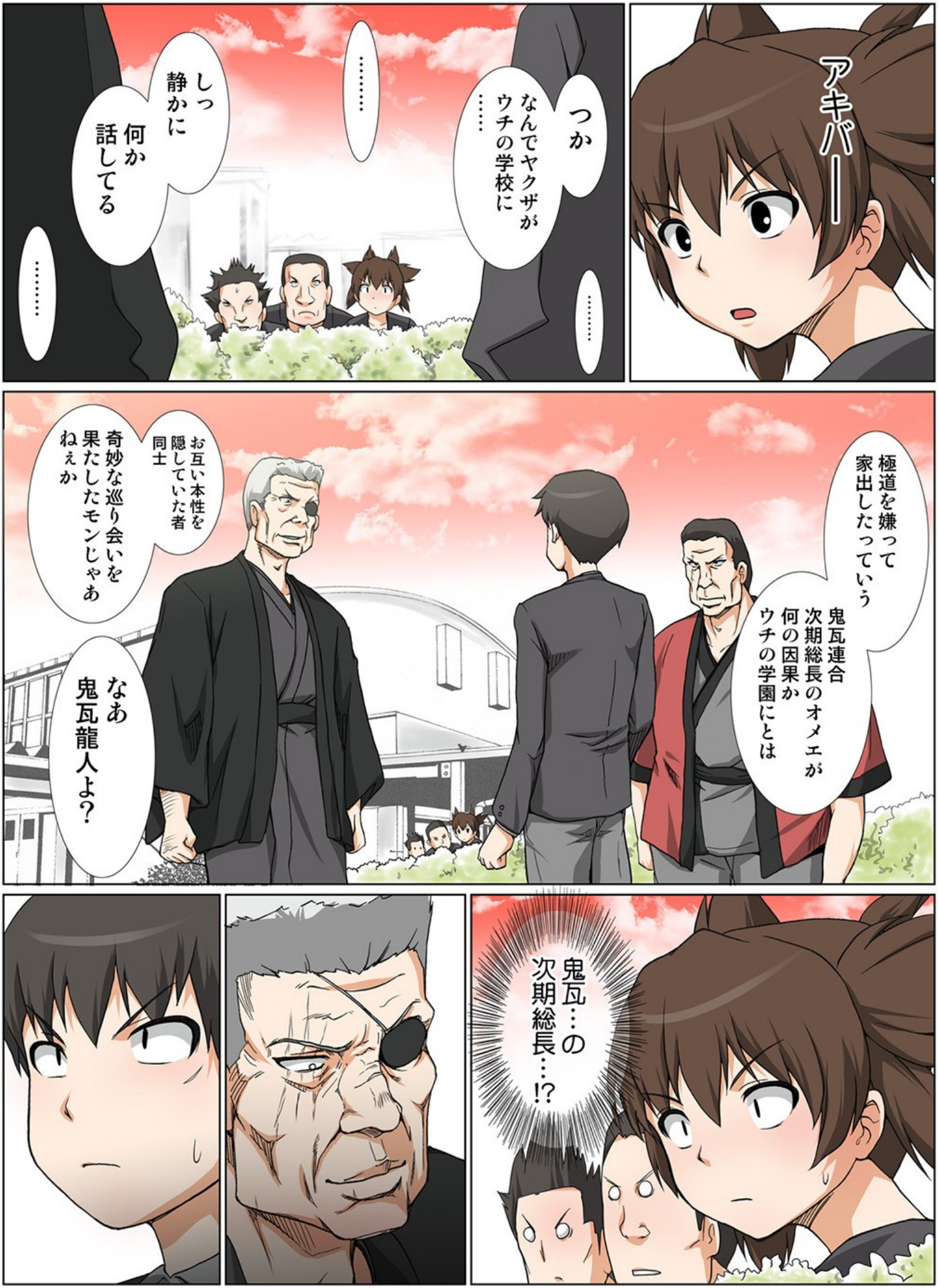

そんなあなたが私よりお爺様に従うなんて許せないわ
たっぷりお仕置きしてあげないとね
ちゅっ♡
ちゅく♡
んっ
んんっ!?
ぷはっ
やめて下さいお嬢っ
わ私に手を出したらとんでもないことになりますよ?
そうなの?
別にかまわないけど?
えっ…
はっ?
それにここは…ホラもうこんなに♡
欲しいでしょ?私のことが?
だったら
ひゃうう
女の子同士で愛し合ったっていいじゃない


すごいわ
キヨのここ
もうとろとろ
気持ちいいの？
はっ…ん♡
ちゅっ♡
ちゅぱ♡
ふあっ♡
はっ♡
はい…あっ
お嬢…ダメです
私…もう
いいのよ
イっちゃっても♡
ぜるっ♡
ぜるっ♡
何度でも
イカせてあげる
から♡
ぜクッ
はあっ♡
ふあぁっ…♡
ビクンッ!
はあっ♡
すごーい♡
さっきから
本当にイきっぱなし
じゃないのよ♡
カワイイわよ
キヨ♡
ぜクッ♡
ひゃううっ…!!
はっ♡

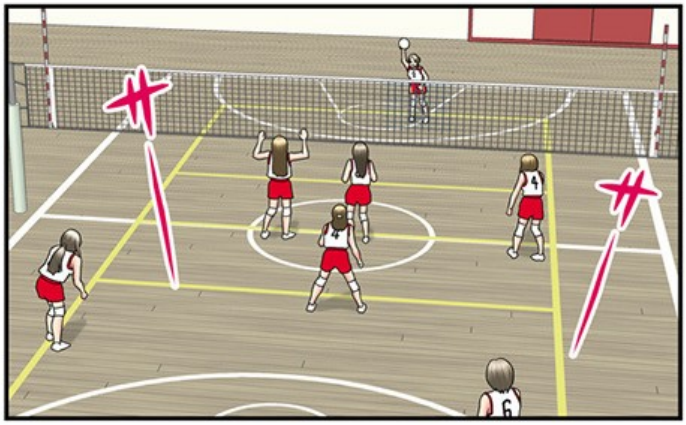

ふふっ
さっさとこの子を
イカせまくって
学園に
向かわないとね…
はっ♡
あっん♡
ごめんなさいね
キヨ
あなたのことは
嫌いじゃないけど
はっ♡
ああっ♡
きてますっ♡
お嬢っ♡
わ私♡
私が本当に
大切なのは
正田君
ただ一人…!!
※漫研部
部長 正田
待ってて正田君♡
ああ
イっちゃうっ…♡
イっちゃいます
――っ♡
必ずあなたの元に
たどりついてみせるから――♡


さて…と
ま まって
…下さい
お お嬢
言ったはず
ですよ?
私に手を出したら
大変なことに
なるって……
なぜなら……
ウチの組には
お嬢をお姉サマと
慕う乙女達が
ゴマンと
おりますもの♡
!?
お姉サマー♡
キャー♡
キヨだけ
ずるーい♡
ずっと好きでした
のー♡
さ
お嬢♡
この者達も
ぜひ寵愛
なさって下さい♡
じりっ
じりっ
し
知らなかった
……
覚悟は
よろしいですか?
ひいいい
私が
先なのー♡
キャー♡

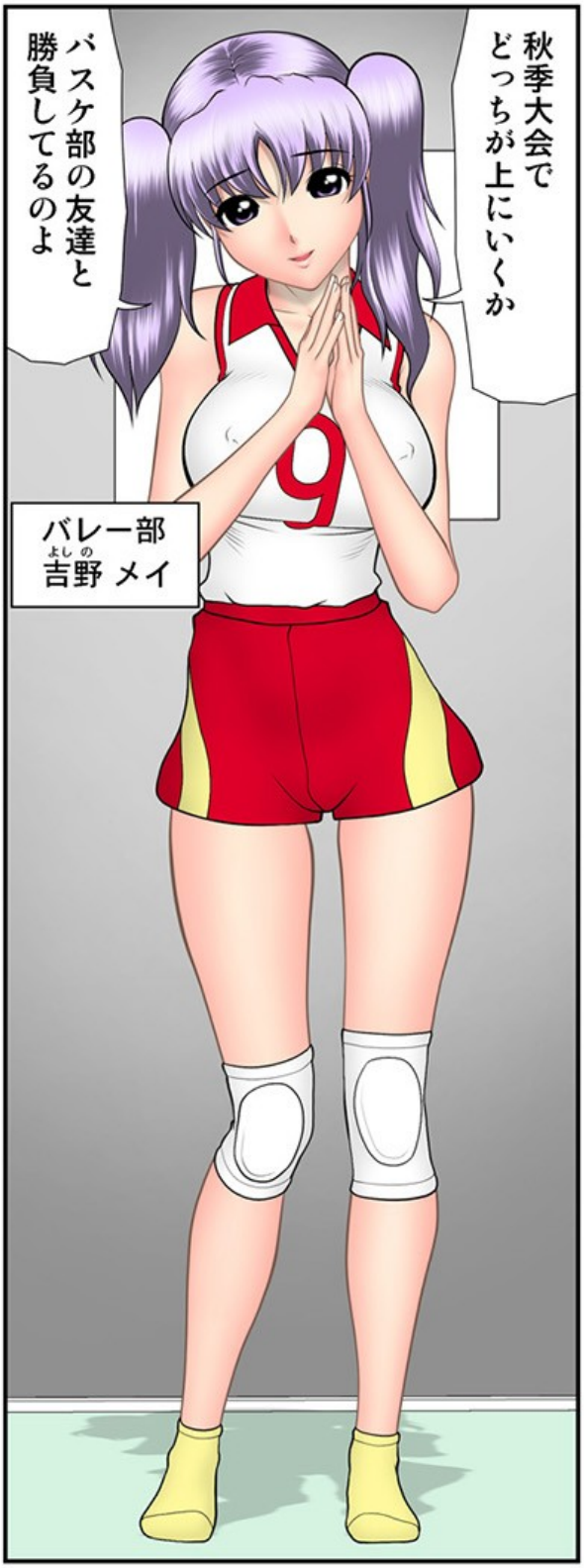

はっ
はっ
はっ
たっ
たっ
はあっ
はあっ
くそっ
アキバの奴
いったいどこに
……
お
今泉じゃん
？
アンタ達
何してんの？
ああ
見てみろよ
あいつ
オマエのクラスの
オタクだろ？
？
何かヤクザに
からまれてんぞ


アキバー
……
つか
なんでヤクザが
ウチの学校に
……
……
しっ
静かに
何か
話してる
……
極道を嫌って
家出したっていう
鬼瓦連合
次期総長のオメエが
何の因果か
ウチの学園にとは
お互い本性を
隠していた者
同士
奇妙な巡り会いを
果たしたモンじゃあ
ねぇか
なあ
鬼瓦龍人よ?
鬼瓦…の
次期総長…!?


ヴァージンあげちゃう
第50話
西本重治






秋季大会で
どっちが上にいくか
バスケ部の友達と
勝負してるのよ
バレー部
吉野(よしの) メイ


女子バレー部
その辺を
占えば
いいのかな?


えっ…えーっと
実は…その
もう一つ
勝負してて…
どっ…どっちが
先にバージン
捨てれるかって…


それは…
勝負するような
ものじゃないんじゃ
……?
アハハ
占い同好会
部長
白河(しらかわ) ゆう


売られた勝負を断るのはポリシー的に…
ムゥ
ムゥ
したくないというか…
体育会系だなー…


そのバスケ部の友達に彼氏ができたらしくて…
アセ
アセ
キスしてる写メ私に送ってきて…


しちゃったって話聞く前に私が経験しちゃえば…
ドキ
スル
ドキ
引き分け以上だもん…


そこまでいってるならもう勝負は…
ついてないっ！


好美に相談したら
白河が上手で
口固いって…
プル
チア
リーディング部
正田 好美
また正田か…
ブィ♥
！
お願い…白河
ドキ
ドキ
私のバージン
もらっちゃって…
パ
カ
ドキ
ドキ
かっ…覚悟は
もう出来てる
からさ…
プル

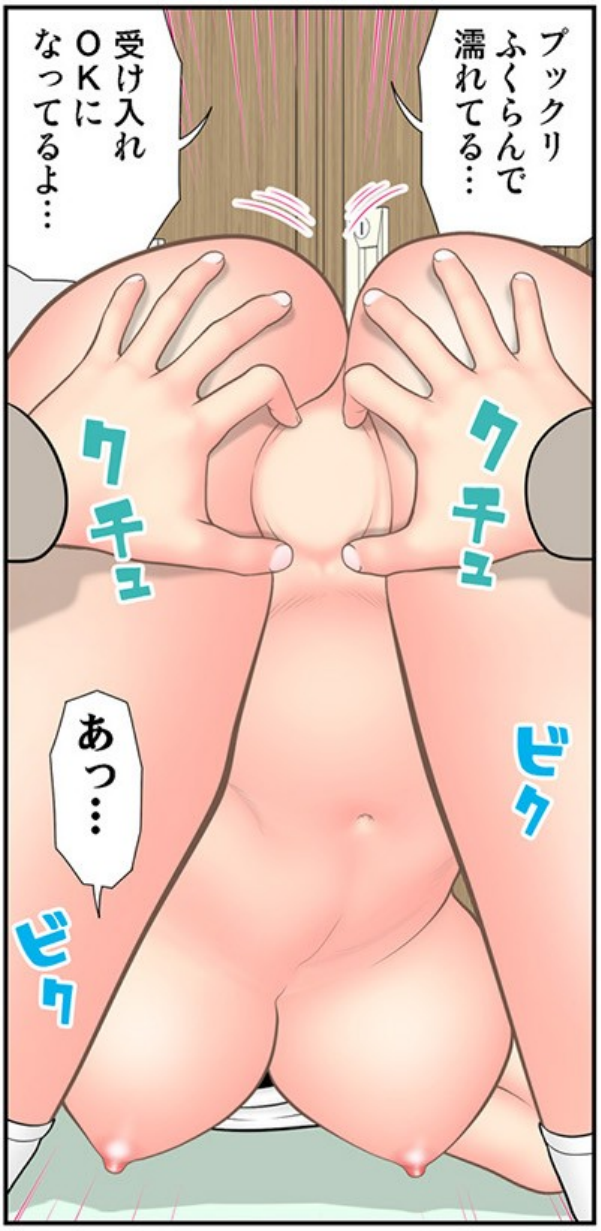

覚悟よりも…
準備が必要かも…
チュッ…
ビクン
！
きゃっ…

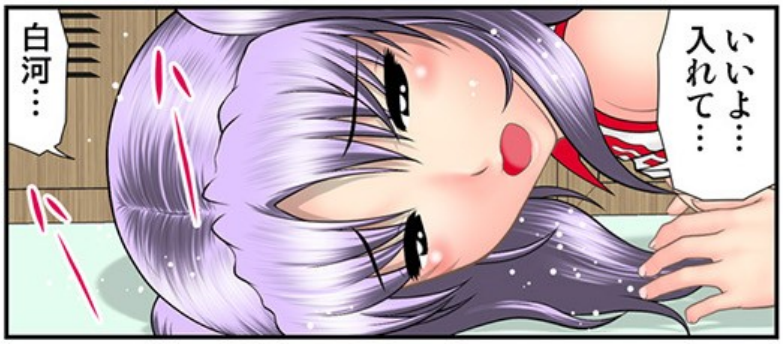

ええええっ!?
ハァ
ダッ…ダメだよ
ハァ
ビク
部活で汗が…その
ビク


んあっ…
ハァ
あっ…いやっ
ビク
あっ
あああ～～～
ハァ
ビク
ビク
ビク
ビクン


チュウ
チュルル
舐めなくていいよ…あっ
ひっ…拡げちゃだめェ…


きっ…気持ちいい…あっ…
舐められるの…
んんっ
白河…スゴ…
あっ
いい…
ピク
ピク
ピク


プックリふくらんで濡れてる…
受け入れOKになってるよ…
クチュ
クチュ
あっ…
ビク
ビク


白河…
いいよ…入れて…


わかった…
はう…
こっ…これが…
今から私に…
グッ
ハァ
ドキ
ドキ


ふあっ
あっ
あああっ
ハァ
ハァ
ビク
ビク
ジュプ


スゴ…
ホントに…
全部…
入っちゃってる…
白河の…
ハァ
ハァ
ズクン
ズクン
うあ…
あ…
ビクン
ビクン
動くよ…
吉野…
うっ…
うん
ハァ
ハァ


ああっ…
あっ！
白河の…
んっ
熱い…
あっ
ジュプ
ジュプ
痛く…ない？
んあっ…


だっ…大丈夫
あっ
もう少し…
強くても…たぶん…


パン
パン
パン
あっ
んあぁっ
ふあっ


繋(つな)がってるトコ…
あっ
ハァ
ハァ
いっ…いじられると…
あうっ


ビクッ
ビクッ
いっちゃう…
あっ
ビク
つく…
ビクン
ビク
あ…
あああ～～～
ハァ
ビクン
ビク
ビク


うあ…
ん…
ピク
ピク
すごく…
いい…コレ…
女子バレー部
…白河
色々…
教えてよ…
そう…オレの
握って…
うっ
そのまま…
入り口に先っぽを…
こっ…
こう？
んっ
クチュ
うん
クチュ
ゆっくり
腰を下ろして
ふあっ
ビクン
ビクン
オレの上に
座っちゃって
いいから…
ブチュ
ブチュ

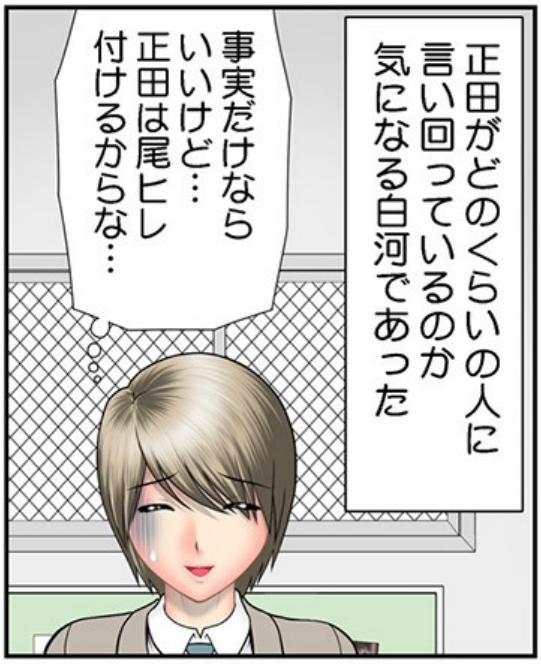

ス…スゴい…
あっ…
あああっ
当たる…
ハァ
んあっ
ハァ
プル
ズリュ
気持ちいい
ところに…
あっ
プル
ズリュ

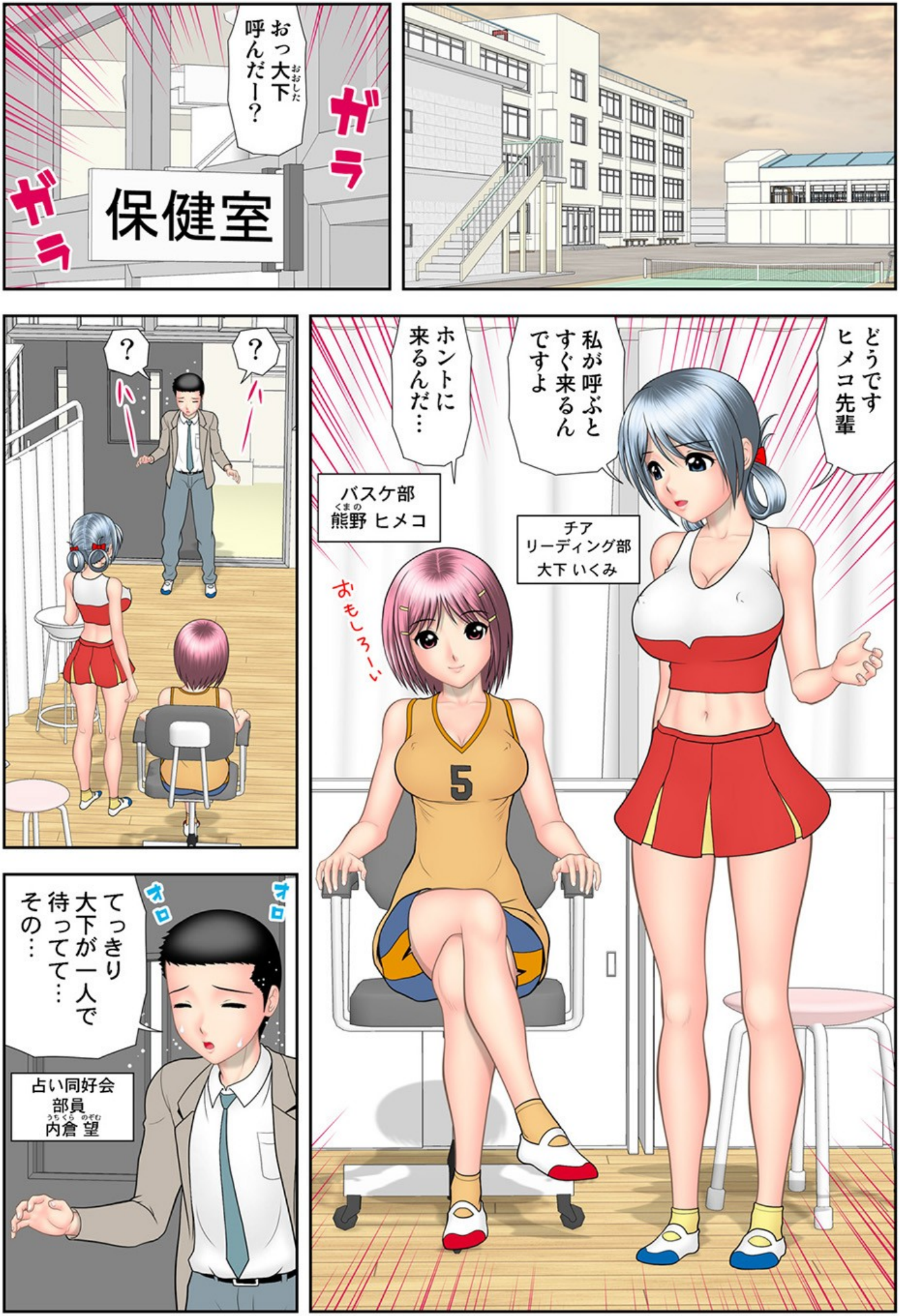

はぁああ
あっ…
しめつけ
が…
うっ…
吉野…
ハァ
ハァ
ハァ
ズリュ
いいっ
ズリュ
いいのお
そんな…
ギュウギュウ
しごかれ…
たら…

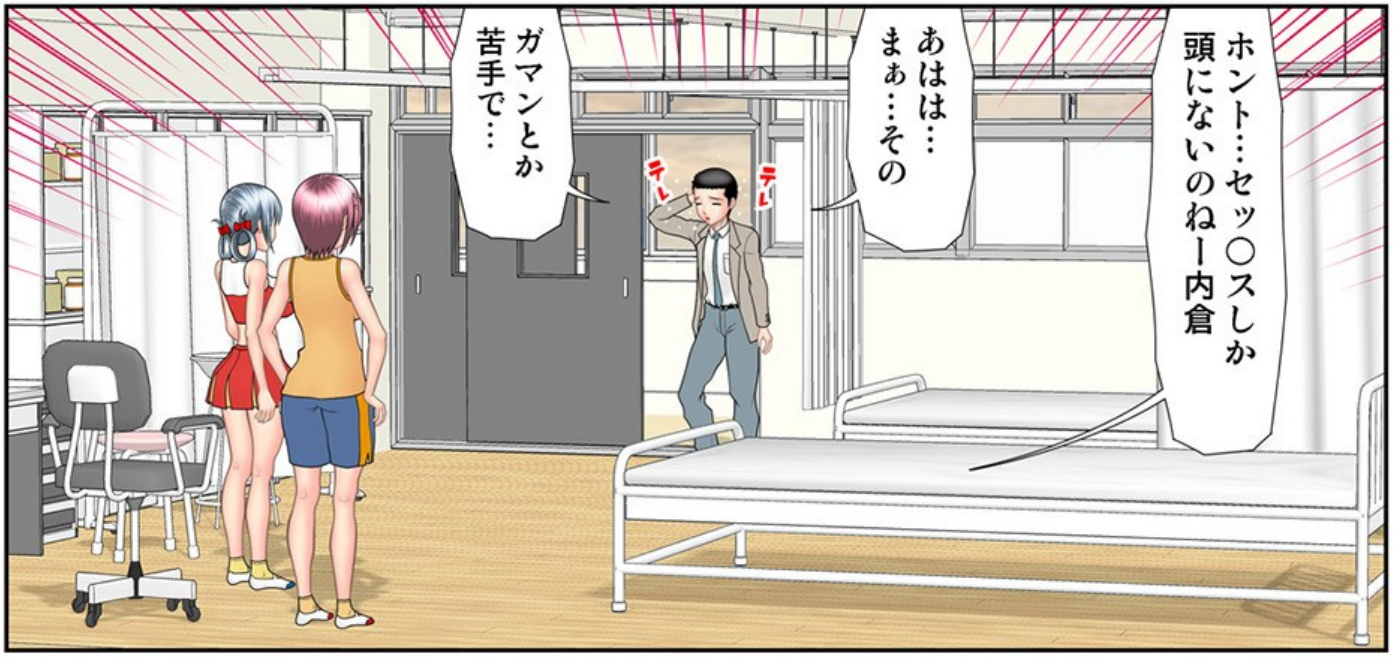

ああっ…
イッちゃう…
もう…
あっ…
あああ～～～
ビクン!
ビク
ビク
ビクン!
ドクン
ビュク
ビュク
うあっ…
でっ…
出るっ


ピク
ピク


ありがと…
白河
女子バレー部

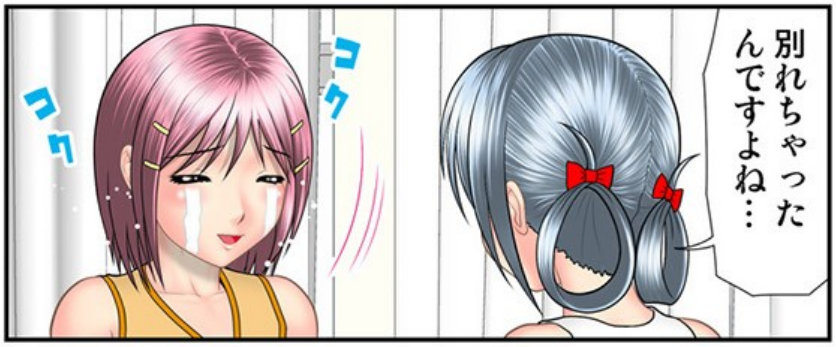

正田がどのくらいの人に
言い回っているのか
気になる白河であった
事実だけなら
いいけど…
正田は尾ヒレ
付けるからな…


ガラ
ガラ
保健室
おっ大下(おおした)呼んだー？
どうですヒメコ先輩
私が呼ぶとすぐ来るんですよ
ホントに来るんだ…
バスケ部 熊野(くまの) ヒメコ
チア リーディング部 大下 いくみ
おもしろーい
？
？
オロ
オロ
てっきり大下が一人で待ってて…その…
占い同好会 部員 内倉(うちくら) 望


ホント…セッ○スしか頭にないのねー内倉
あはは…まぁ…その
ガマンとか苦手で…
テレ
テレ

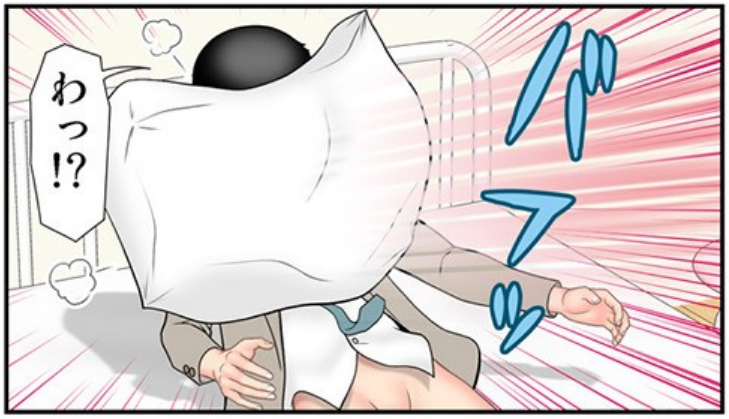

ヒメコ先輩こーゆーヤツですがどうします？
他をあたる時間ももう無いしね…
?

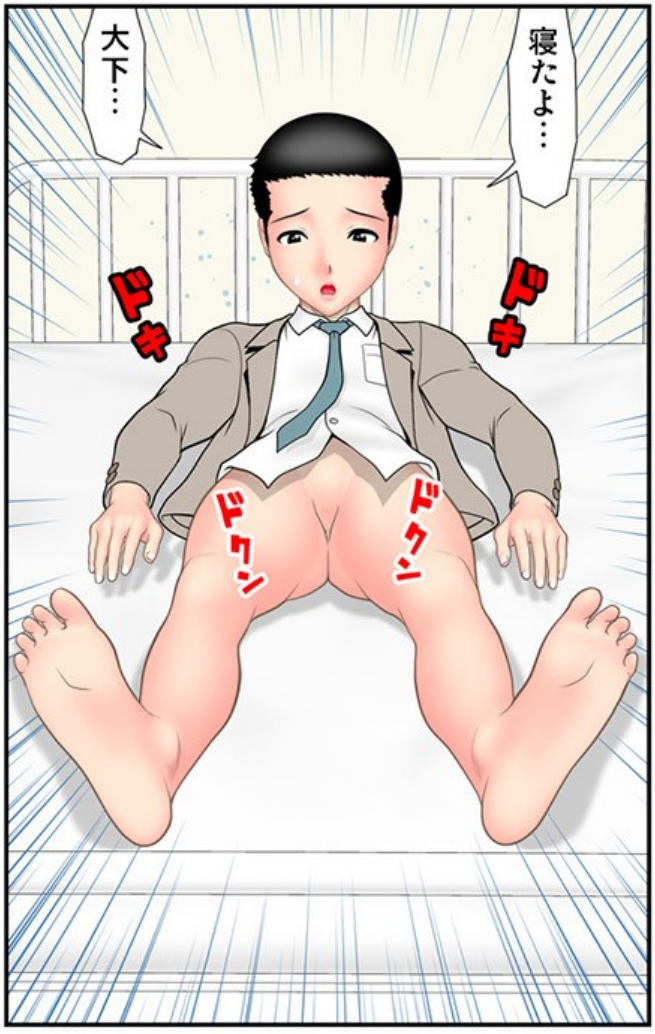

友達とどっちが先にロストバージンするか競争してるのよ
彼氏持ちの私がかなり有利だったんだけど…

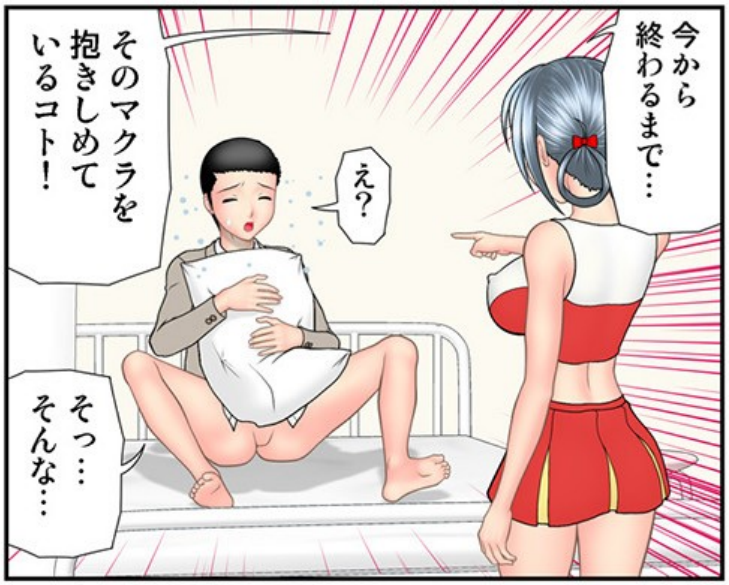

別れちゃったんですよね…
コク
コク


で…キミに私のバージン…
食べちゃってもらおうかと…

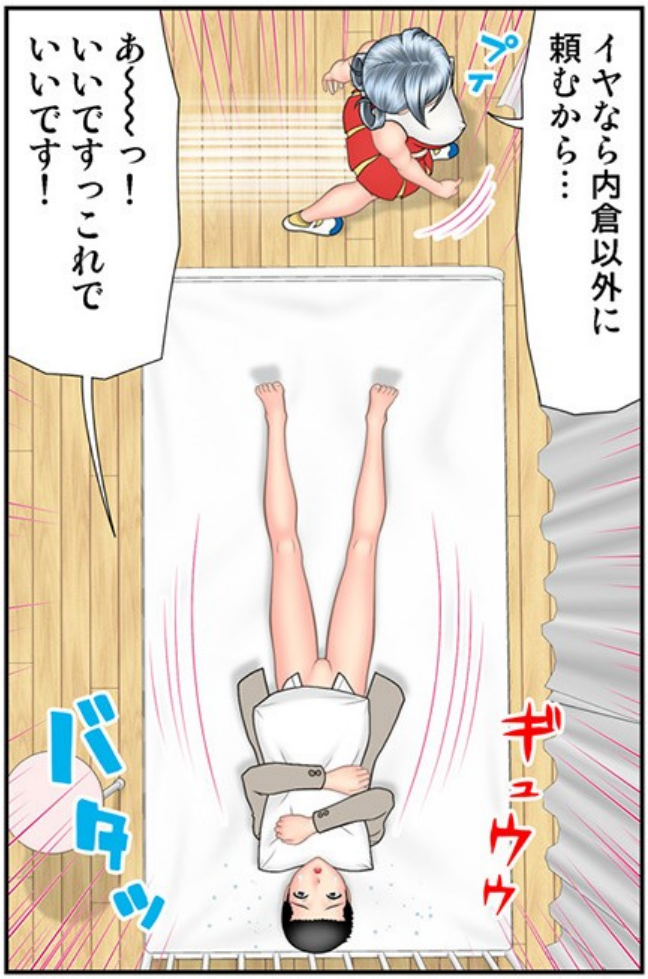

いっ…いただきますっ！
ビクン
モミ
モミ
モミ
モミ
キャ――！
ガ
バ
パーン
ハ
ダメですよヒメコ先輩
ハー
ハー
ドキ
ドキ
下半身でしかモノ考えない男にいきなりそんなセリフ
ズボン脱いでベッドにあお向けで寝る！
ギロ
内倉！
はっ…ハイッ！


わっ!?
バフッ

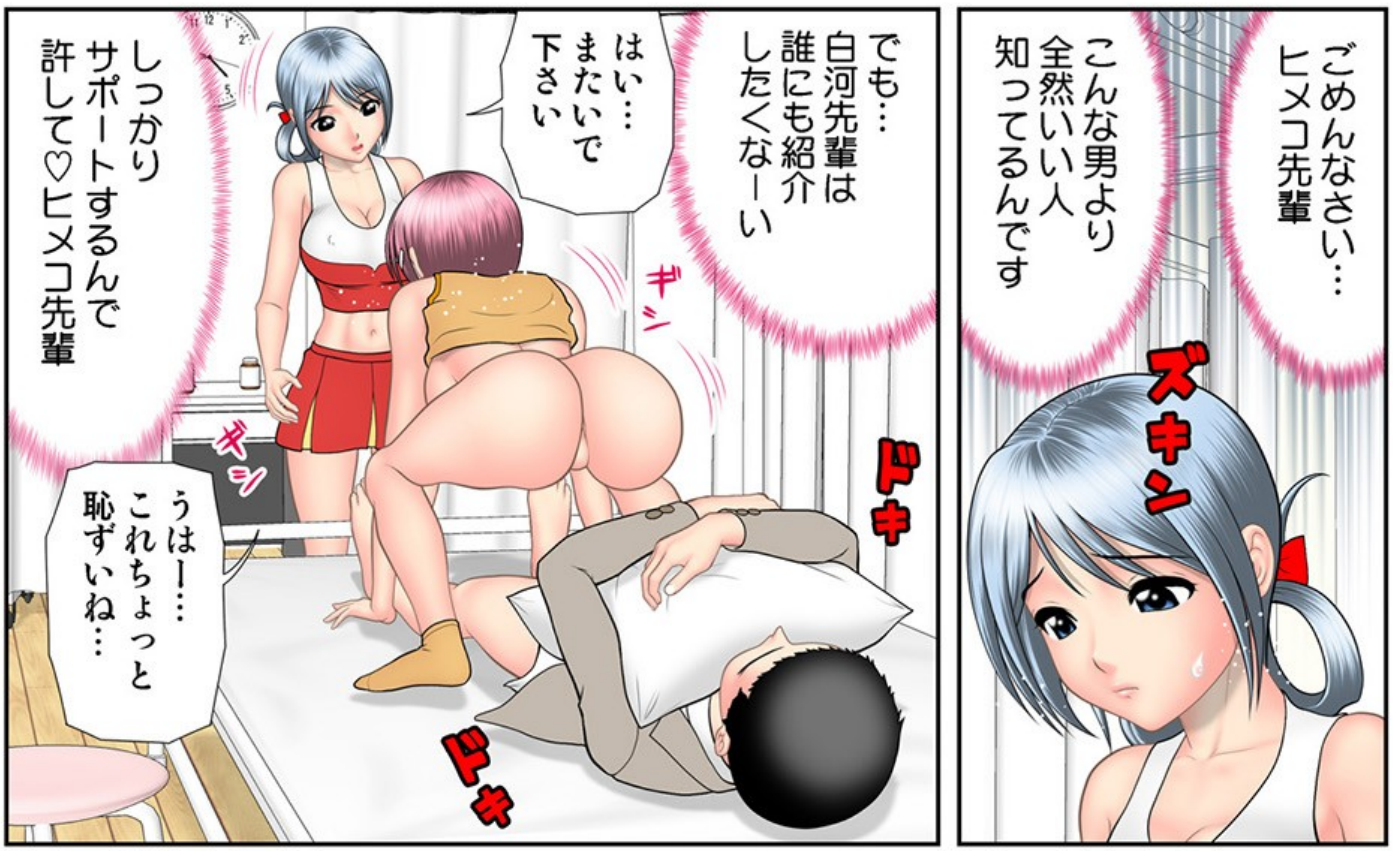

寝たよ…
大下…
ドキ
ドキ
ドクン
ドクン

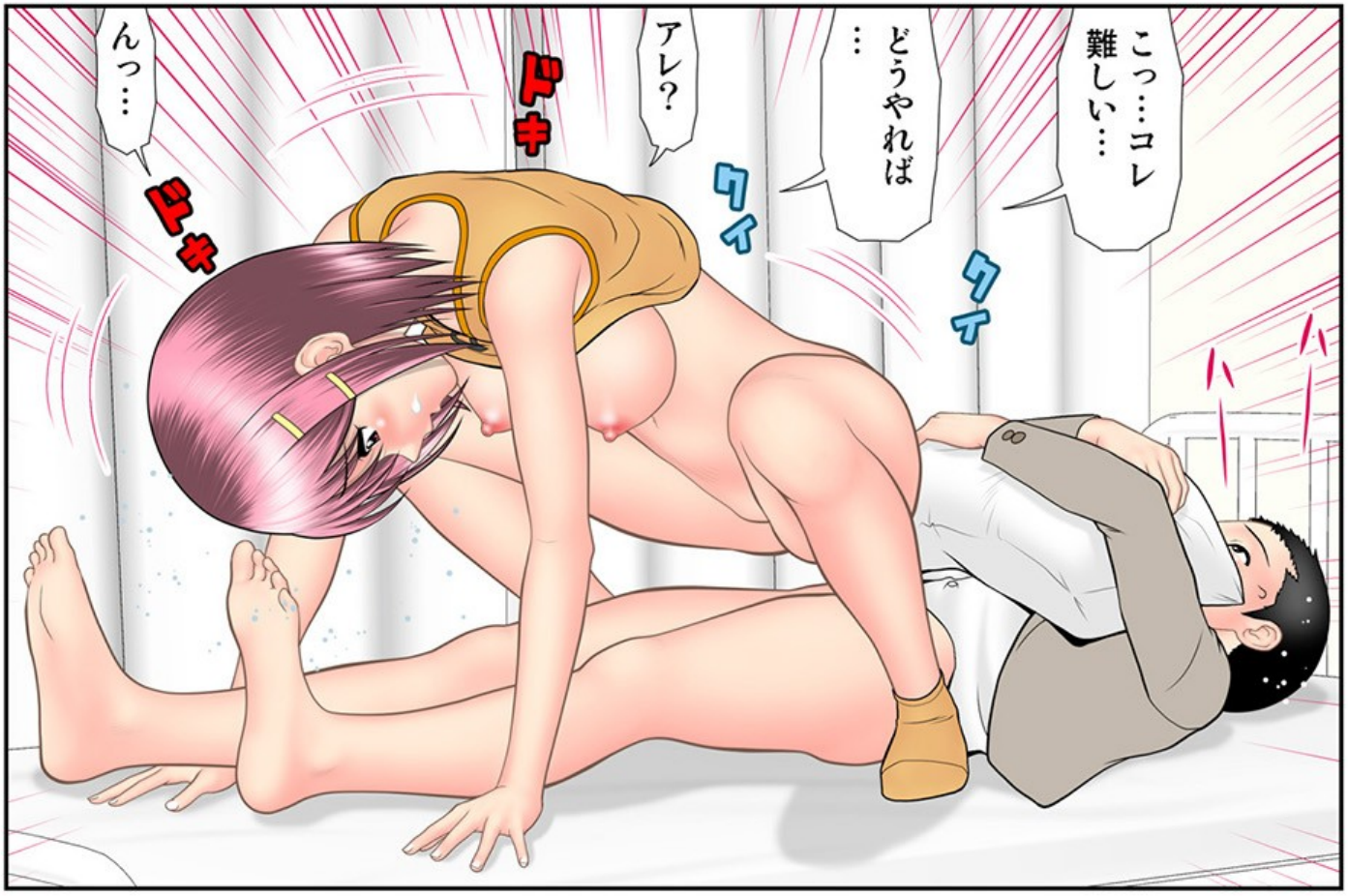

今から終わるまで…
そのマクラを抱きしめているコト!
え?
そっ…そんな…


オマエ興奮すると抑え利かないでしょ!
それを抑えるマクラよ
キッ


イヤなら内倉以外に頼むから…
プイ
あ〜〜っ!いいですっこれでいいです!
ギュウウ
バタッ


じゃ…
私もベッドに…
上がるよー…
はっ…
はい！
ドキ
ドキ
ギシ

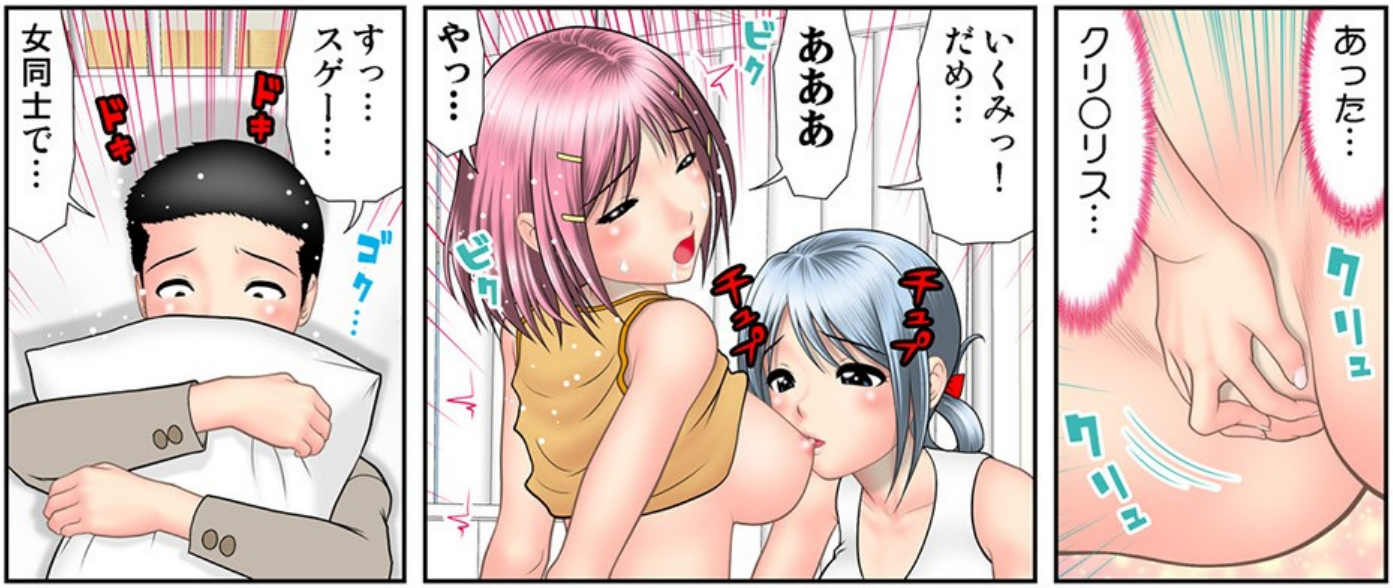

ごめんなさい…
ヒメコ先輩
こんな男より
全然いい人
知ってるんです
ズキン
でも…
白河先輩は
誰にも紹介
したくなーい
はい…
またいで
下さい
ギシ
ドキ
ギシ
うはー…
これちょっと
恥ずいね…
しっかり
サポートするんで
許して♡ヒメコ先輩
ドキ


こっ…コレ難しい…
どうやれば…
アレ？
んっ…
ドキ
ドキ
クィ
クィ
ハー

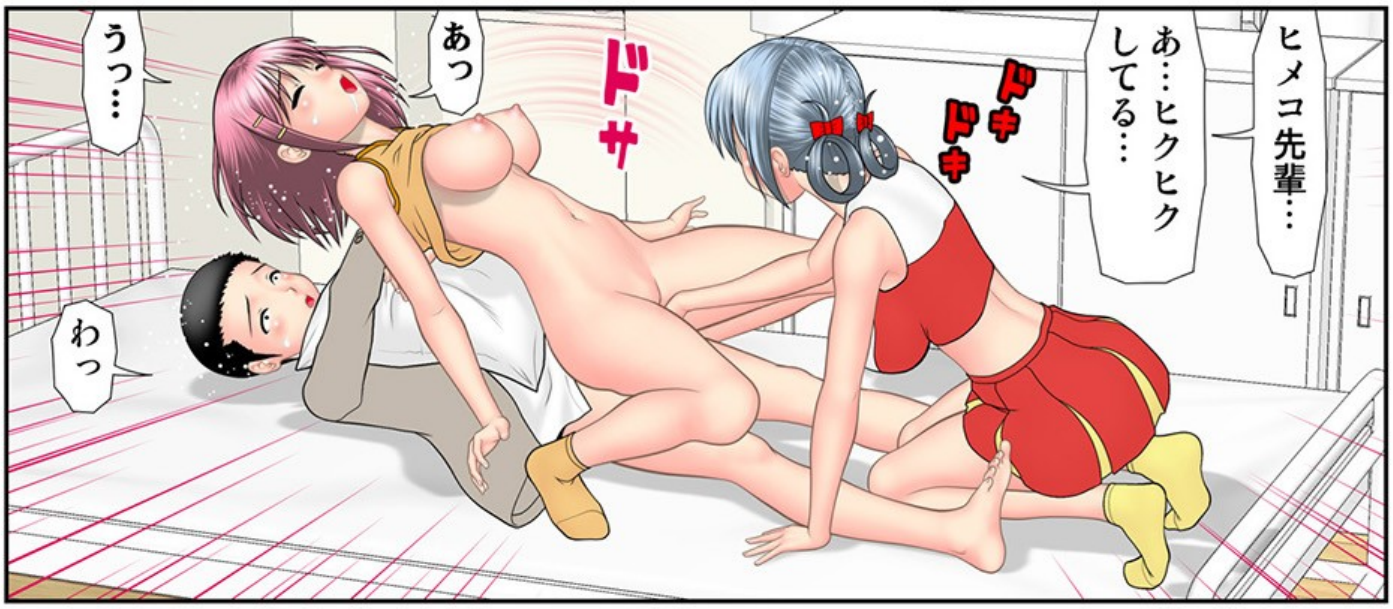

私が何とかしなきゃ…
ドキ
ドキ
クィ
クィ


白河先輩の時は胸…吸われて…アソコを指で…
よっ…よーし…
46話-1参照


あっ！
ビク
ビク
ビク
ああああ
チュウ
チュウ
ガバ
クリュ
いっ…
いくみ
何を…
ハァ
ハァ
チュウ
チュウ


あった…
クリ○リス…
クリュ
クリュ
いくみっ！
だめ…
ああああ
ビク
ビク
やっ…
チュプ
チュプ
すっ…
スゲー…
ドキ
ドキ
女同士で…
ゴク…

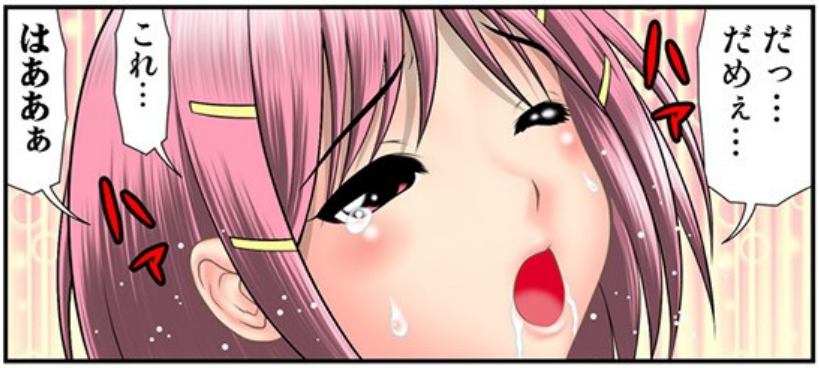

うあっ
あっ
ああぁ～～～
ビクン
ハァ
ハァ
ビク
ビク
ビク
プチュ
プチュ

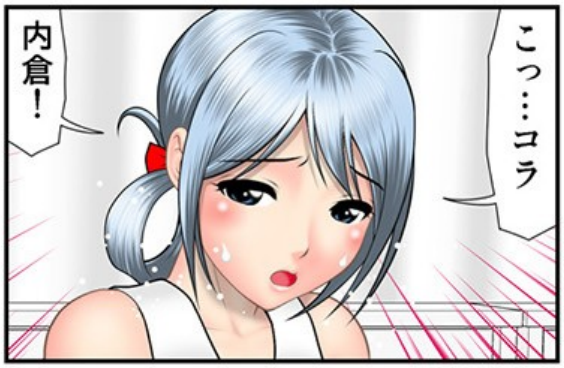

ヒメコ先輩…
あ…ヒクヒクしてる…
ドキドキ
ドサ
あっ
うっ…
わっ


先輩…
ちょっと腰
上げて下さい
ん？…
あ…
ポー
うん…
!!
ビクッ
はうぅ
にっ…握ってる…
大下がボクの…
んっ…
ビク
ああ…
ふあっ
先輩…
そのまま
ゆっくり…
腰を…
下ろして…
クニュ
クニュ
ビク
ビク


入りました…先輩
んあっ
あっ
ハァ
ハァ
ゴク…
ビク
ビク
ドキ
ドキ
入った…？
あっ…
バージンじゃなくなった？…
はい…
ピク
ピク
ズン
ん？
！
！
ハァ
ハァ
ひゃっ…
ビク！


うあぁ～～～
ひあっ
ああああっ
んっ
んっ
すみません…
腰が止まりませんっ！
ハァ
ハァ
ハァ
パン
パン
パン
ブチュ
ブチュ


だっ…
だめぇ…
これ…
はあああ
ハァ
ハァ

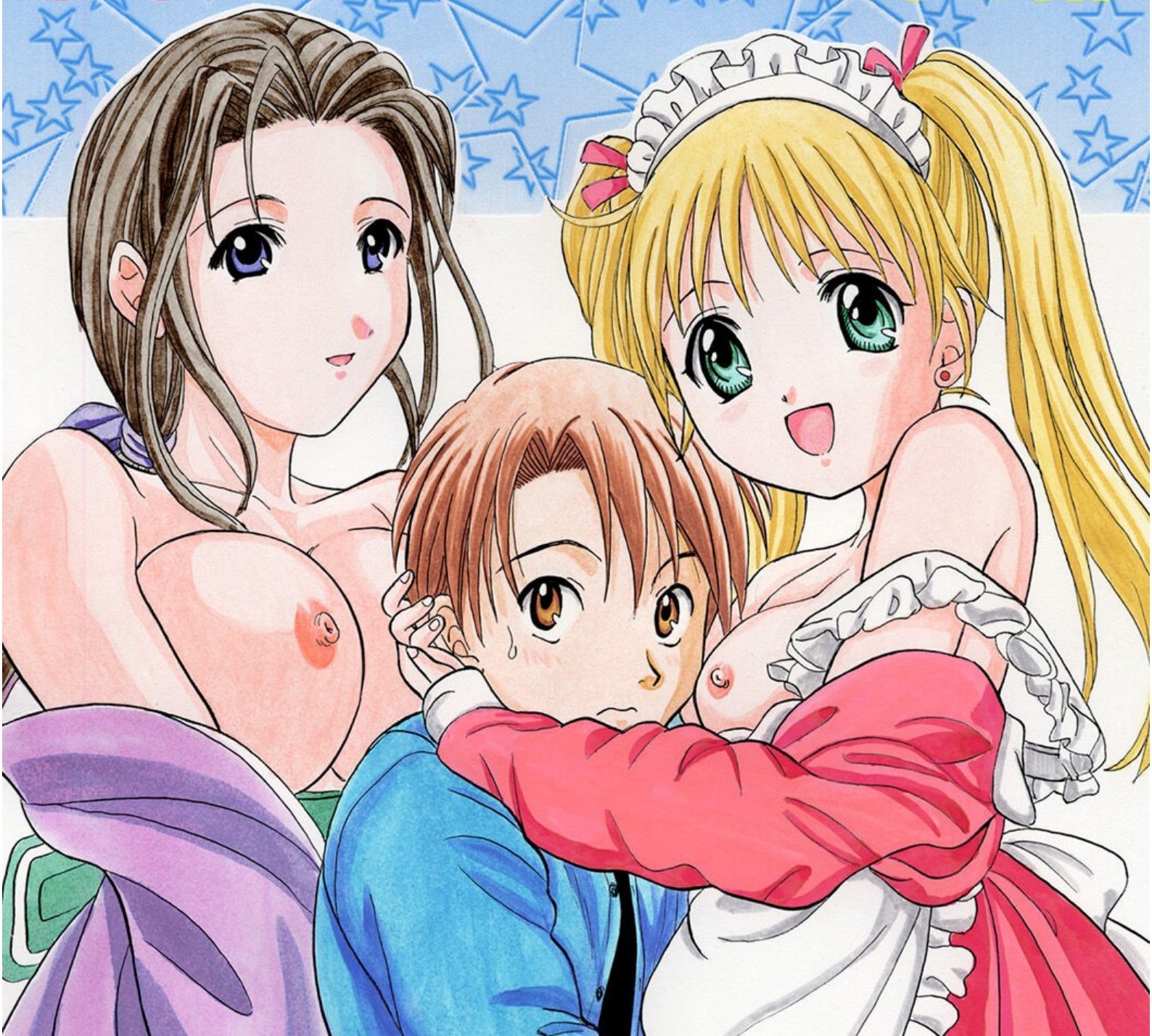

こっ…コラ
内倉！


すっ…すぐ
イキますから…
ああっ
だめぇ…
んあっ
あああっ
パン
パン
パン
パン
出るっ…
ドクン
ビュク
ビュク
ピーン
あっ…
いあああ～
あっ…
ピク
ああ…
まっ…まぁ…
ドキ
ドキ
先輩が
満足してるなら
いっか…
私のサポートが
先にあったから…
ウン
ウン
内倉が暴走しても
大丈夫だったって
コトね…
大下にチャンスを与えられ
ボウちゃんの暴走は
ますます加速していく――

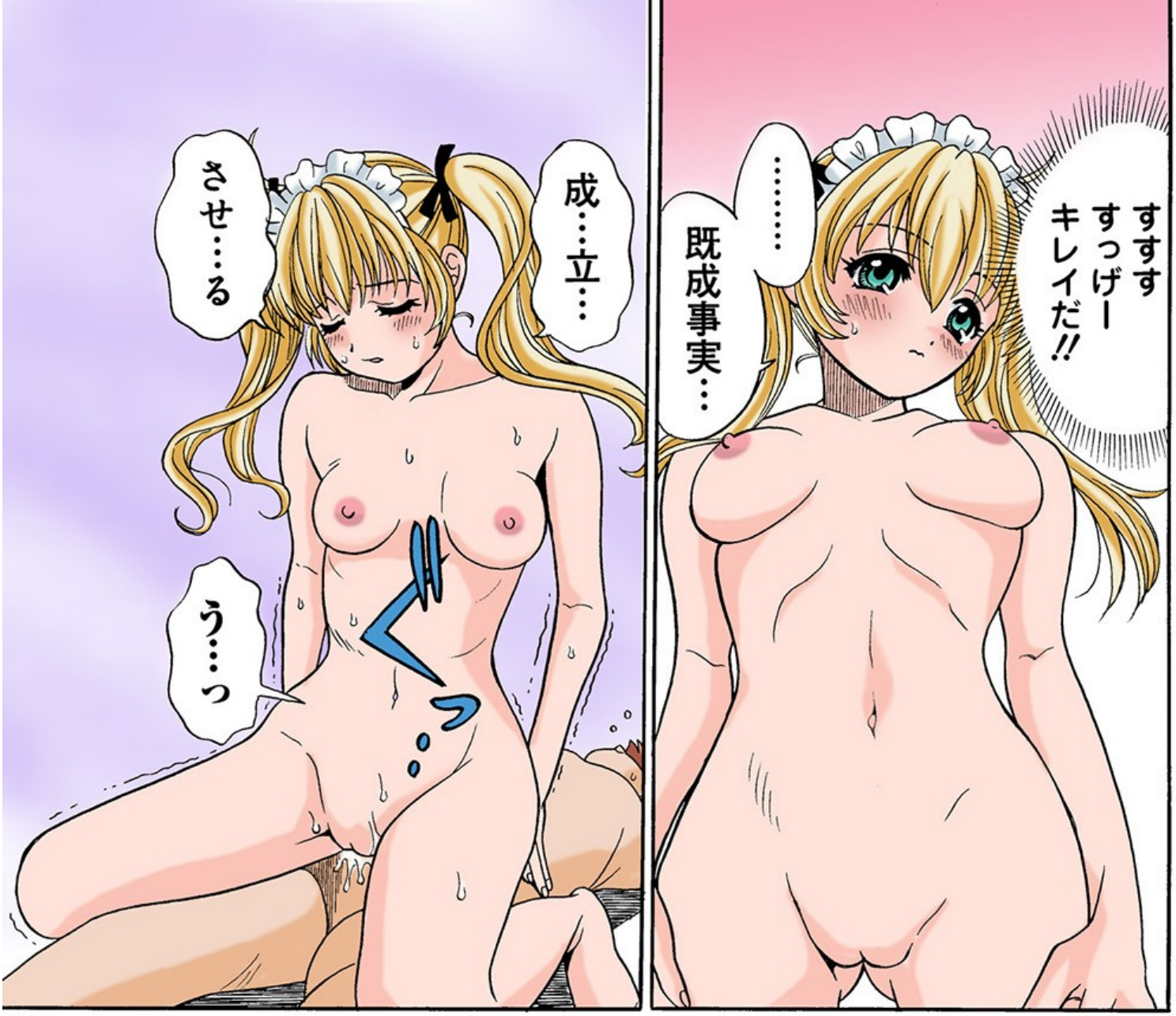
お嬢様のHなご奉仕

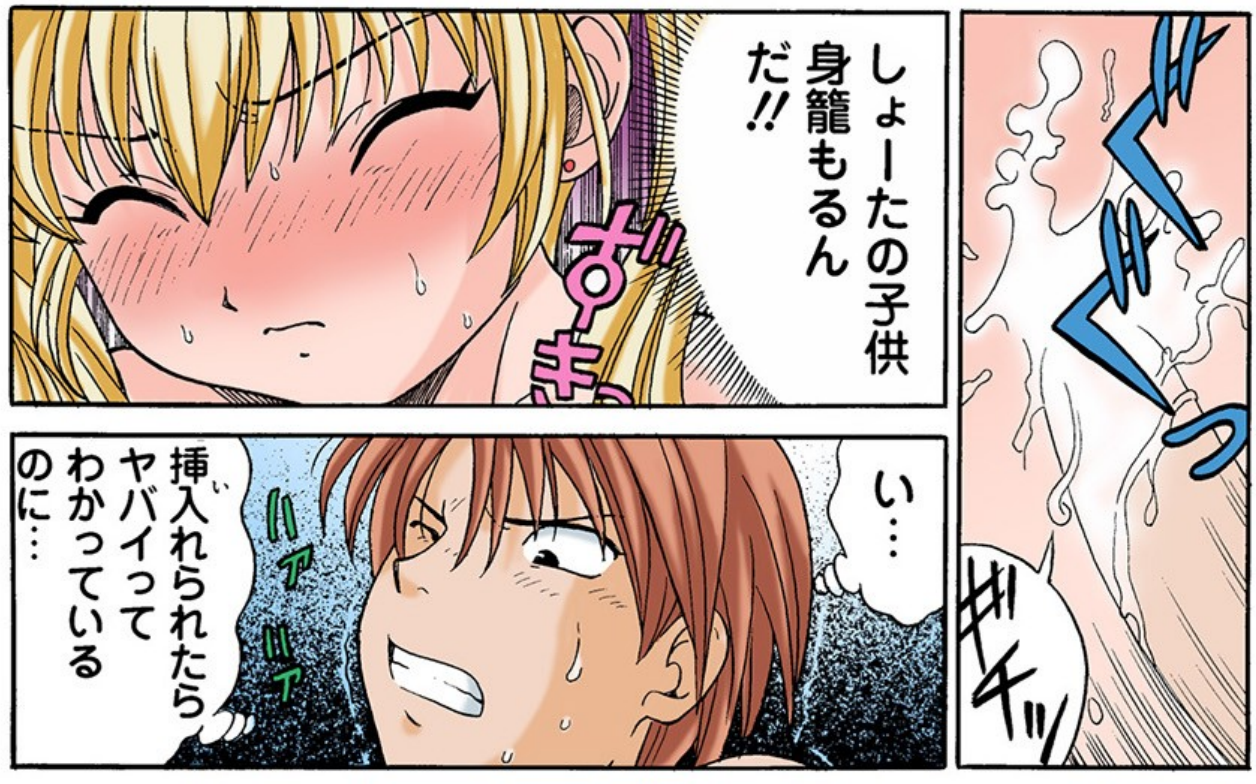
桂木たくみ

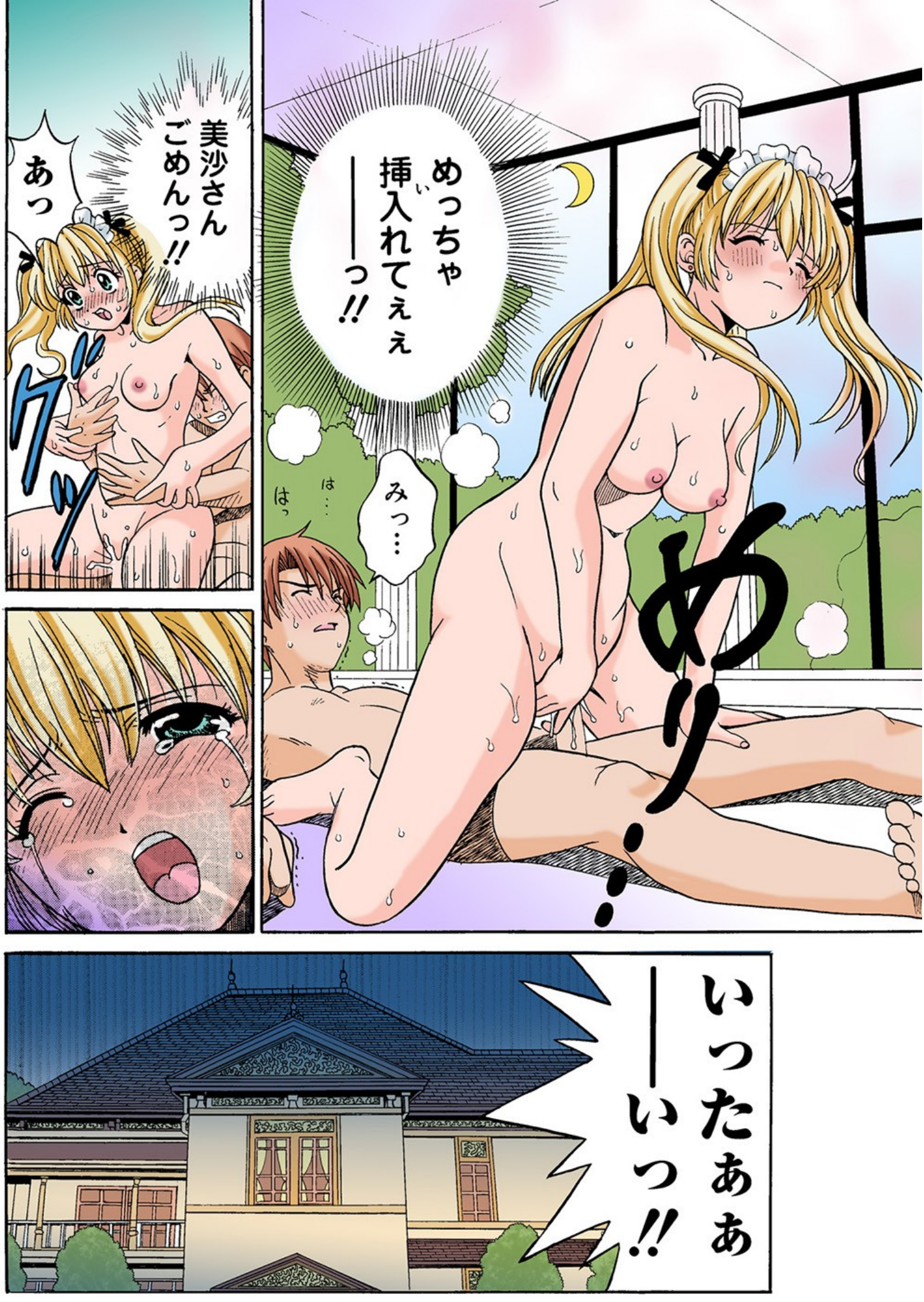
第七話



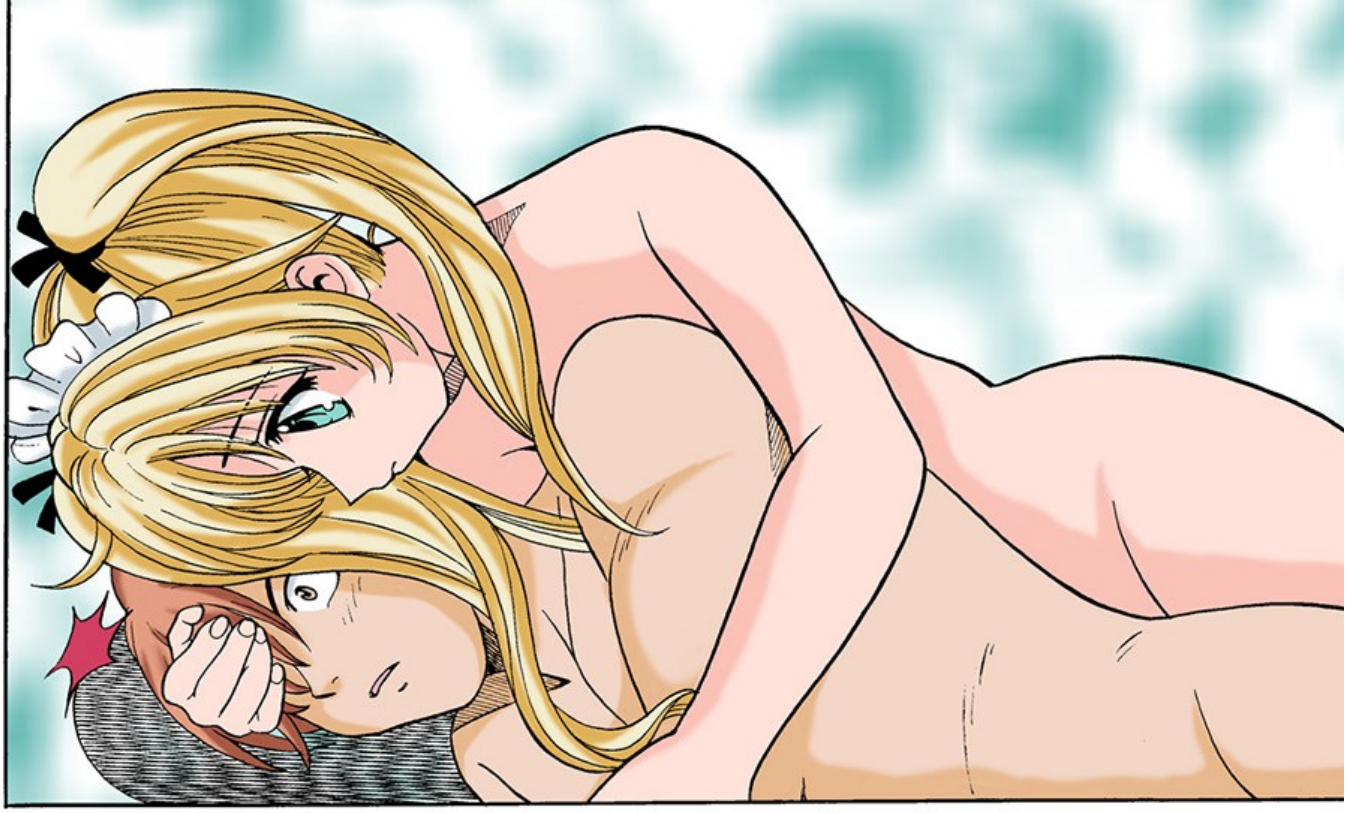

勃ったな…
あ…
ビンビン
ドッ
ドッ
ドッ
モ…
モロに!!
女のコの…
ドッ
ドッ
ドッ
こんなに
間近で!!


すすす
すっげー
キレイだ!!
……
既成事実…
成…立…
させ…る
う…っ

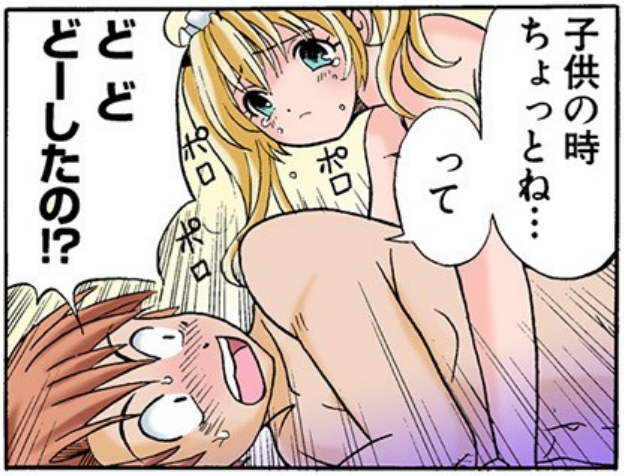

しょーたの子供
身籠もるん
だ!!
おキ
い…
挿入れられたら
ヤバイって
わかっている
のに…
ハァ
ハァ


めっちゃ挿入れてぇぇ——っ!!
みっ…
は…
はっ
めりっ!!
美沙さんごめんっ!!
あっ
グッ
いったぁぁ——いっ!!


にげろっ
やっぱヤダーッ!!
そんな!いまさら!!
ヤダヤダヤダーッ
ゴキッ!!!
てっ!!
手でしてやるからかんべん…
うっ…
きゅっ



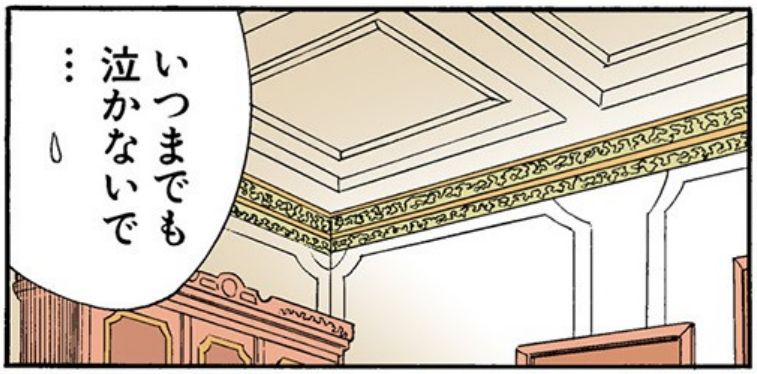

しょーた
この傷…
ああ


子供の時
ちょっとね…
って
ポロ
ポロ
ポロ
どど
どーしたの!?


それ…
緑子のせいで
できた傷だ


許…せ

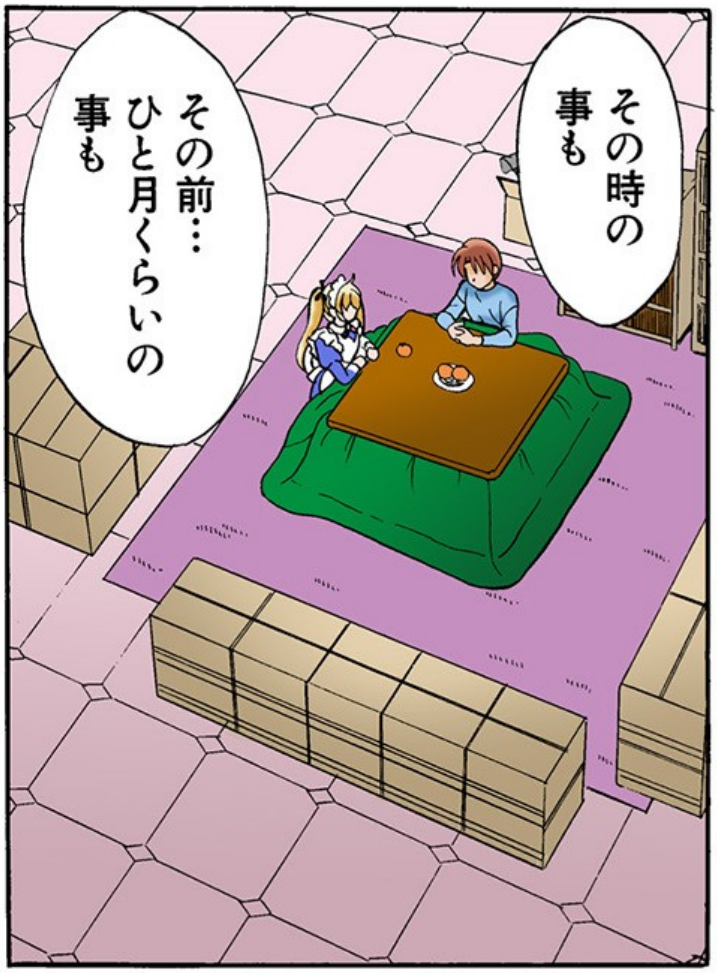



いつまでも泣かないで……


そんな目立つ傷でもないんだし
ううっ…
みかんを食べる？
しくしくしくしく
予想外の涙で性欲そがれた――


なんか昔川で遊んでてケガしたらしいんだけど

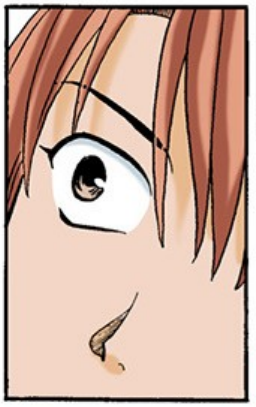

覚えてないんだよね


その時の事も
その前…ひと月くらいの事も

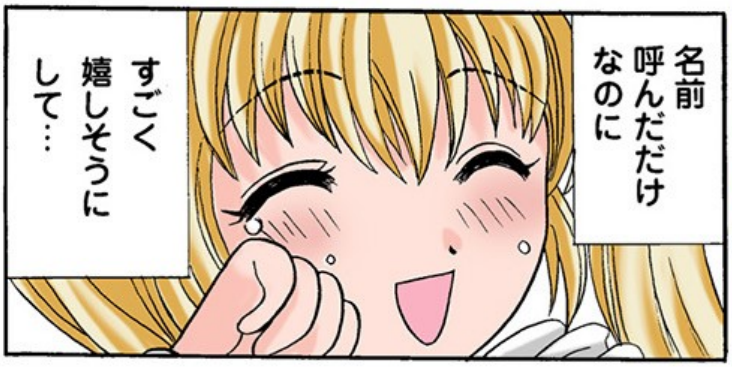

だから話してくれないかな？
俺とその…緑子ちゃんの事…
しょーた!!


本当かしょーた!!
だから緑子のこと覚えてないのかっ!?
う…
うん
かな～？

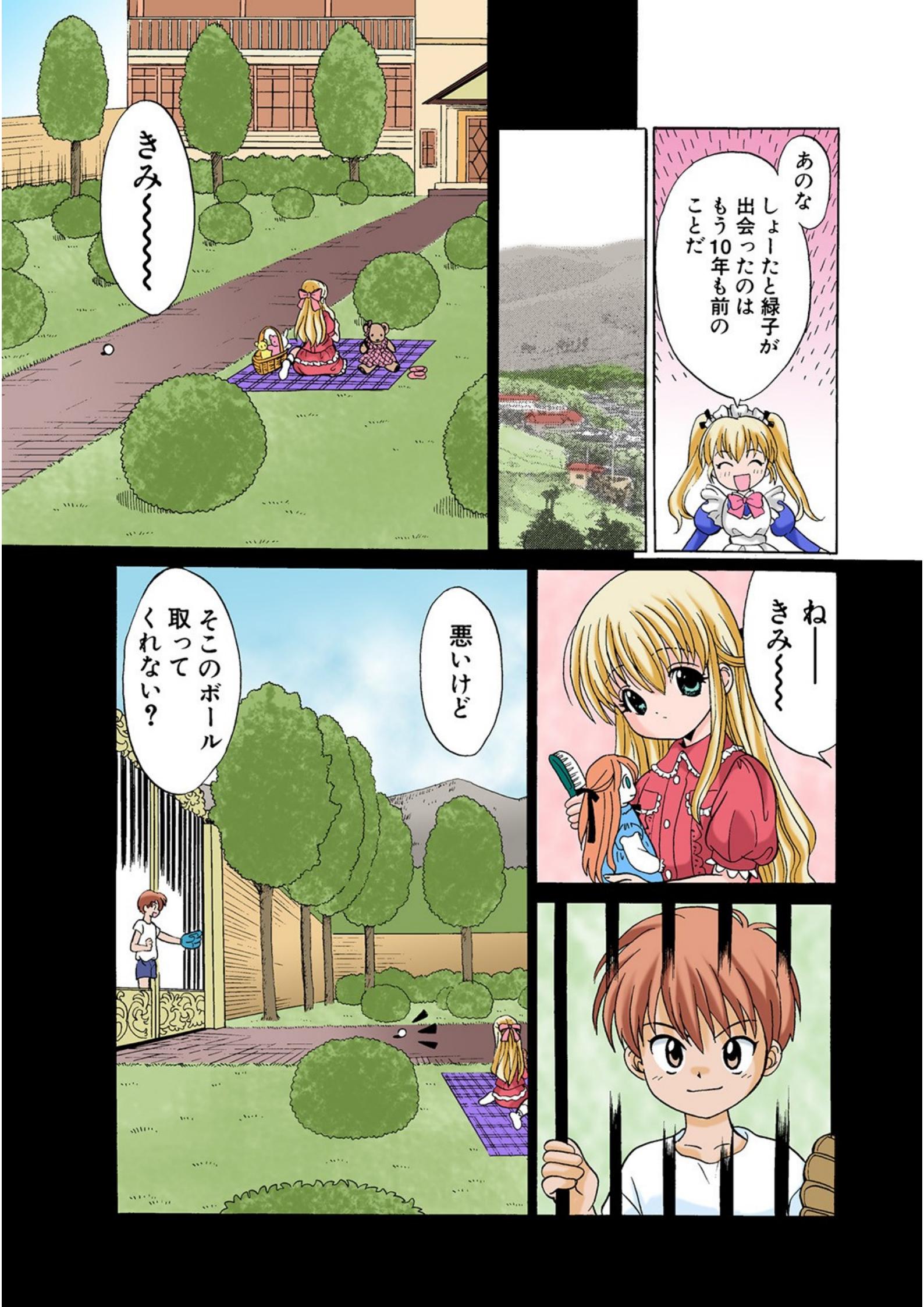

やっと緑子の名前呼んでくれたな!?
〝緑子ちゃん〟って！




え？俺そう呼んでたの？君のこと
そうだ！


名前呼んだだけなのにすごく嬉しそうにして…


俺とこの子ってそんなに仲良かったのか？


あのな
しょーたと緑子が
出会ったのは
もう10年も前の
ことだ
きみ〜〜〜〜
ね——
きみ〜〜
悪いけど
そこのボール
取って
くれない？


サンキュー

きみ
外国の子？

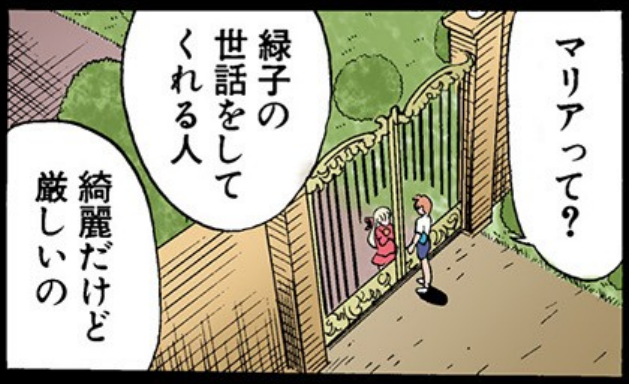



緑子は
人に見られちゃ
いけないの

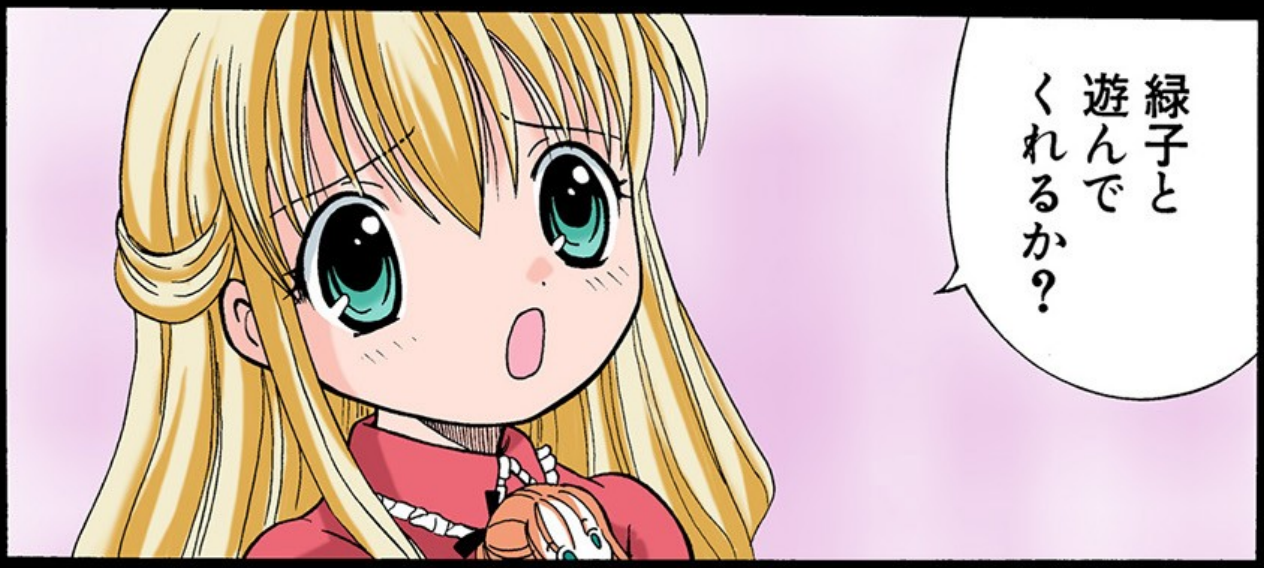

じゃあ
ここに住んでる
の？
コク
コク
ずっと？
コク
コク
その割には
ぜんぜん
見かけないね


どうして？
わかんない
お庭も出ちゃ
いけないの

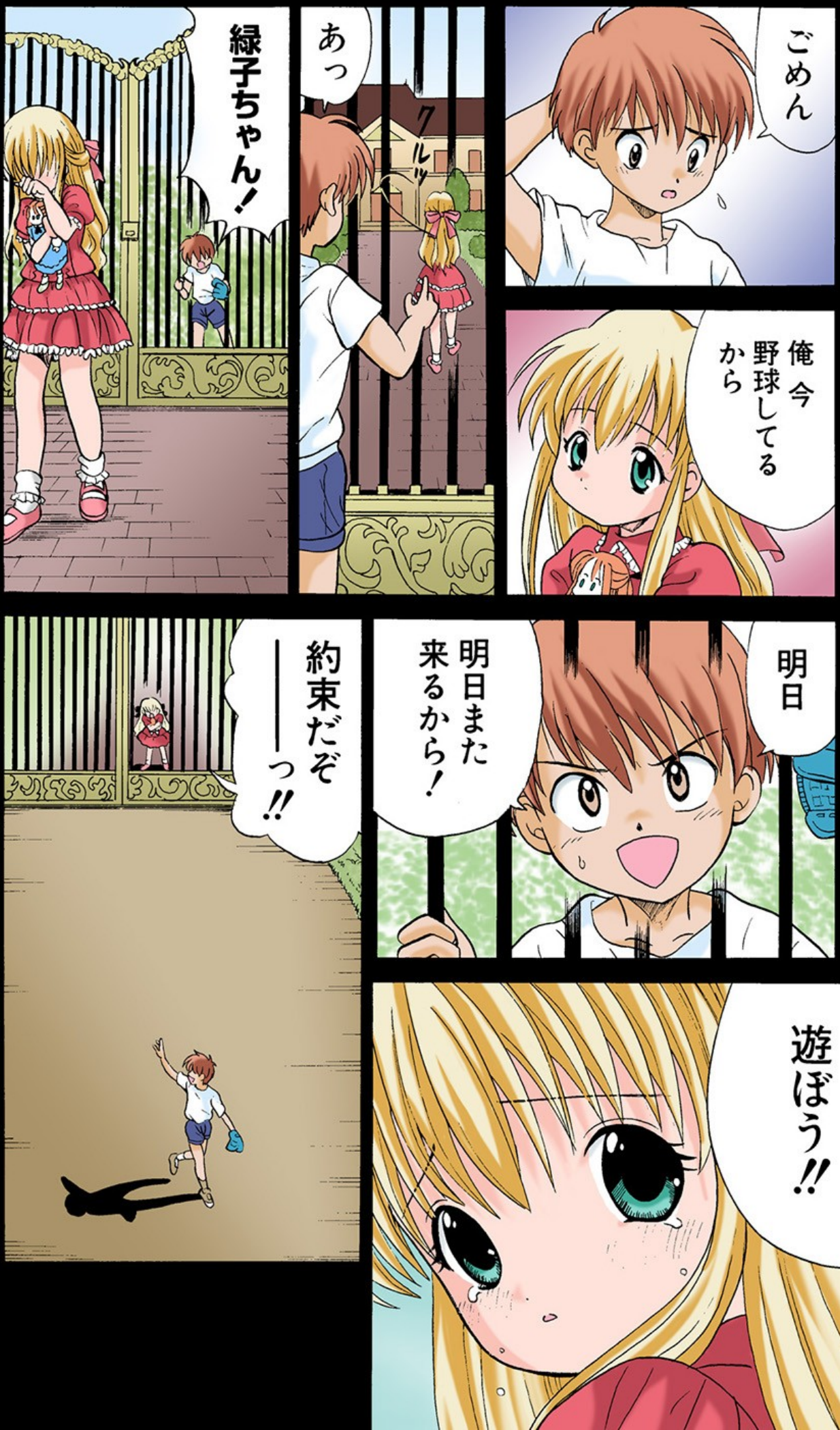

今は
マリアが
いないから
シャロンと
遊んでたの


マリアって？
緑子の
世話をして
くれる人
綺麗だけど
厳しいの


じゃ
お母さんは？
いない
お父さん
は？
いない


緑子と
遊んで
くれるか？


正太～～
ボール
あったか～？

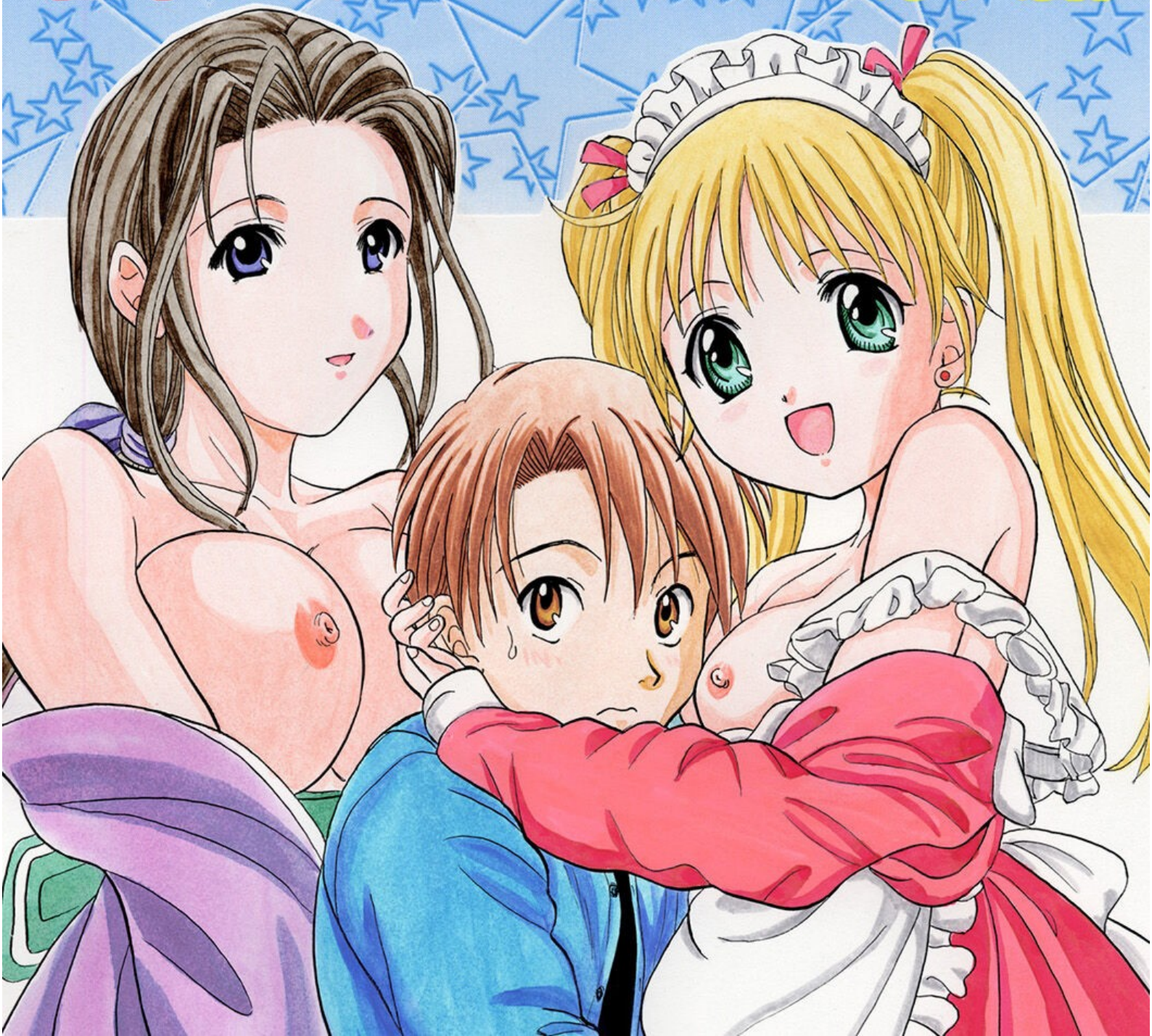

ごめん
俺 今
野球してる
から
あっ
クルッ
緑子ちゃん！
明日
来るから！
明日また
約束だぞ
——っ!!
そしたら
遊ぼう!!

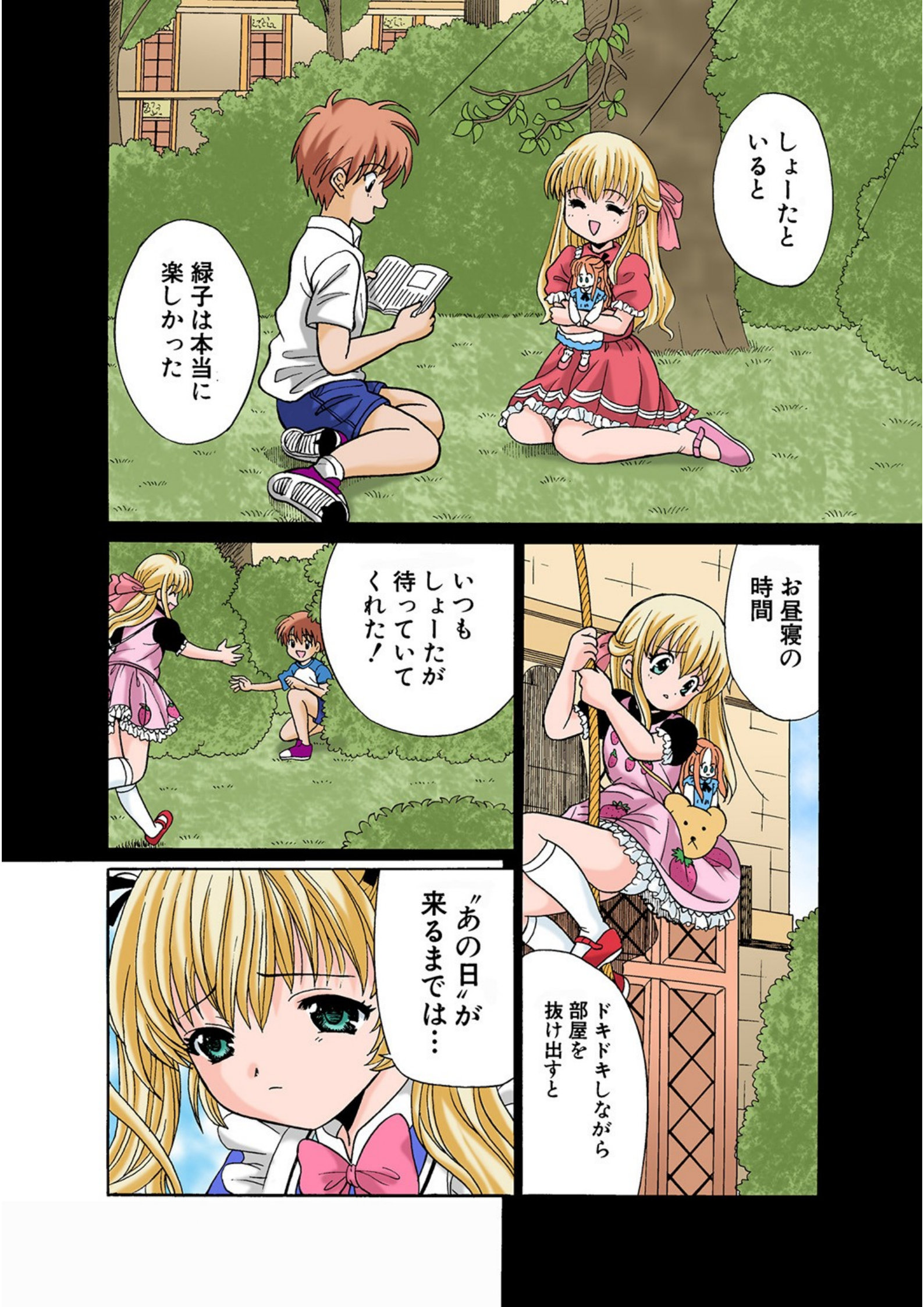

それから
しょーたは
ほとんど毎日
緑子に
会いにきて
くれたんだ
緑子は…
ちょっ…
ちょっと
待って
俺の実家の近くに
そんな屋敷なんて
あったっけ？
あった!!
それも
忘れたのか
しょーた。
ずっと…
住んでたんだぞ
緑子は
〝あの日〟以来
しょーたが
会いに来てくれなく
なってからも
ずっとずっとだ…!!
あの日…？

お嬢様のHなご奉仕

桂木たくみ

第八話




しょーたといると
緑子は本当に楽しかった
お昼寝の時間
ドキドキしながら部屋を抜け出すと
いつもしょーたが待っていてくれた！
〝あの日〟が来るまでは…


あの日…
たぶん俺がケガをして
この子に関する記憶を無くした日だ
一体何が!?
ぐぐっ
…きょっ
今日は遅いから続きはまた今度な！
どうしてっ!?
前からずっとそこの記憶だけ深い霧で覆われているような不快感があるんだ！
思い出せるもんなら思い出したいんだよ俺!!

あの日

……わかった

しょーた…

……

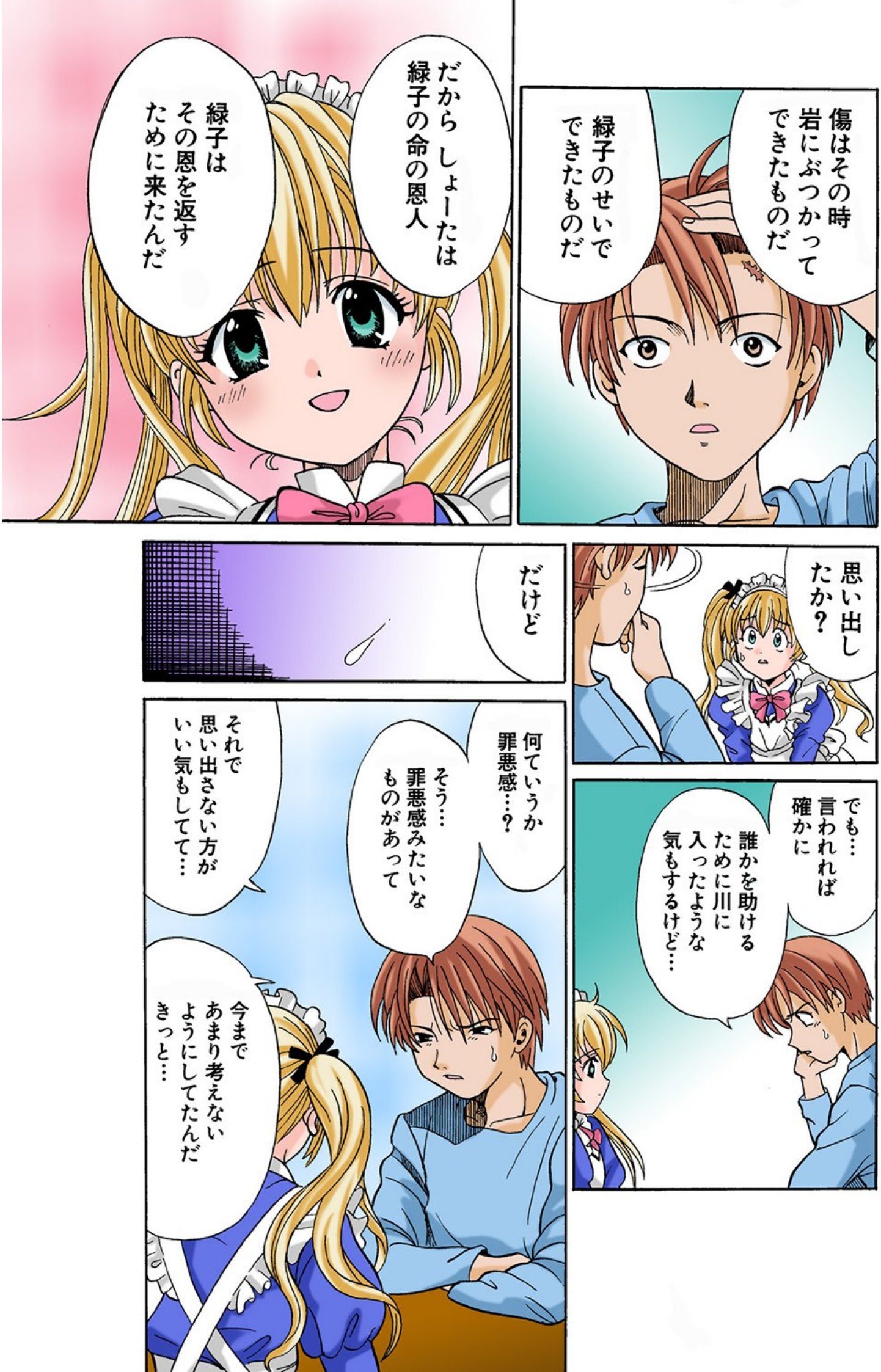
友達と川に遊びに行くしょーたに

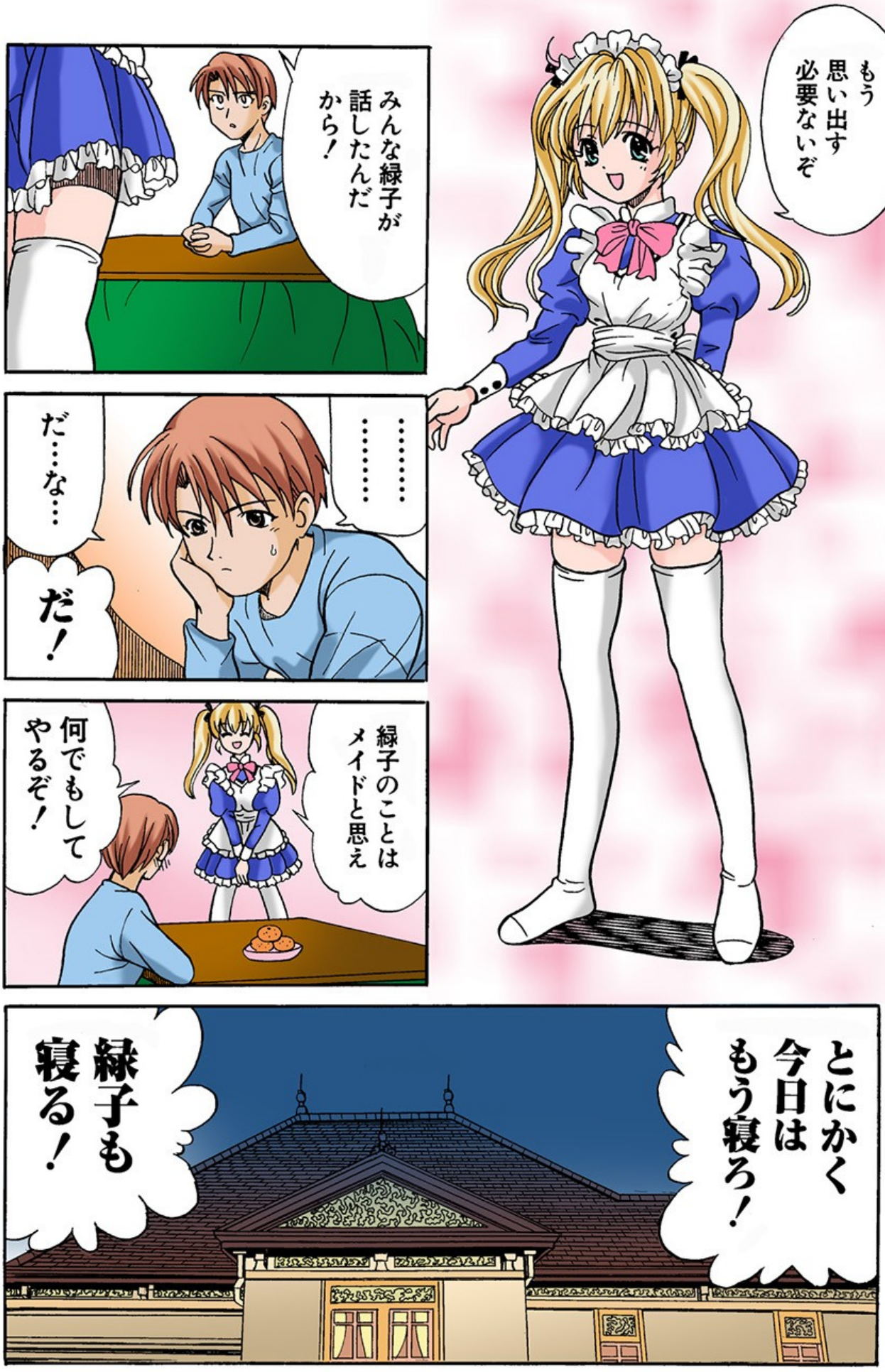
緑子は強引についていったんだ

〝危ないから〟って止めるしょーたに泣いて駄々こねて無理矢理にな！

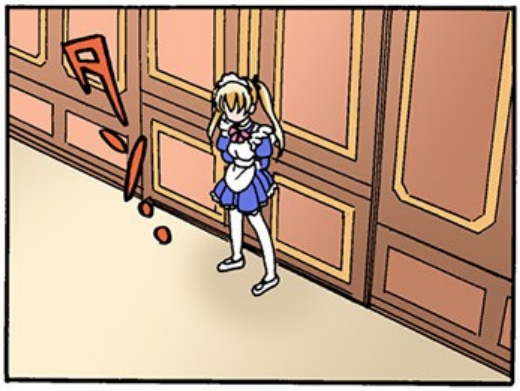
案の定おぼれて流された緑子を

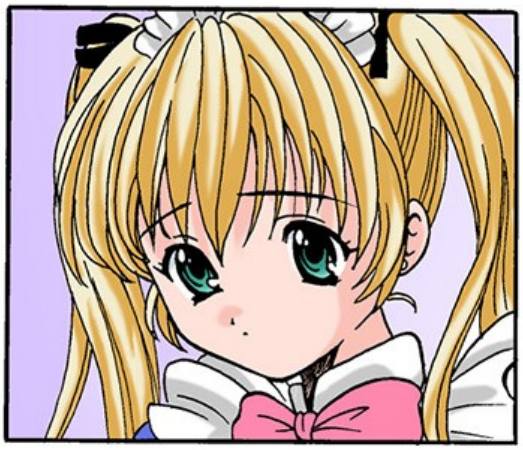
しょーたは助けてくれたんだ

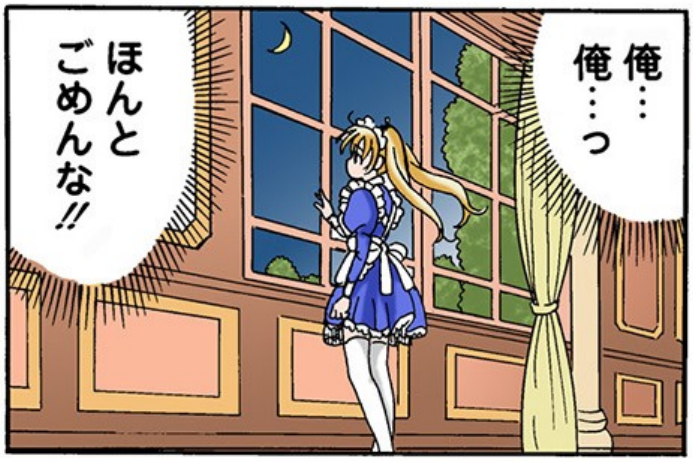

傷はその時
岩にぶつかって
できたものだ
緑子のせいで
できたものだ
だから しょーたは
緑子の命の恩人
緑子は
その恩を返す
ために来たんだ
思い出し
たか？
でも…
言われれば
確かに
誰かを助ける
ために川に
入ったような
気もするけど…
だけど
何ていうか
罪悪感…？
そう…
罪悪感みたいな
ものがあって
それで
思い出さない方が
いい気もしてて…
今まで
あまり考えない
ようにしてたんだ
きっと…


もう
思い出す
必要ないぞ
みんな緑子が
話したんだ
から！
……
……
だ…な…
だ！
緑子のことは
メイドと思え
何でもして
やるぞ！
とにかく
今日は
もう寝ろ！
緑子も
寝る！


ごめんな
緑子ちゃん
強引に
連れ出して
危険な目に
あわせて



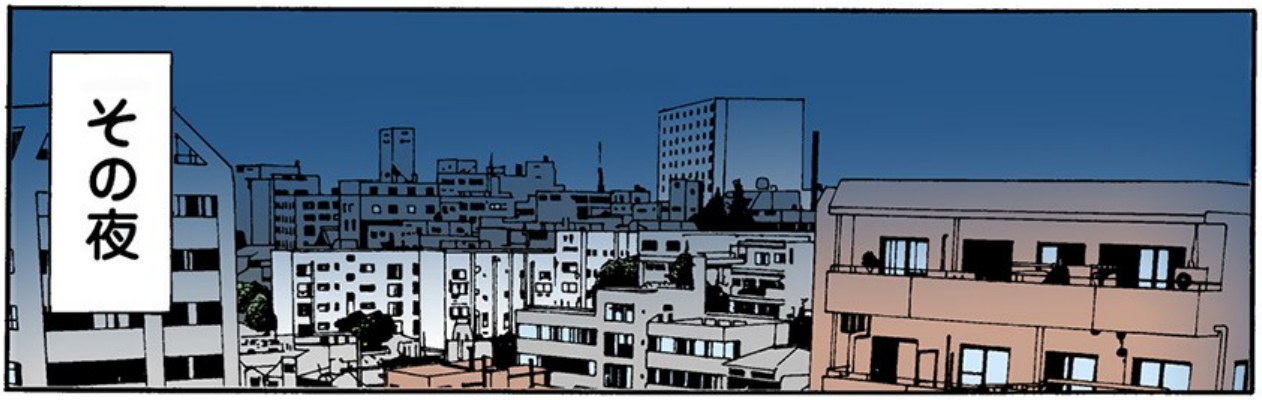


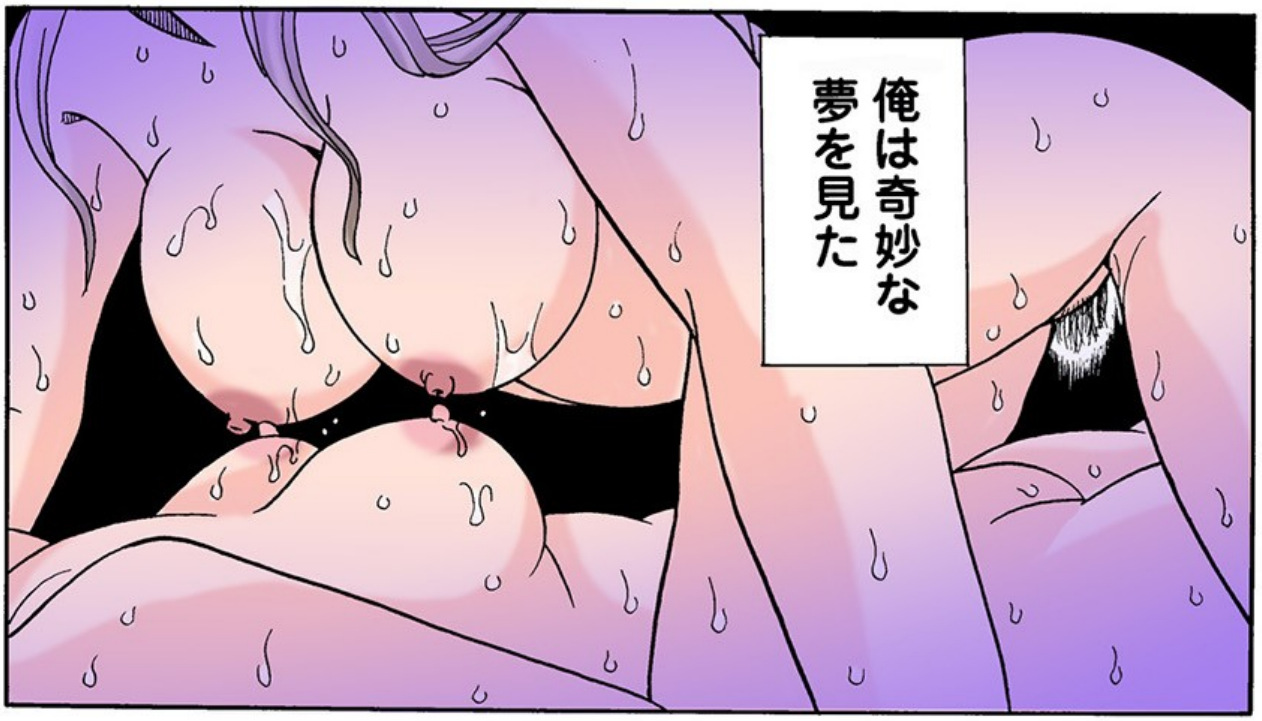

俺…
俺…っ
ほんと
ごめんな!!


ごめん…


…気にするな
しょーた

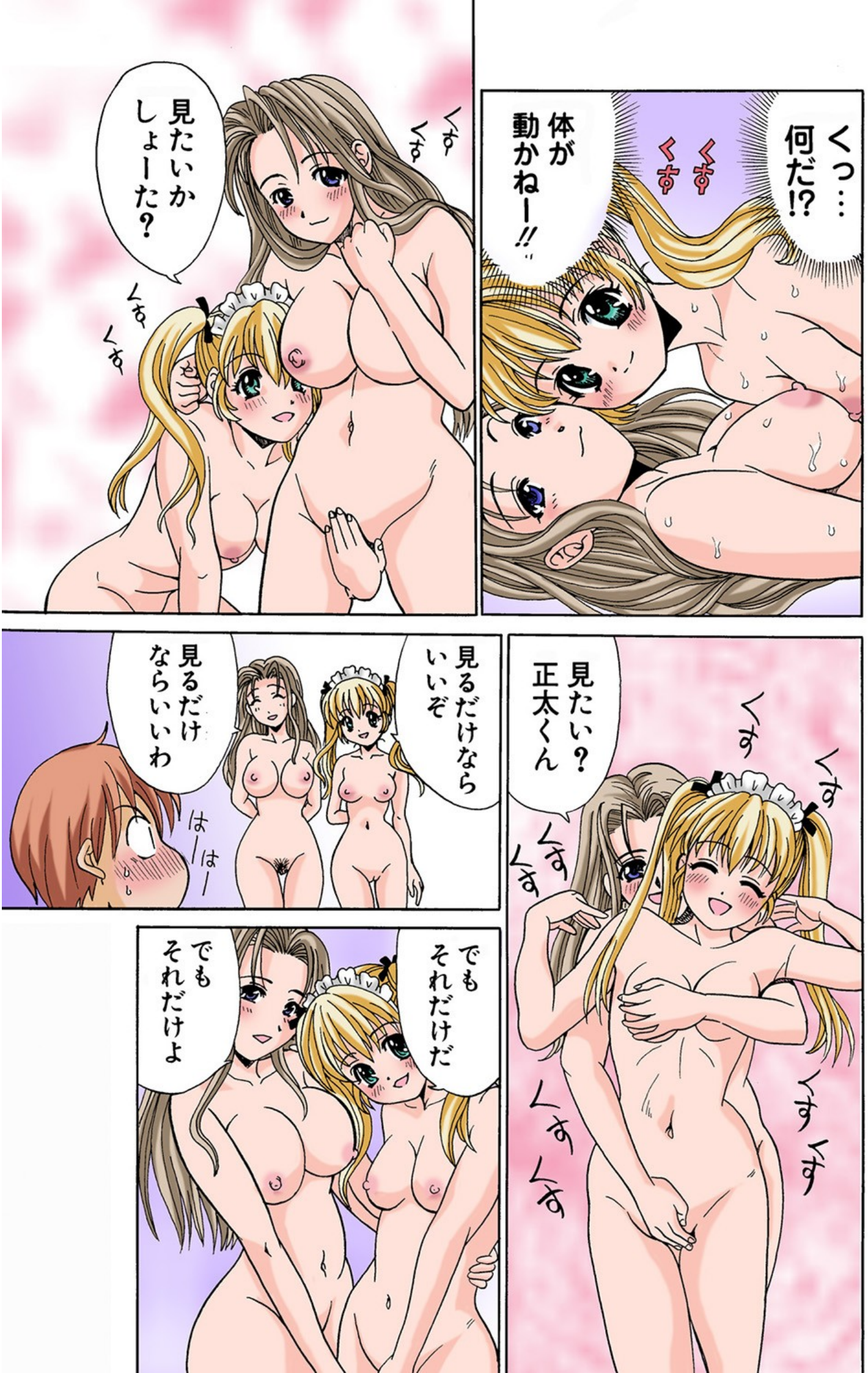

大切なのは
今――
楽しかった
あの時間を
繋ぎ合わせる
ことだ

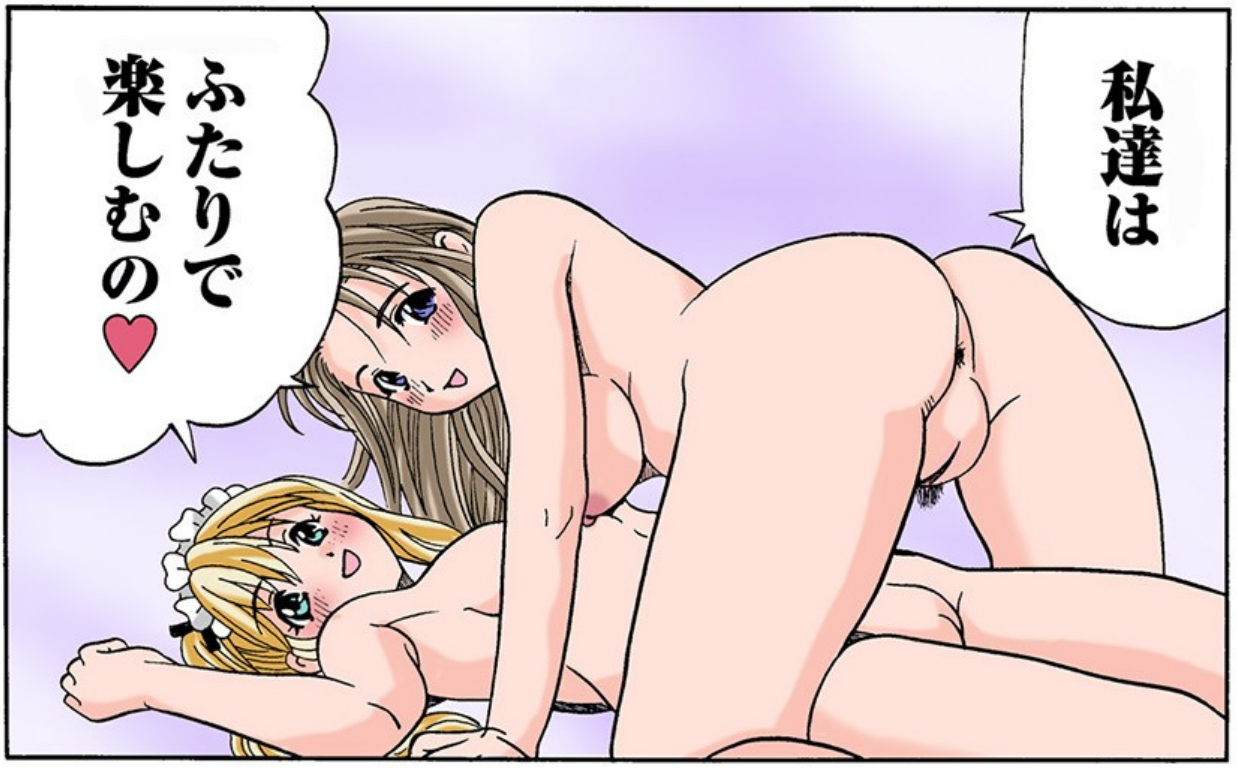

その夜

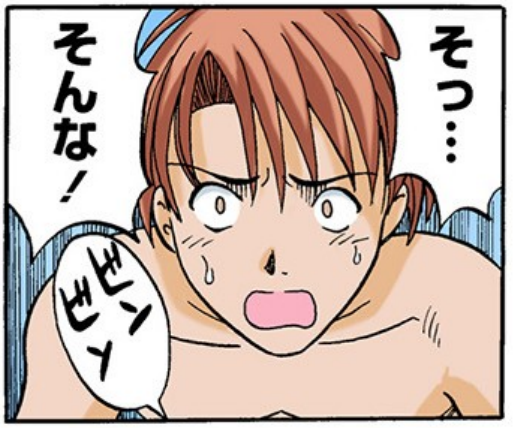

俺は奇妙な
夢を見た


みっ…
美沙さん!!


ななな
何で
その子と!?

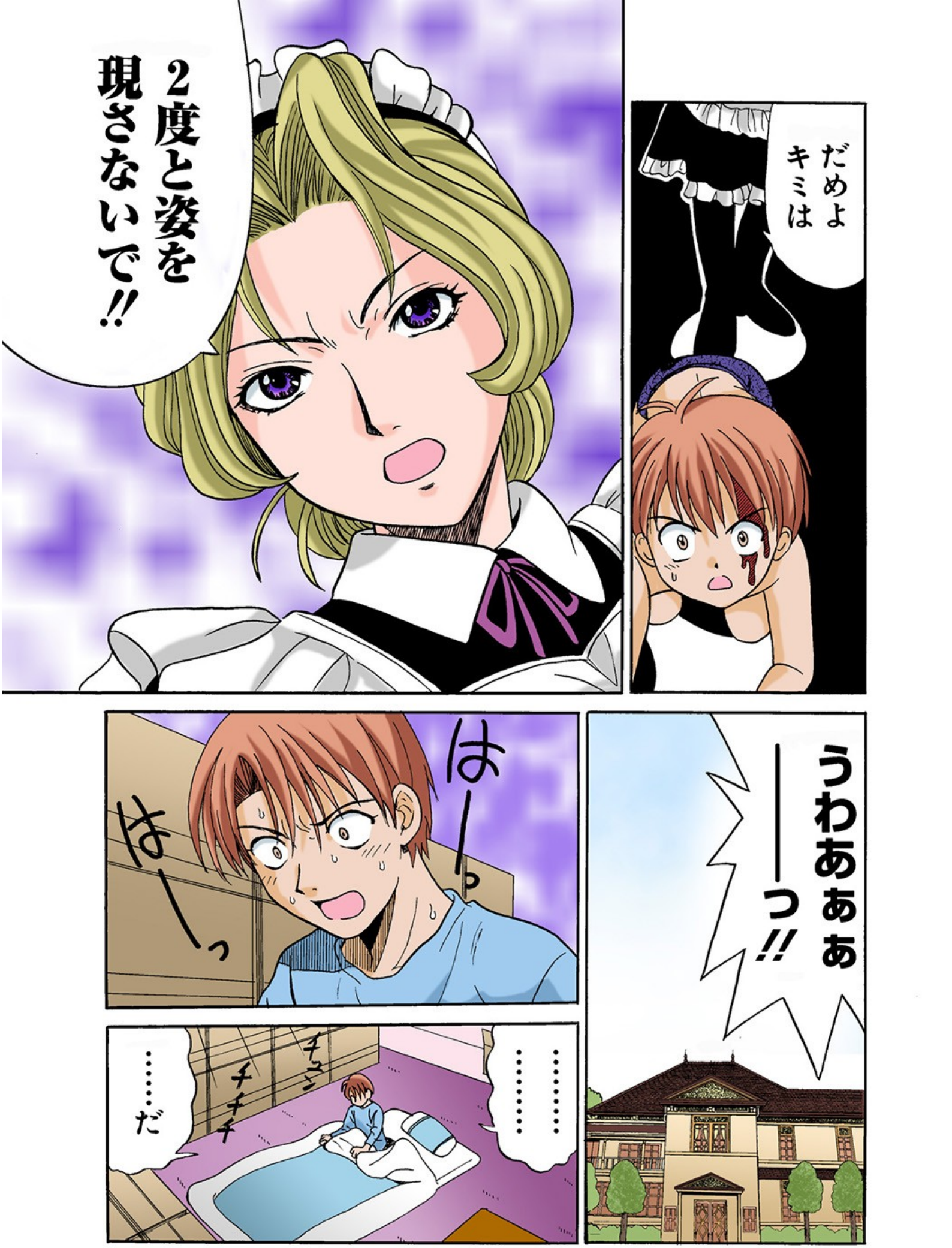

くっ…
何だ!?
体が
動かねー!!
くすくす
見たいか
しょーた?
くすくす
見たい?
正太くん
くすくす
見るだけなら
いいぞ
見るだけ
ならいいわ
はーはー
でも
それだけだ
でも
それだけよ

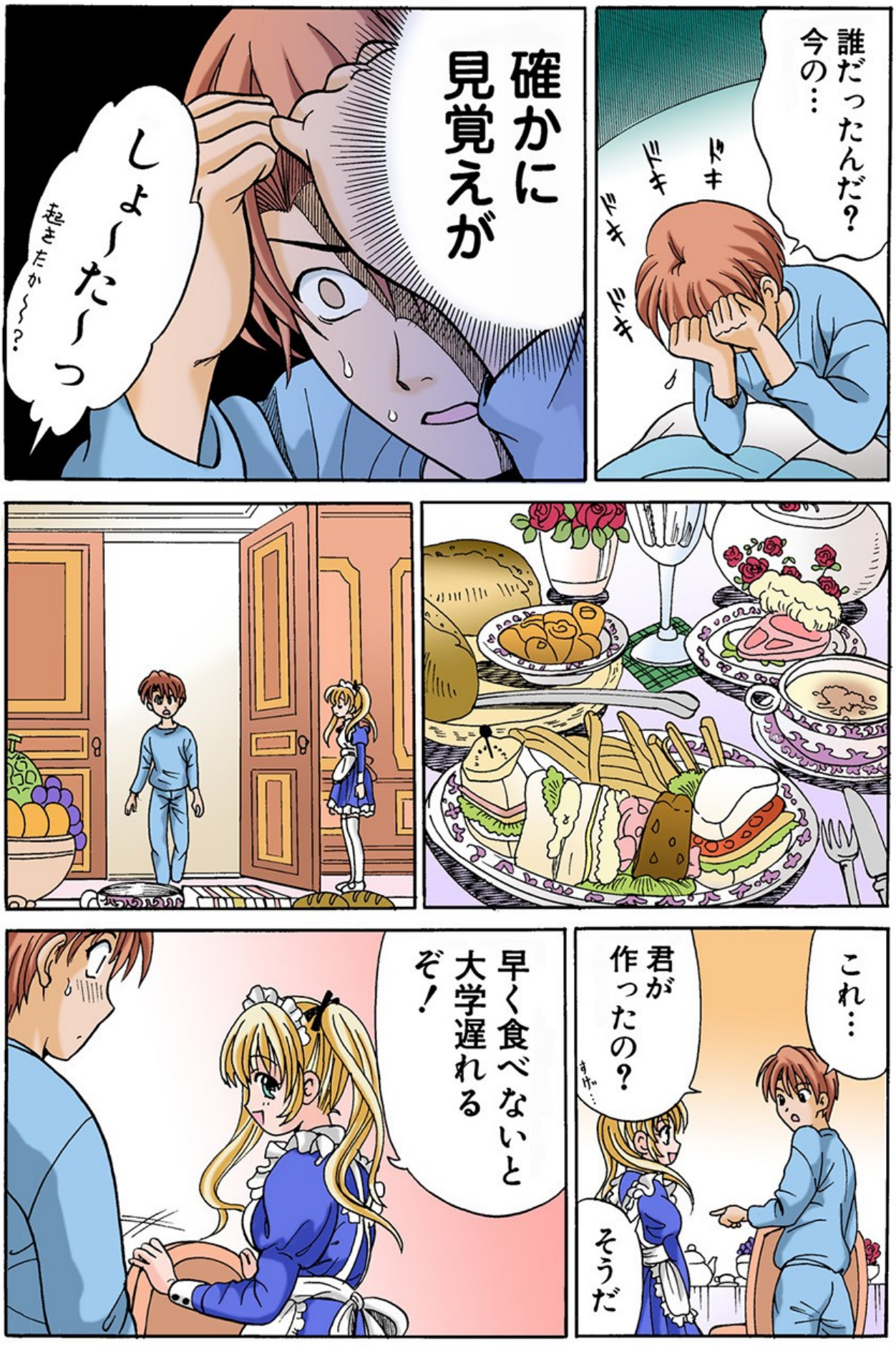

私達は
ふたりで楽しむの♥

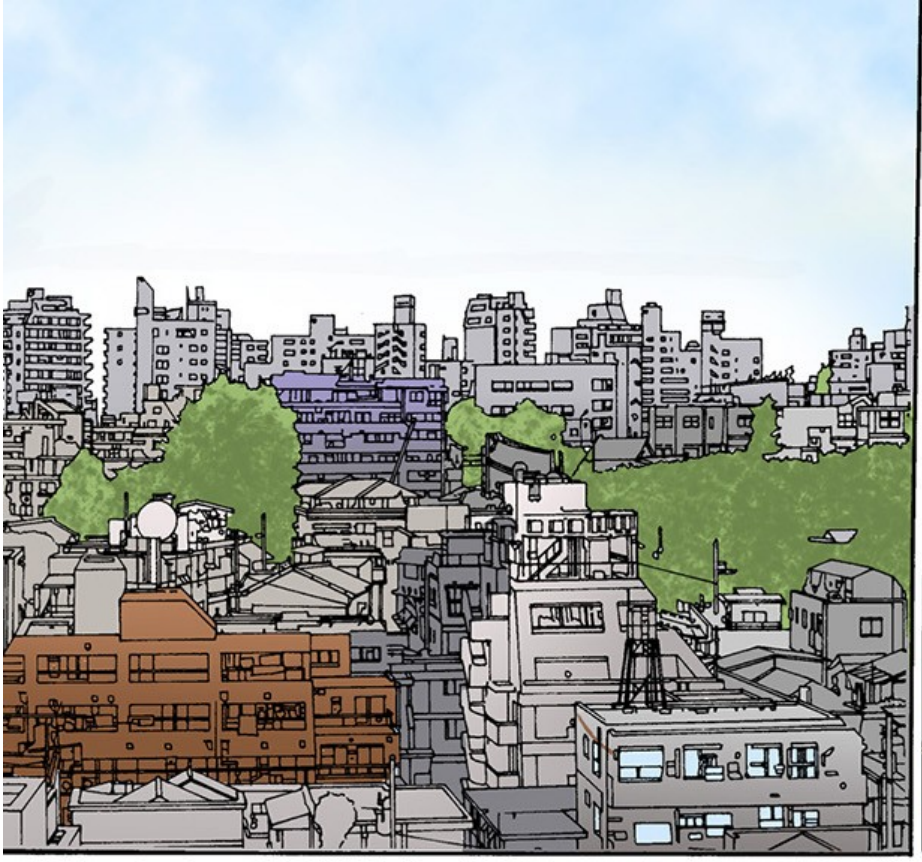

そっ…
そんな！
ビンビン


俺も
仲間に
〜っ!!
はぁぁぁぁっ

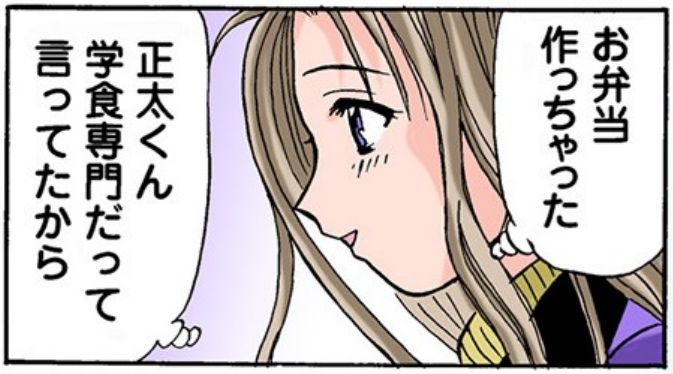

美沙さん
緑子ちゃん
アッ
アッ
アッ

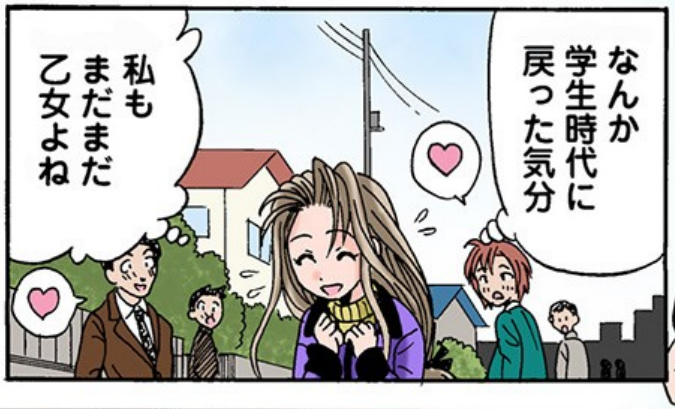

だめよ
キミは
2度と姿を
現さないで!!
うわあぁぁ
――っ!!
はーっ
はーっ
……
チュン
チチチ
……だ

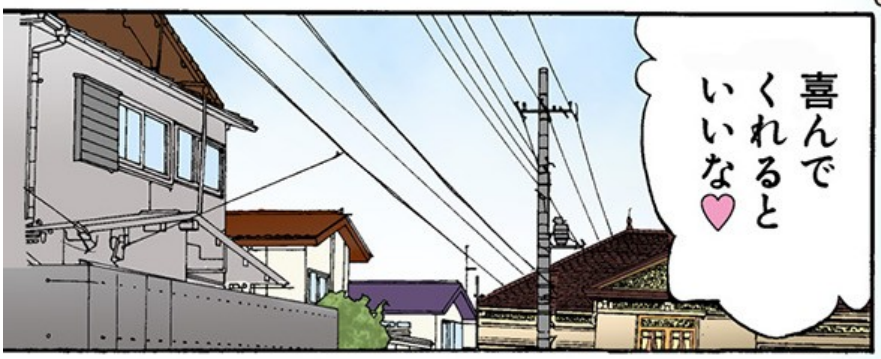

誰だったんだ？
今の…
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
確かに
見覚えが
しよ～た～っ
起きたか～～？
これ…
君が
作ったの？
すげ…
そうだ
早く食べないと
大学遅れる
ぞ！

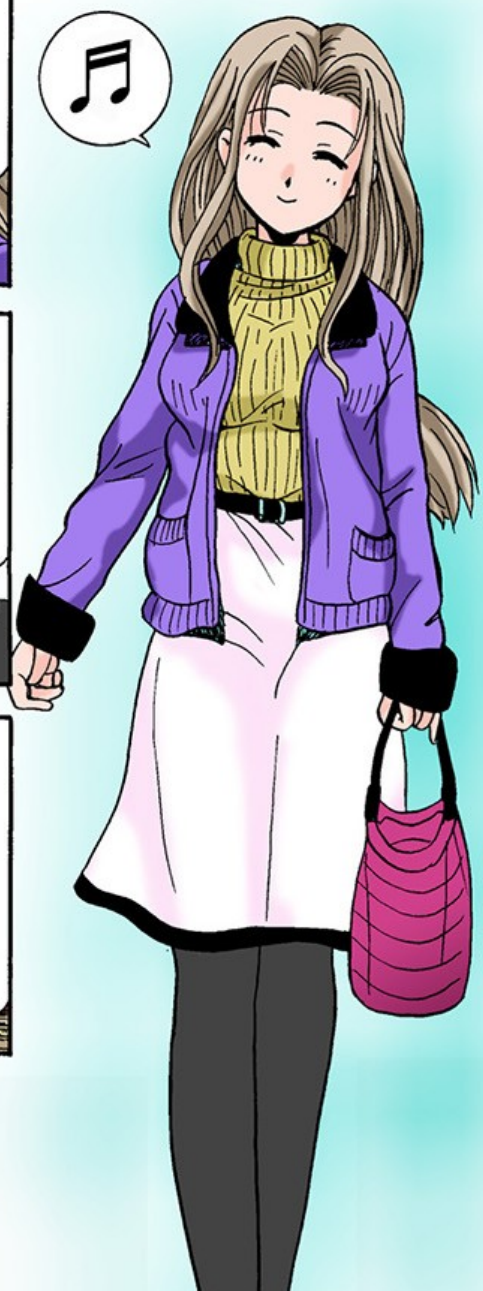



い…
いただきます…デス


お弁当作っちゃった
正太くん学食専門だって言ってたから


なんか学生時代に戻った気分
私もまだまだ乙女よね


喜んでくれるといいな♡



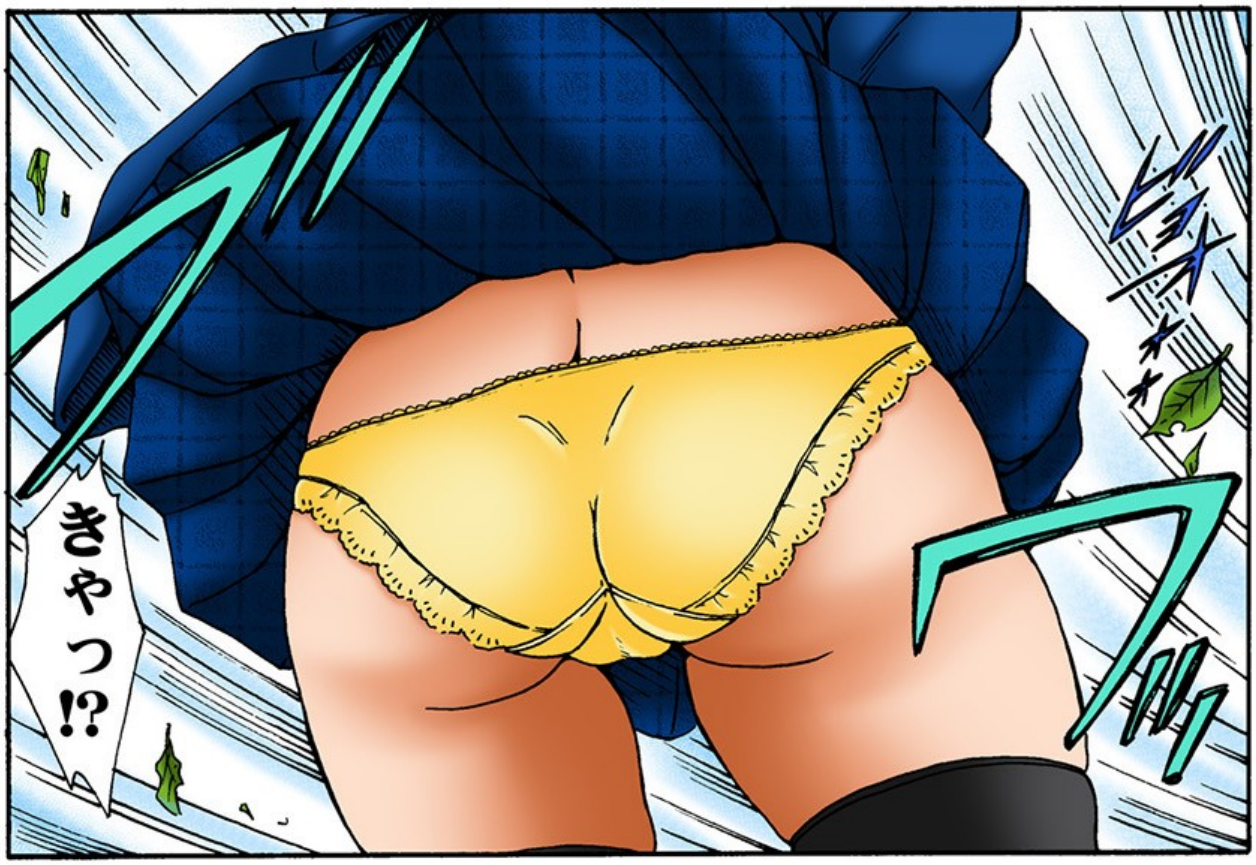
女子校に男一人!?

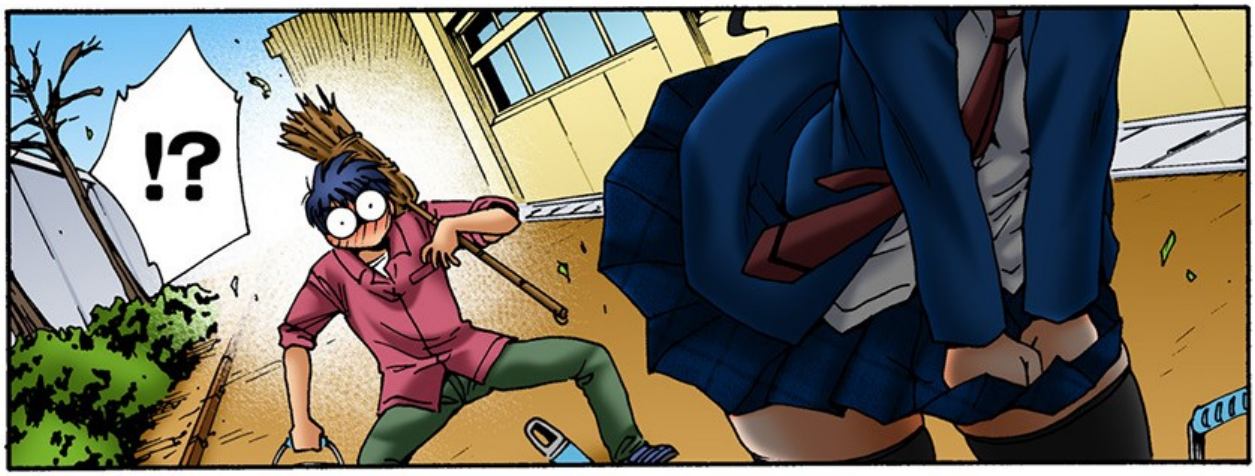


第82話

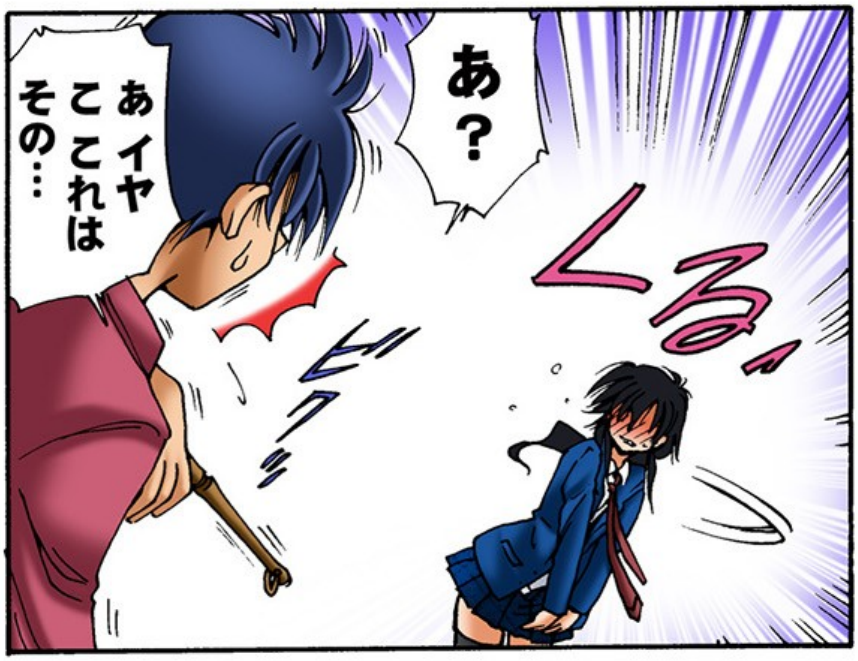
さかぐちしずか


お～っ
大漁
大漁っ
――ただこの大漁の問題点は…
魚と違って多く獲れても全然嬉しくないってトコだよな…
!?
一人で落ち葉掃除？
自主的に…？
ヘェ～感心感心…


ビヨヨヨヨ
きゃっ!?


!?


…あ?
!?


あ?
あイヤ
ここれは
その…
ビヨヨヨ

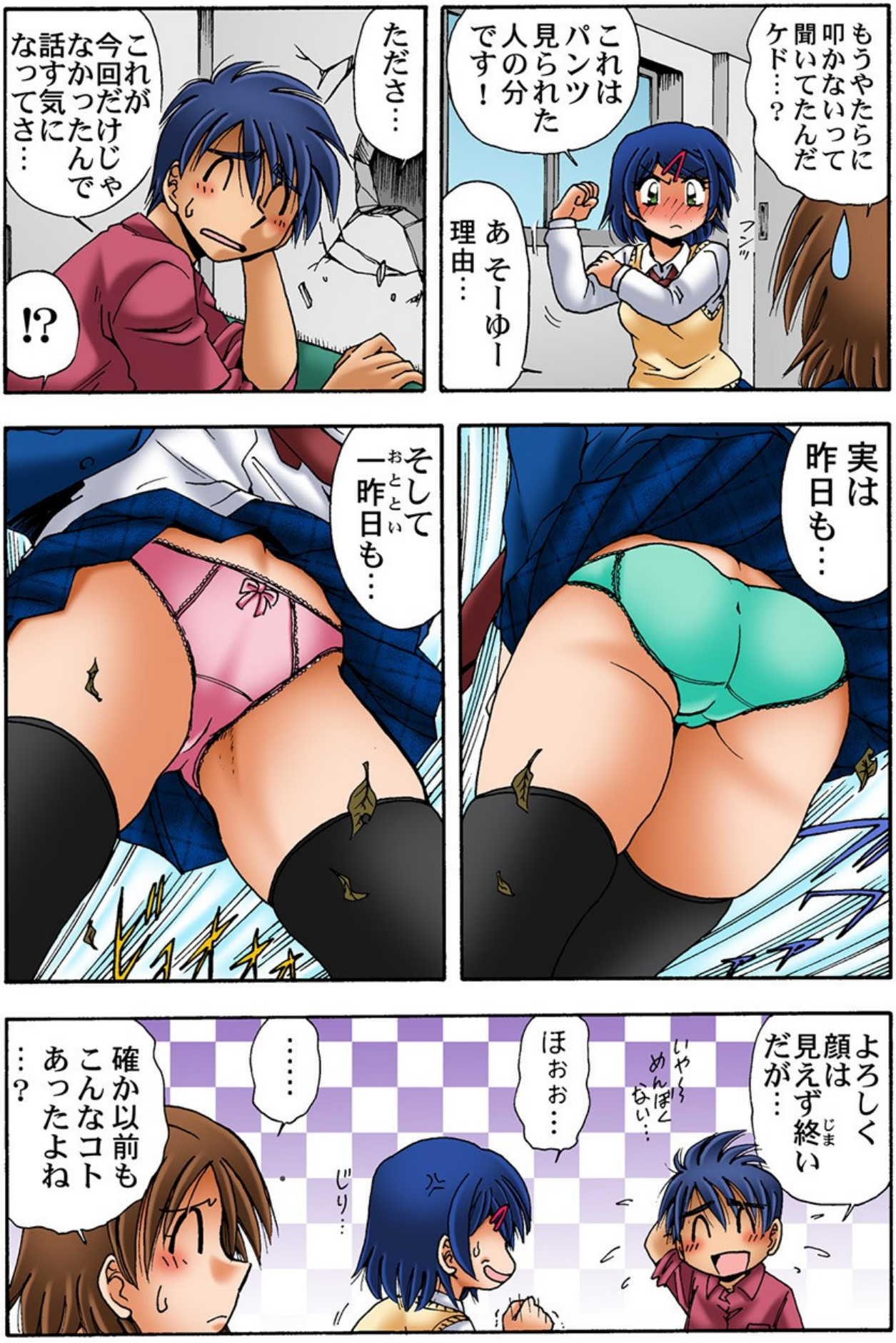


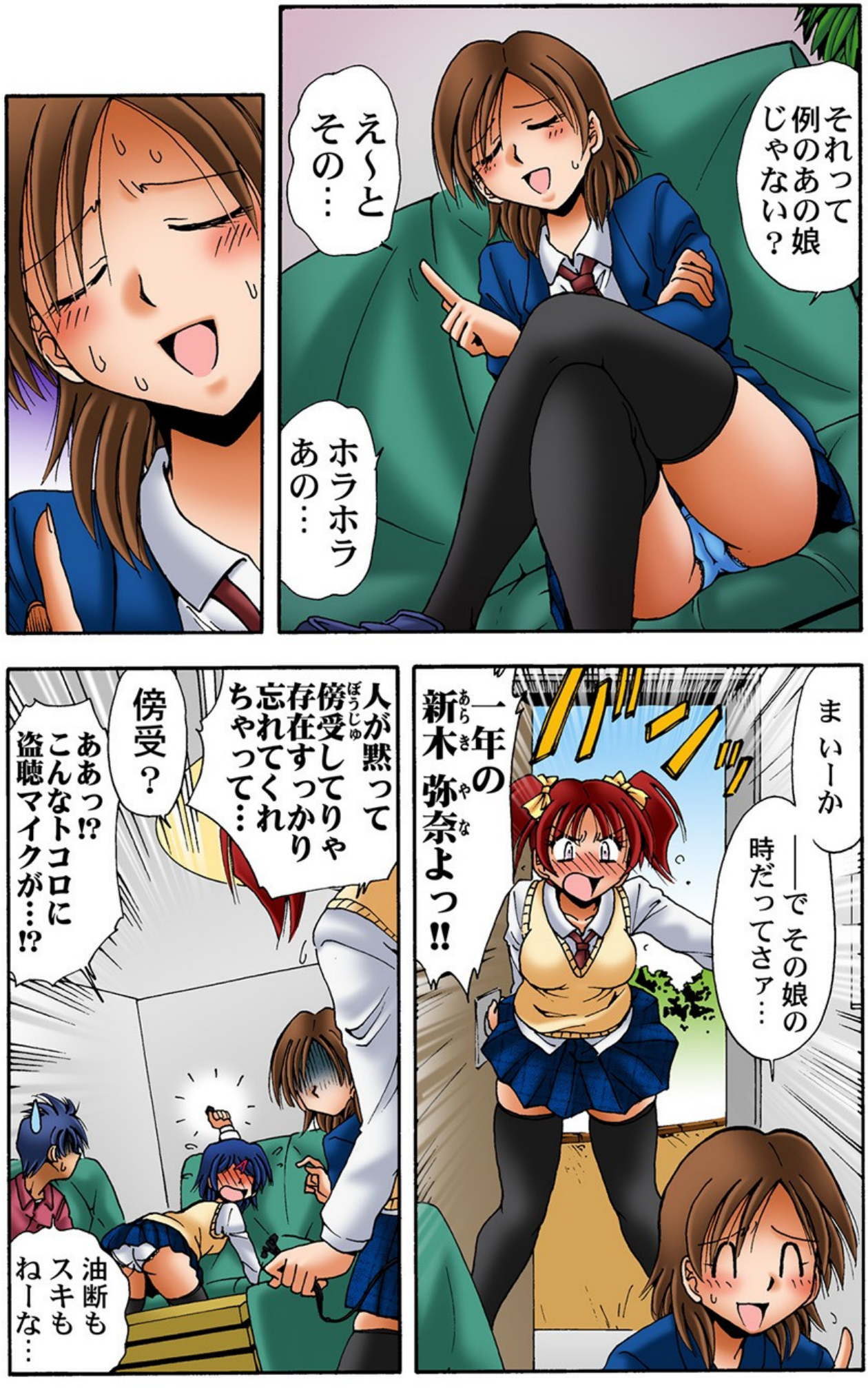

ああっ!?


……
逃げ…た？

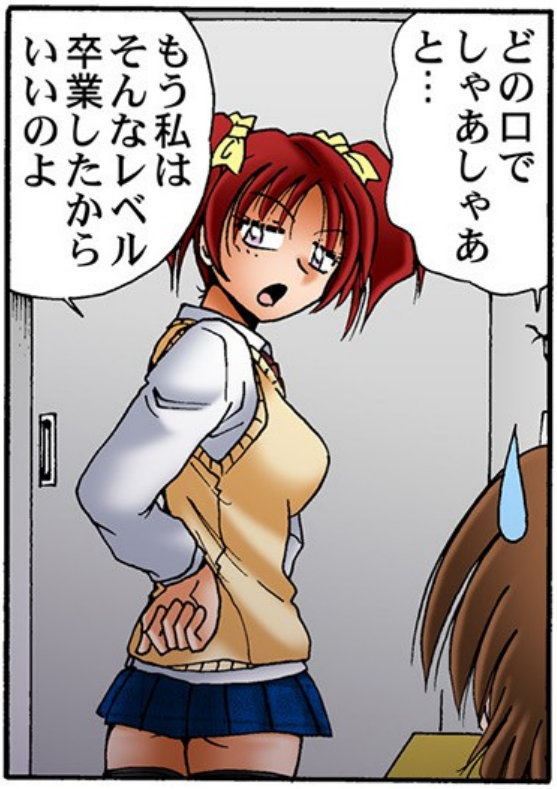



――ってな事があってだな…
みし…
ほぉ…それで？
わぁ…間が無い…

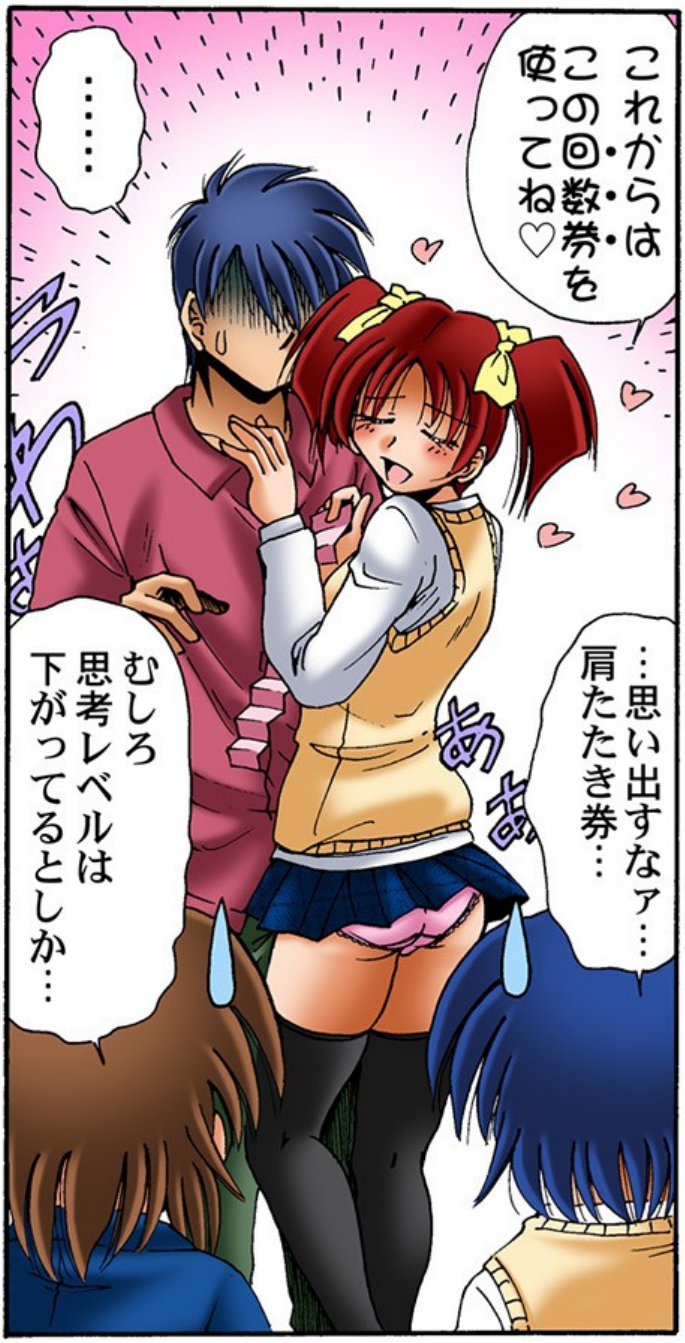

もうやたらに叩かないって聞いてたんだケド…？
これはパンツ見られた人の分です！
フンッ
あそーゆー理由…
たださ…
これが今回だけじゃなかったんで話す気になってさ…
!?
実は昨日も…
そして一昨日(おととい)も…
ヒィィィ
よろしく顔は見えず終い(じま)だが…
いやくろめんぼくない…
ほぉぉ…
じり…
……
確か以前もこんなコトあったよね…？


それって例のあの娘じゃない？
え～とその…
ホラホラあの…
まいーか——でその娘の時だってさァ…
一年の新木弥奈よっ!!
人が黙って傍受してりゃ存在すっかり忘れてくれちゃって…
傍受？
ああっ!?こんなトコロに盗聴マイクが…!?
油断もスキもねーな…


で何？
また誰かが色仕掛けで用務員さんの気を引こうとしてるって？


どの口でしゃあしゃあと…
もう私はそんなレベル卒業したからいいのよ




これからはこの回・・・数券を使ってね♡
……
…思い出すなァ…肩たたき券…
むしろ思考レベルは下がってるとしか…


でもさ逃げるってのはどーゆー事なんだろうね？
そうね！
印象付けならむしろその後の方が大事だもん
どう思う？
その後…ねぇ？
弥奈のその後
玲奈(れな)のその後
ムニ
ムニ
ムニ
——いや俺に言われても…
なに顔赤くしてんのよ
？？？？
いやぁ…
正体知られるとマズイとか？
えぇ～と…
人目忍んで落ち葉集め？
百歩譲ってスパイや忍者だったとしてもなによその意味不明な行動…


ちょっかい出してこないんでしょ？
ならそのままスルーしてりゃいいのよ
まぁ無難だね
パンツも見得だもんね
いやだから…
ホントカンベンしてくれ…
ずーーん…
フフフフ…
あの…
見たいなら私のをいくらでも…
!?
ドキ
ドキ…
ピラ…
そんなコトするんなら出そって！
ギャあ
ウ、ウソの向後に口、出さないでよっ!!
ギャあ
ま無理して相手の事情につっ込むコトもないかもね…
だよな…


その放課後…
キーンコーン…
ああ〜〜っ!!


あっ…!?
きゃあっ
!?
だ 大丈夫!?
ヤベ…
初めて顔
見れたんで
思わず叫んじ
まった…
痛っ…
あ…
驚かせ
ちゃったな
君…
だろ?
いつも落ち葉
掃除して
くれてんの?
——
!?
!?


いつもありが…
やはりその事を!?
へ?
調べていたんだ私の事…
え?
だからいつもいつも私の前ばかりあらわれて…
ええ?何言って…
しらばっくれないで!!


本当は気付いているんでしょう?
実は私が忍者の家系で…
落葉集めてるのも忍法「木ノ葉隠れ」の練習のためだって…
あれ?
変な設定キターッ!?
そしてアナタはそれを確かめに来た敵の手の者…
あまつさえその敵に~…!!


もう…
こうなれば…
アッ
バ
最後の
手段っ!!
!?

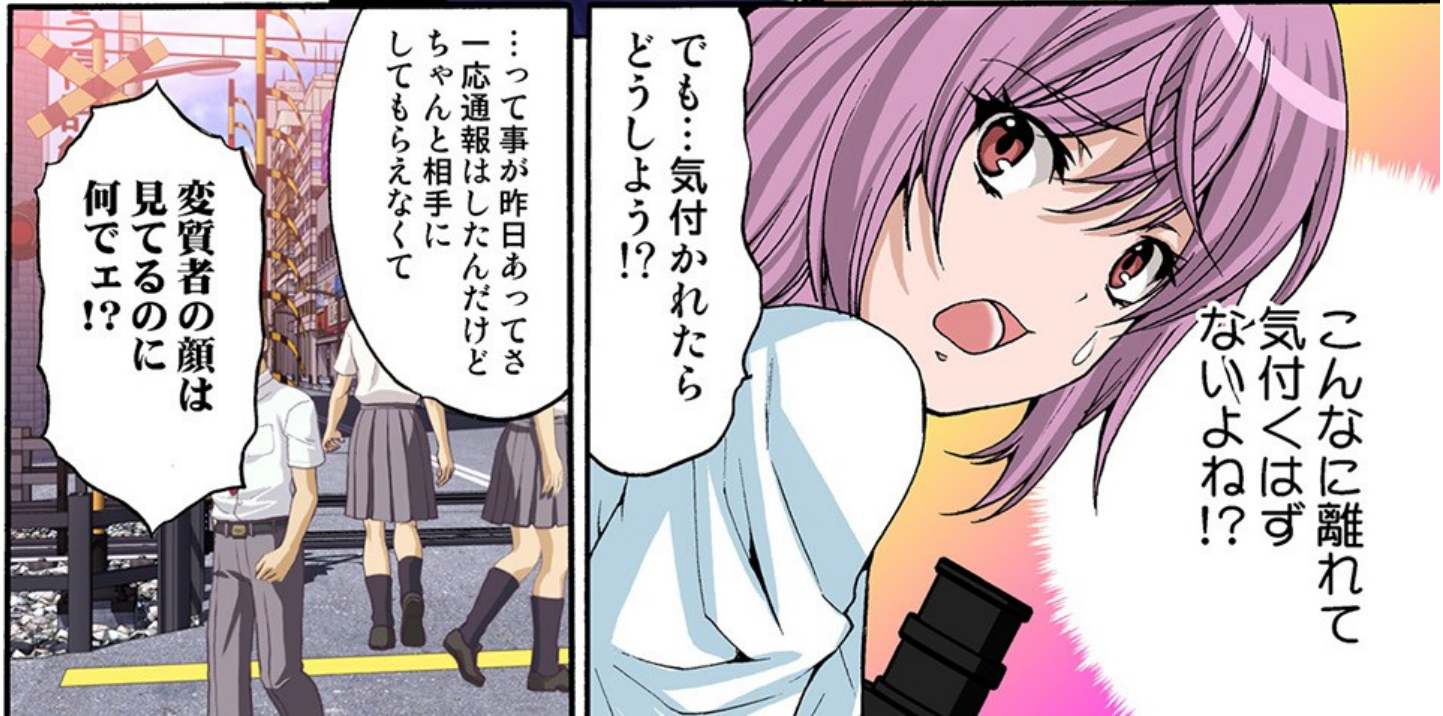

くの一である
この私…!!
この体を
使ってでも…
あぁ〜
んっ
アナタを
骨抜きに
した上で…
見事
その口も
塞いで
みせるっ!!
——で謎の
色仕掛け
キターッ!!


か覚悟
なさ——いっ!
ひ〜〜っ!!
どーなるよ
俺〜〜〜っ!?
以下次号!!


イケない初体験♥
第61話
お尾
やま山
やす泰
なが永


ちょっ…アレって
もしかして…!?
女の人が…誰かに
襲われてる…!?
そんな…まさか…


ああッ…!?
やっぱりアレ…変質者っ
通報しなきゃ…
ギラッ…
えっ…!?
こっちを見てる!?


こんなに離れて
気付くはず
ないよね!?
でも…気付かれたら
どうしよう!?
…って事が昨日あってさ
一応通報はしたんだけど
ちゃんと相手に
してもらえなくて
変質者の顔は
見てるのに
何でエ!?

それが被害届けが出てないみたいで…

でも変質者が気付いてたら恐いね

ひそ…

変質者が天海(そら)の事を追っかけてきたりして！

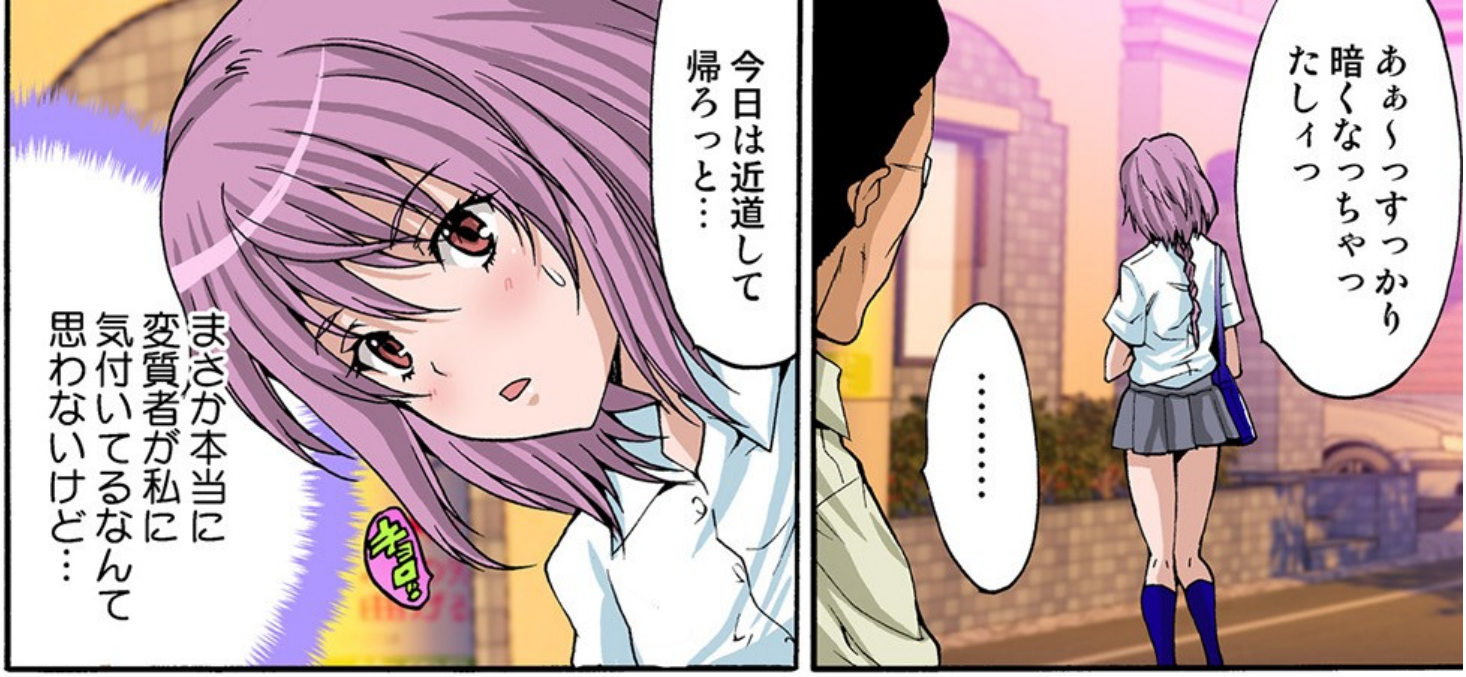
恐い事言わないでよォっ

冗談だよォ遠くのベランダなんか見えっこないってば！

他人事(ひとごと)だと思ってェ…っまた怖くなってきたじゃんっ！

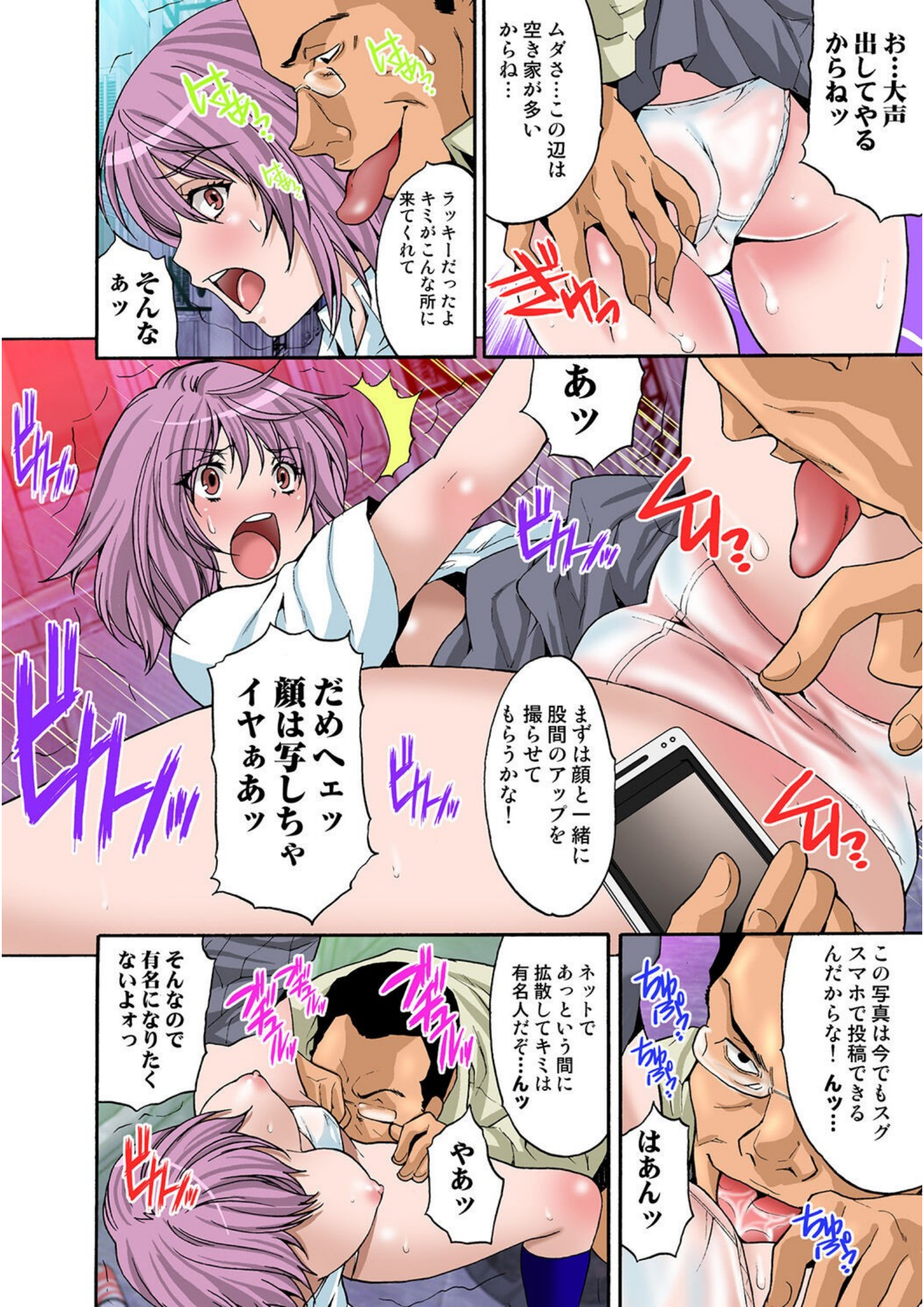
じゃあ天海気をつけてね！

もォ～～～っ愛優(あゆみ)ってばぁ！


あぁ～っすっかり暗くなっちゃったしぃっ
……
今日は近道して帰ろっと…
キョロ
まさか本当に変質者が私に気付いてるなんて思わないけど…

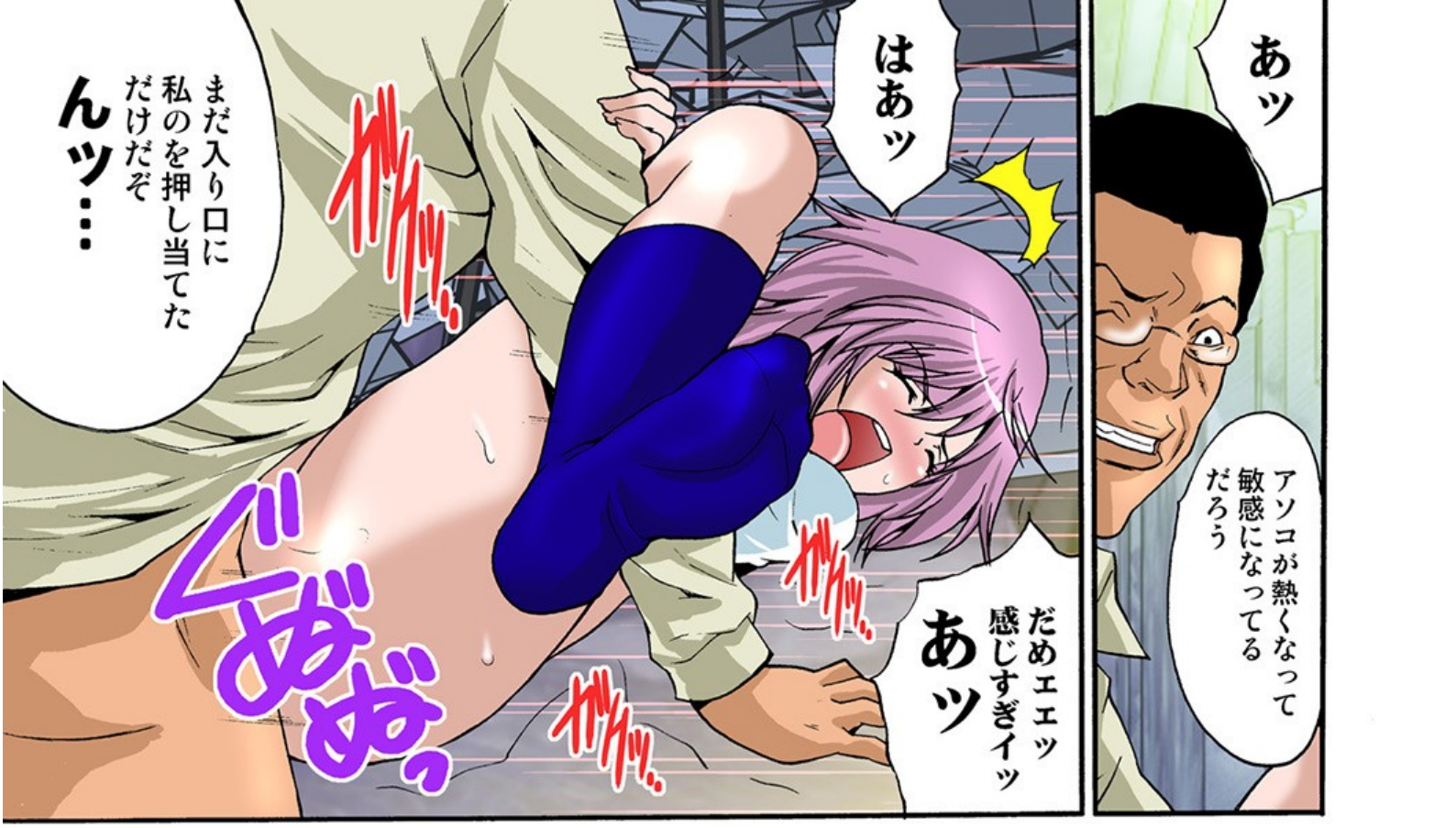

あぁ～～っ!?暗いからすっかり迷っちゃったよぉ
ねェ…キミ天海ちゃんだよね?
えっ…!?だ…誰ですか!?
イケないなァ…女の子がこんな遅くに一人で歩いてちゃあ…
ビクッ
あッ…!?あの変質者…ッ
ククク…
やっぱり私の顔を見てたんだな…つけて正解だったよ
バッ
ど…どうして私が見てたって…んッ


あッ
光った建物はすぐにわかったからね
だからキミをつけて私の顔を見たのか確認しに来たのさ…
私をどうするつもりなのォ!?
キミはあの建物じゃ望遠鏡で覗きをしてるので有名だよ
はあッそんなァッ
なぁにちょっとキミの恥ずかしい写真を撮らせてもらうだけさ
ああッ写真なんてやだぁッはああッ

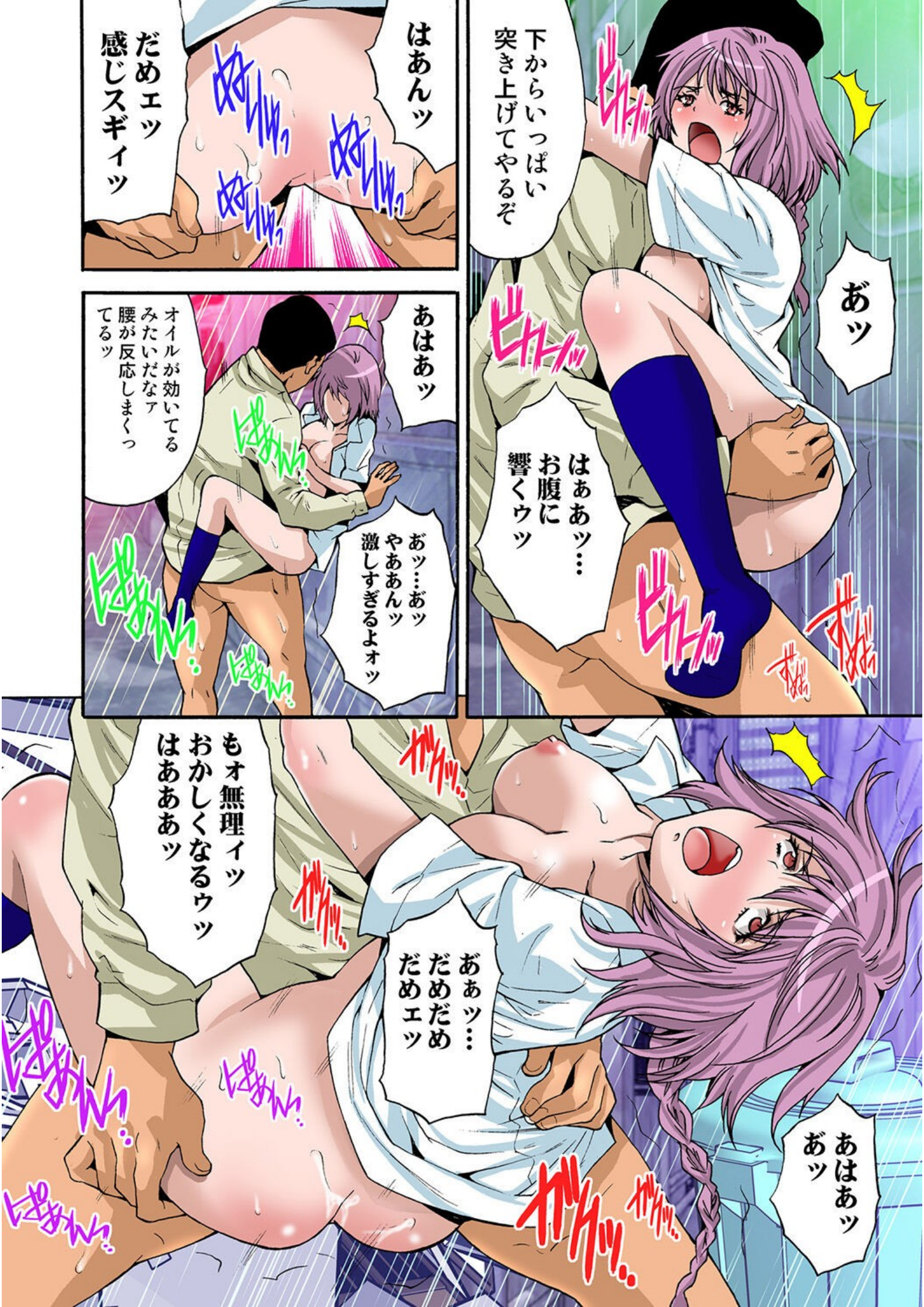

お…大声出してやるからねッ
ムダさ…この辺は空き家が多いからね…
ラッキーだったよキミがこんな所に来てくれて
そんなあッ
はめっ
はめっ
はめっ
ぎゅっ
あッ
ビトトッ
ムリっ
だめへェッ顔は写しちゃイヤぁあッ
まずは顔と一緒に股間のアップを撮らせてもらうかな！
この写真は今でもスグスマホで投稿できるんだからな！ んッ…
はあんッ
ちゅぱっ
ネットであっという間に拡散してキミは有名人だぞ…んッ
やあッ
そんなので有名になりたくないよぉっ
ブギュルッ


私の言う事をちゃんと聞けばそんな事は起こらないからねェ
はぁぁ…
はぁぁ…
だ…だから被害届けが出てなかったのね…なんて非道い奴なの…
わかったらさっさと私のを咥えるんだな！
んッ
ククク…物分かりがいい娘だ…んっ気持ちいいぞォ
んッ…何か…苦ぁいっんッ…腰振っちゃやあぁッ
んぐゥんッ
口の中に出すからなッそのままにしてろオッんふゥッ～～～ッ
ブギュルルッ
ブギュルルッ
ブギュルルッ
ブギュルルッ
んッ…ふゥッ何か出てるゥッ
ちゅぱっ
ちゅぱっ
ちゅぱっ

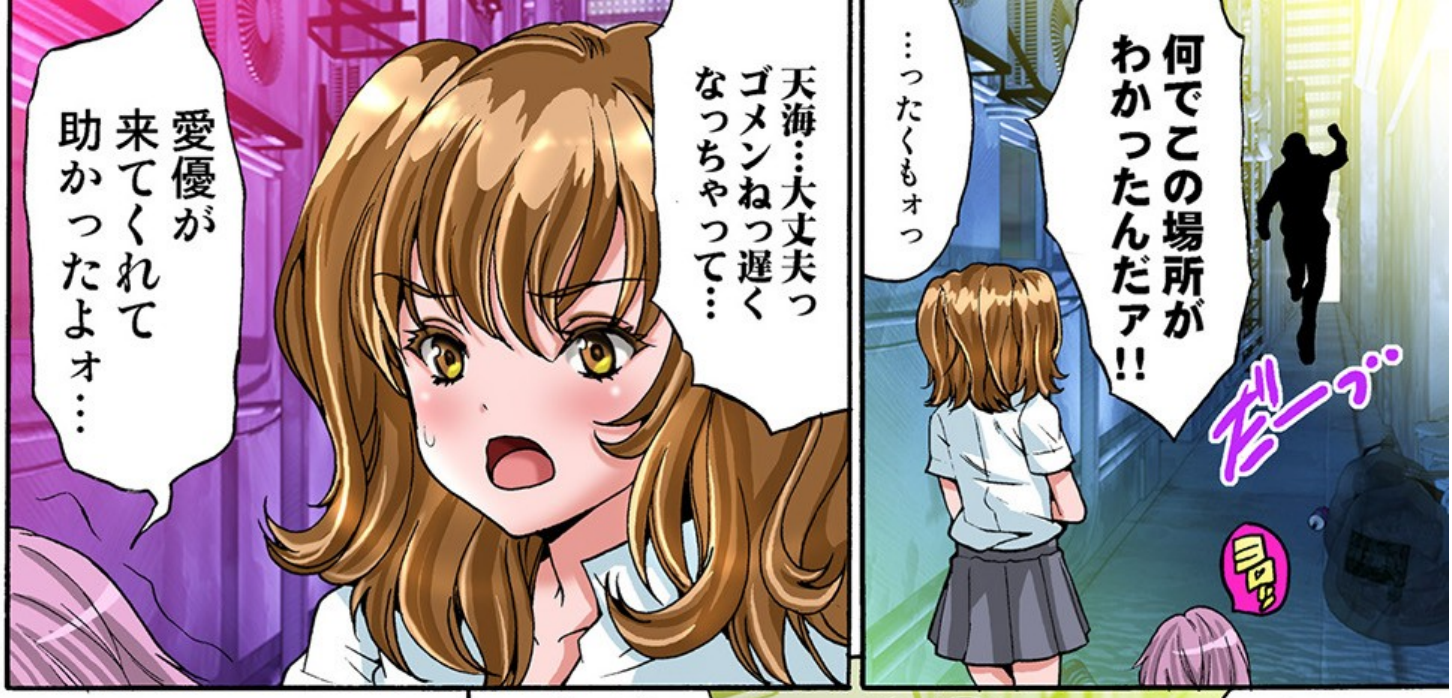

出るぞォッ
全部
飲めィッ!!
ビュルッ
ビュビュッ
ビュビュッ
うぇっ…えっ…
苦あいっ…ッ
ほォらダメじゃないか
全部飲まないとォっ
んぐッ
ビュビュッ
ビュビュッ
ビュビュッ
口(クチ)から
こぼしちゃ
ダメだぞォっ…
んん〜?
ビュビュッ
ビュビュッ
ビュビュッ


あッ
アソコが熱くなって敏感になってるだろう
はあッ
だめエエッ感じすぎイッ
あッ
まだ入り口に私のを押し当てただけだぞ
んッ…

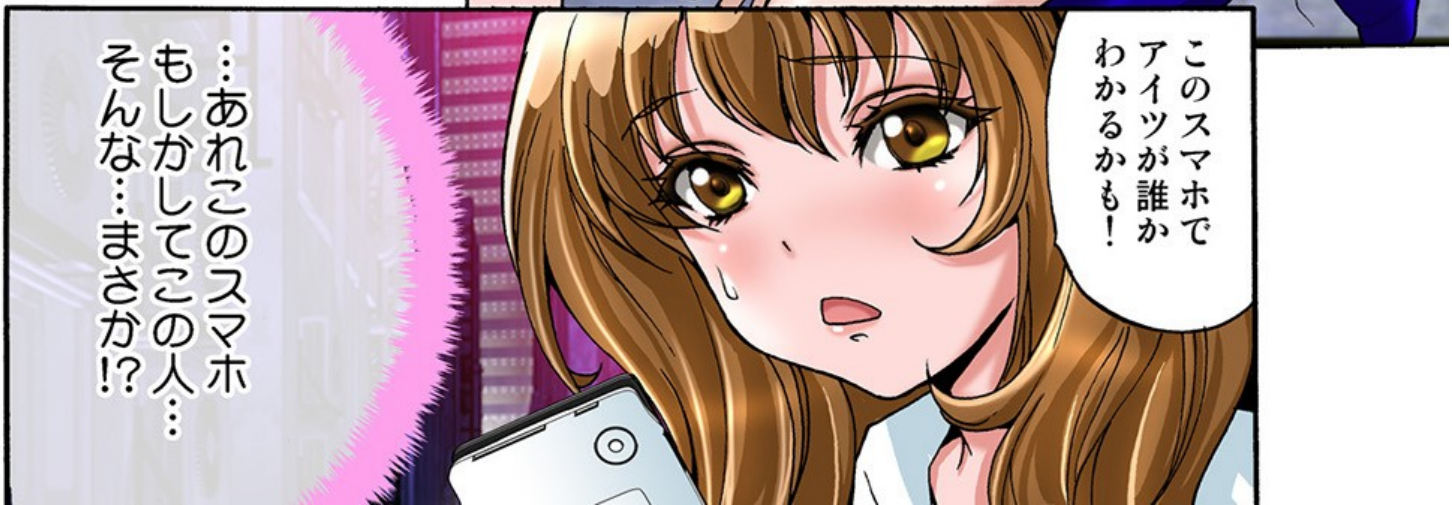

ほォれ中に入ってくぞォっんん～ッ♡
はぁッ…あッ入ってくるゥッらめエッ
あッ…ああッ…
おほォ～っ全部入ったなァッ
何コレエッ中まで熱ウいっおかしくなりそォっ


あッ
下からいっぱい突き上げてやるぞ
はぁあッ…お腹に響くウッ
はあんッ
だめエッ感じスギィッ
あはあッ
オイルが効いてるみたいだなァ腰が反応しまくってるッ
あッ…あッやあぁんッ激しすぎるよォッ
あはあッあッ
あぁッ…だめだめエッ
もォ無理イッおかしくなるゥッはあああッ


はひィイイッ
おがじぐなるゥ～ッ
あはぁああッ
うくゥッ
締まるゥ～ッ
ビクッビクッビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
このポーズもスマホにバッチリ収めてやるよん～ッいい眺めだァ♡
はぁ…
はぁ…
ククク…
あッ…天海こんなトコにッ
お巡りさんっこっちですッ早く来てッ!!
何イッ!?
ビクッ
ザッ


何でこの場所がわかったんだァ!!
…ったくもぉっ
だーっ
天海…大丈夫っゴメンねっ遅くなっちゃって…
愛優が来てくれて助かったよぉ…


で…でもどうしてここに…!?それにお巡りさんは…
あれはウソだからスマホのGPSでこの場所がわかったの!
あ…前に待ち合わせで使ったサービスか!でも良かったぁ…
あれ…アイツスマホ落としていったみたい
はぁっ…はぁっ…
はぁっ…


このスマホでアイツが誰かわかるかも!
…あれこのスマホもしかしてこの人…そんな…まさか!?